滿洲日報

錦州軍の兵力増大し飽までも皇軍に抵抗
別働隊の活動で愈よ明瞭

錦州方面の學良軍はその後益々増兵しつゝあるがその形勢左の如し

一、山海關守備隊の急報によれば數日來錦州方面行きの列車で東北軍兵卒の輸送されるもの夥しく多きは數百名、少きも數十名づゝ東行しつゝあり

二、張學良は錦州政府より具申し來れる便衣隊を編成し、錦州の四圍に配置する件を許可したが、これらはさきに奉天において日本軍のため武裝解除されたる徒手兵にしてその數千五百名に達し既にそれぐ部署についた

三、國民政府要人の洩らすところによると、蔣介石が某國と契約中の兵器はその一部到着した、このうちには飛行機十數臺あつて該兵器の半數は張學良のため購入せるものである、しかして購入兵器の總額は一千萬元以上に達してゐると

以上を綜合するに張學良はあくまで日本に抵抗せんとすることは馬家塞別働隊の行動と相俟つて明瞭となつて來た【奉天電話】

在滿の諸民族協力し建設機運到る處躍動
之を妨ぐる者は斷乎排撃

關東軍司令部十六日公表＝黑龍江軍憲に對し軍は帝國政府の意を體して隱忍自重一意和平解決に努力せるが自衞上やむなく起つて嫩江河畔にこれを邀撃、幸ひにも一擧これを擊退し中外に對し皇軍の威武を宣揚することを得たりこれ一に上皇威の然らしむるところなると共に、下將兵の忠烈勇武にして來庶の熱烈なる後援ありしによらずんばあらず、今や奉天、吉林兩省各々自立の形態を整へ舊政權を絕ち黑龍江省その陣容を更變し熱河省並に內蒙もまた恰もこれらに響應するにいたり、在滿蒙三千萬の民衆今齊しく善政を渴仰し歸結する何ものかを庶幾しつゝあり、憾むらくは未だに遼西の一角に蟠居して或は匪賊を使嗾し劫掠を擅にし治安を紊り或は宣傳を巧みにして曲を蔽ひ安寧を妨ぐるものあり庶民その奸を憂ふること切なり、然れども大局よりこれを觀れば在滿の諸民族の協力宜しきを得て諸經營日に月に面目を一新し來れるは慶ぶべき現象にして建設の氣運到る所澎湃として躍動せるを觀取し得るものあり、軍は以上の情勢に鑑み特にその進止を公明ならしめ諸般の協調を緊密にし職として治安維持を全うし民心の安定を圖り以て向後の開展を容易ならしめ徐ろに大勢の歸趨を靜觀せんとす、若し夫れ軍の行動を妨げ安寧秩序を破壞するものあらんか斷乎としてこれを排擊するの用意に遺憾なからしめあり【奉天電話】

對戰準備を着々進む
榮臻強硬に對日戰を主張

【天津特電十六日發】學良軍參謀長榮臻は飽くまで日本軍との一戰を主張し其後馬占山の騎兵部隊の成功に倣つて騎兵の大擴張を試み北平、昌平、密雲、易縣、熱河等で盛んに軍馬の徵發を行ひ更に昨日は東北軍自動車隊長を買收し又白系露人數十人を多額の給料で募集しガソリン多量を購入した右は熱河から錦州への遠征に使用するものと觀らる

滿洲増兵問題
けふ閣議にて決定せん

七日午前十時よりの臨時閣議にて滿洲増兵問題を附議決定する事となつた

守備隊補充部隊
けふ東京驛を出發

【東京十六日發】錦州軍の充實と共に各地に兵匪跳梁を極めるに至つたため荒木陸相は錦州軍を徹底的に膺懲するの餘儀なきを認め十

【東京十六日發】第一師團管下より選拔の滿洲獨立守備隊補充部隊は十七日午前八時二十五分東京驛發出發するが秩父宮殿下には第三聯隊中隊長の御資格で親く出發兵を御見送らせらるゝ事となつた

錦州軍服從せよ然らずば討たん
臧主席全國に通電

奉天省主席臧式毅氏は十六日全國に向つて左の如き强硬なる通電を發した

錦州に在る張學良政府を認めず錦州に在る東北軍は速かに奉天政府の命令に服從すべし、之に反する時は兵匪として討伐す【奉天電話】

伊調査委員

【パリ十六日發】イタリーの聯支調査委員には元伊外相シャンツェル

學良軍の編成改革
十七ケ師團に

【北平十六日發】張學良は最近北平において軍事最高幹部會議を開催し、旅團を師團と改稱し、左記十七師團長を任命したる模様である

第一師團長	黃顯聲
第二師團長	王以哲
第三師團長	丁喜春
第四師團長	何柱國
第五師團長	董英斌
第六師團長	李振唐
第七師團長	張廷樞
第八師團長	徐永和
第九師團長	王振復
第十師團長	孫德荃
第十一師團長	富占魁
第十二師團長	黃師岳
第十三師團長	湯金純
第十四師團長	張樹森
第十五師團長	劉乃昌
騎兵第一師團長	吳泰來
騎兵第二師團長	金鏡清

駐滿軍慰問に

朝鮮總督府特使として駐滿軍隊慰問のため來奉天の中村總督府土地改良部長

廣東六代表聲明發表

【上海十六日發】廣東代表孫科、陳友仁氏等六名は蔣介石氏の下野通電發出後昨日午後七時伍朝樞氏邸に在滬中の廣東中央委員其他國民黨領袖等六十名を招待し晩餐會を開き今後の問題につき意見を交換したが晩餐會後六代表は談話の形式で左の意味の聲明を發表した

過去二十年間の支那の政權は軍事的手段に依つてゐたゝめ必ず人民に苦しみを與へたが、蔣介石は自ら職を退き眞の政治家としての模範を示した、林森、陳銘樞の代理は何れも一時的のもので中央執監委員會議で正式後任者の決定を見る筈である、吾々廣東代表は三日中に當地發赴京する豫定だが、汪精衞は糖尿病で入院したから赴京不可能だ尙各地にある中央執監委員に對しては至急南京に來るやう早速電報を發した、會議は恐らく二十四日初會合を行ひ正式會議開會日を定め法定數に達するを俟つて正式に開會する事とならう

上海各大學生大擧南京へ

【上海十六日發】上海各大學の學生千三百名は十五日午後十時半發列車で赴京したが、一行は十六日入京の筈で先發隊と合し大示威運動を擧行する豫定であると

地方軍閥が跋扈し新南京政府は受身
蔣氏は河南に勢力保持

【上海十六日發】蔣介石氏の辭職を前に昨日の國務會議は四省政府改組を決議したが、顧祝同江蘇、魯滌平浙江、熊式輝江西、邵力子甘肅の各主席に決定、又賀耀組氏は上海警備司令に任命された、邵力子、賀耀組兩氏の如き蔣介石氏の腹心が遠地の首腦者に任命されたのは明かに蔣介石氏今後の方針を明示するものである、即ち河南を中心に現有勢力を保持すると共に段祺瑞氏等北方軍閥との連絡を企圖して徐ろに將來を圖りつゝあり、又張繼氏は蔣介石氏の命を含み昨日河邊村に閻錫山氏を訪ひ新たに連絡を策しつゝある、斯くて軍事的背景に乏しき新南京政府は地方軍閥に對し受身の地位に立つべく地方軍閥跋扈時代出現を見る形勢である

今後の蔣介石氏
四全會議にも出席

【上海十五日發】下野通電を發する前、蔣氏自身は早くから決する處あり、下野に伴ふ社會的不安を未然に防ぐと共に部下軍隊の善後措置に就き考慮を廻つてゐたが要職の後繼者を得るためには容易に意中を漏らさなかつた、然るに最近上海の南北代表の教書で過渡辦法として林森氏を主席代理、陳銘樞氏を行政委員長代理とし正式繼任者として近く召集される南北合一の第四次中央執監委員第一次全體會議の決定を待つ事となつた、尙下野後奉化に引籠るといはれてゐたが蔣氏は中央執行委員の肩書で右全體會議に出席する事となり南京にとゞまると

王樹常も辭任

【天津十六日發】支那內政の動搖と共に共產黨反動派の策動盛んとなり王樹常は特別暫編第一、第二兩師を編成し北寧、津浦其他軍要地點に配し土匪の來襲その他の暴動勃發に備へてゐるが、過般來張學銘との關係面白からず學銘が天津市長辭任をなしたので王樹常も更に學良に辭表を提出した

臧新主席の就任式
きのふ省政府にて擧行

奉天省新政府主席として臧式毅氏は十六日午後三時から省政府において就任式を擧行した、同三時十五分袁金鎧氏以下地方維持委員會の役員及び總商會、公安局その他實業廳長、縣政府趙欣伯市長、交通委員會等奉天省政府首腦部卅餘名大廣間に整列し十五分臧式毅氏は姿を現はした、直に袁氏との間に印璽の引渡しをなし袁氏は

私達は地方治安維持のために何個月かに亘つて皆樣の熱烈な御後援の下に不束ながら事に當つて參りました、然るところ此度完全なる省政府成立しまして臧氏を主席に就いて頂いたことは私達にとつて誠に嬉しい次第であります、私は單に臨時に事に當つてゐたのでその間何らの野心はありませんでした、今までの問事に當つて大過なく過して來ましたことに對して皆樣に厚くお禮申上げます、この完全なる省政府の主席として就任された臧式毅氏はどうか國家四民のために無事大任を果されんことを心より祈つてやみませぬ

と挨拶し、これに對し臧氏は答辭として

この度淺學不才にも拘はらず四民の推輓をうけて測らずも省政府主席といふ重大な職に就くことになりました、私はこの重任を果し得るかどうかといふとは一にかゝつて皆樣の協力並びに御後援を得たいと思ひます、目下の急務は四民相和し福利增進を圖り國際關係において共存共榮の實を擧げることこの二つのかゝつてゐるやうに思ひます、丁度從來省の治安維持に當つてゐた人々に今後ともよろしく指導を仰ぎ意見をして頂いて淺學不才の私を輔翼して頂きたい

との挨拶をなして同三時半めでたく式を終へた【奉天電話】

四民の福祉增進日支親善を圖る
臧主席記者團に言明

就任式を了へた臧氏は省政府辦公處で記者團と會見、大要左の如く語つた

自分は社會の公器で市民を指導啓發する方々に就任式に參列して頂いたことは非常な光榮とするところであります、從來舊軍閥と操觚界の人々は圓滑を缺いでゐたやうに思ひます、私は出來るだけ皆樣の御指導を希望するが故に多忙であるけれど寸暇を割いて度々皆樣の御來訪を願ひ御意見の交換を願ひます、先づ第一の急務は四民の福利增進が國家の急務で產業を興し金融を圓滑にするが先づそのうち緊急は諸所における馬、匪賊の群を一日も早く安心して住める土地にすることである、人民の冀ふところは衣食住にある、で治安を維持し衣、食、住に不充分のないやうにしたい、次ぎに對世界的關係で特別に日本とは同文、同種であり、歷史的、文化的過程から觀ても日本と東北省とは緊密不可分の關係にある、これは私の口頭だけでなく日支相提携してお互ひの福利增進、共存共榮との實を擧げなくてはならない【奉天電話】

奉天正式新政府成立祝賀會
來る十八日擧行する

突如たる地方維持委員會の解散と臧式毅氏の出廬は副委員長格たる闞朝璽氏すら辭表提出直前これを知り且つ驚き且つ喜んだ位で袁委員長一、二氏以外は全く晴天の霹靂であつた、但し省民一同は豫てより臧氏の出馬を切望して居たことゝて家每に歡迎の赤旗を揭げ

全市活氣　横溢、歲末の今日既に一陽來復の觀がある、この日滿鐵公所横の省長公館はひつそり閑たる省政府に引かへ新任省長の官邸とあつて出入の大官連にて大混雜を呈しつゝあり、奧の一室では臧氏と袁氏に某大官を加へ各機關の維持經衞の秘密會議を行ひ午後三時には省政府にて就任式と共に發表の手筈を急いで居る、また聯絡者その他各部署は俄にカーテンを張るやら電燈を增設するやら大混雜である、一方臧氏推戴の

立役者を　演じた商埠地七經路趙欣伯公館は市政公所が今回奉天特別市政府と改稱、大に積極的にやるといふので各關係者並に獵官運動者ヒシくと詰めかけさしもに廣き邸內外も自動車を以て埋められて居る、政府各機關の顏觸れは成るべく現狀維持の方針だが趙市長、丁滿鐵路局長以外は多少の異動ある模様で、別に東北政務委員會なるものを復活し舊地方維持委員外吉林、黑龍江その他

各地代表　をも網羅する筈で來る十八日には奉天正式新政府成立の盛大なる祝賀會を催す筈【奉天電話】

地方長官の異動
きのふ三相が協議

【東京十六日發】本日午後一時半犬養、中橋、鈴木三相は首相官邸に集り地方長官異動に就き協議し左の如く決定を見る模様である

任東京府知事	元靜岡知事	長谷川久一
任大阪府知事	元新潟知事	藤沼庄平
任京都府知事	元土木局長	宮崎通之助
任神奈川縣知事	元地方局長	三邊長治
任兵庫縣知事	元愛知知事	小幡豐治
任愛知縣知事	元熊本知事	齋藤宗宜
任福岡縣知事	元石川知事	中山佐之助
任栃木縣知事	元神奈川警察部長	豐島長吉
任和歌山縣知事	元北海道土木部長	村井八郎
任山形縣知事	元青森內務部長	川村貞四郎
任青森縣知事	元山形內務部長	木下義介
	元和歌山知事	友部泉藏
任靜岡縣知事	元臺灣警務局長	大久保留次郎
任千葉縣知事	元大阪府知事	力石雄一郎
任北海道長官	元廣島知事	岸本正雄
任樺太長官		

なほ北海道は大河原重義、福岡は大久保留次郎、新潟は中山佐之助、熊本は白根竹介、岡山は宮脇梅吉諸氏となるかも知れぬ

脫黨組當分靜觀
きのふ會合の結果

【東京十六日發】安達一派の脫黨組の行動は議會を前にして注目されて居り新黨樹立計畫等も傳へられてゐるが、安達、富田氏等は此際自重を希望して居り、十六日虎の門晚翠軒で開かれた中野、杉浦、三浦、風見、田中、由谷の諸氏の會合においては安達氏の苦衷を察し暫く沈默を守り政界の前途を凝視するに一見意致した、依つて此上民政黨が惡宣傳を放つたり自分等を窮地に追ひ込むやうな事をせぬ限り當分靜觀的態度を執る事となつた

解散を見越して民政對策を練る
筆頭總務に井上氏

【東京十六日發】民政黨は來議會で臨む事となり、井上前藏相を推す意向强く結局若槻總裁の下に井上前藏相を中心で進む事になる模様である

解散を見越し若槻總裁を中心に鋭意選舉對策につき考究中であるが此の際黨の筆頭總務には人材主義

省政府秘書

奉天省政府では十六日午後主席臧式毅氏の秘書幹部及び秘書を左の如く任命發表した

秘書長	趙鵬第
秘書	曹承旨
同	李式毅
同	苗叔
同	趙宗城

富田幸次郎氏聲明書發表

【東京十六日發】富田幸次郎氏は十六日夜大要左の如き聲明書を發表した

國家重要時局に直面し內外國難匡救のため兩黨の抗爭を止め、非常時に處するは天下の要望である、余は政界に投ずるや不敏を省みず屢次この主張を株、加藤、濱口の諸先輩に献策し今次又これを提唱した時偶々議會切迫の折協力內閣の實行性において若槻、安達兩氏の意見一致せず、余は身を挺し久原氏と會見せる處、意見一致し、覺書（既報）を交換する迄に至れり、依つて十日若槻氏の諒解を求め相諮つて十日若槻氏に報告せるに若槻氏は何に驚きしか遂に內閣瓦解の運命を招致せり、世上の毀譽は顧みざるも黨內を紛糾せしめたるは忍びざる處なるを以て黨籍を離脫せり

議會の分野
民政二五一　政友一七一

【東京十六日發】民政黨を脫黨せる安達氏以下十名は本日衆議院第一控室加入の手續を了した、之で第一控室は二十八名となり交涉團體の資格を備へた譯である、なほ今議會の各派分野は左の如くである

民政黨	二五一
政友會	一七一
第一控室	二八
內安達派	一〇
內國同	六
內革新	三
內無產	五
內無所屬	四
缺員	一六
合計	四六六

前內閣々僚對議會策協議

【東京十六日發】若槻內閣の前閣僚は十五日午後五時築地錦水で對議會策及び院內外役員の詮衡につき打ち合せをなした後六時から慰勞懇親會を開いた

驅逐隊の警備狀況

第二遣外艦隊麾下第十三驅逐隊早蕨は十四日歸旅十六日朝塘沽に向け出港、同若竹、吳竹二艦は十六日午後一時半秦皇島より歸旅、又十六驅逐隊朝顏は十七日午前八時秦皇島へ向け旅順出港、旅艦球磨は目下青島に碇泊中で同地にて越年の筈、これで旅順現在の驅逐艦は十六驅逐隊の刈萱、芙蓉及び十三驅逐隊の若竹、吳竹、早苗の五隻である

辭令

【東京十六日發】

任總理大臣秘書官（三等）　船田中
任拓務大臣秘書官（三等）　東條貞

一兩日中決定

【東京十六日發】中橋內相は就任の劈頭において中央、地方を通じて人事の大更迭を斷行して民政系知事及び部長級に代るに白黨系の休職知事及び部長を復活せしむる事となり目下松野、河原田兩次官、森岡警保局長等は人選をなしつゝあるもその決定發表までには尚一兩日を要する見込である

共產軍行動活潑
漢口漸く不安となる

【上海特電十五日發】漢口來電によれば共產軍は內政不安に乘じ各方面に愈々活潑なる活動を續けてゐるが孔貨龍軍約二千名は去る三日武長鐵道沿線の新店を占領し同地に在つて寢返つた、新編第十二師袁英の一部とともに六日には蒲圻縣城を包圍した、武漢行營では急報に依り第四十四師蕭之楚の一連を同地に急派したが、右部隊は新店西北方の洪寨にある賀龍第六軍の約半個師と戰鬪してゐる爲め武長鐵路は今や中斷される形勢となつた、而して共產黨は孝感、早市、天門附近、陽新、黃安等の地方重要都市を占領してソウエート政權を樹立し着々勢力範圍を擴張してゐる爲め武漢は今や百キロ內外の圍を書き彼等の爲に脅威を受け不安漸く濃厚となつて來た、武漢行營では同地にある第四師徐桂堂、第十三師夏斗寅、第四十四師蕭之楚、新編十二師袁英の兵を以て警戒を嚴重にすることゝなつてゐる

社說

臧氏新政權へ乘り出す　殘る民敵匪賊の絕滅を期せ

臧式毅氏は突然奉天省政府主席に就任した。今までは地方維持委員會長の袁金鎧氏が其の主席であつたが、各法團聯合會が一致して臧氏を推薦したので、此處に更迭が行はれたのである。臧式毅氏は曾つて黑龍江省や吉林省に主席となり、最近迄は遼寧省(今の奉天省)の主席だつた人で、東北各省に在りては、行政上の第一人者である。彼は東北地方の行政財政の事情に精通し、其の手腕も見る可きものがある。故に彼は申し分なき政府主席といふべく、省內官民も多分安心して悅服するであらう。又同氏は遼寧省主席時代には、日本側とも常に折衝の任に當つて居たから、日本の事情にも通じ、日本側とも親善である。

◇

曩に舊政權が一度び日本軍隊と事を構へて崩壞してから、東北各省では、誰一人として舊政權を追慕するものがない。それも其筈で、彼等は自家の權勢を張らんが爲めに、民衆を搾取する機關であつたからである。現に張學良氏一人の私財でも、數千萬元を數へるといふから、其一門黨閥の蓄財が、何程に上るか知れない。其の上彼が年々、東北地域內で、自家贅澤のために費した金、又關內にまで出かけて軍事行動を取り、中華民國陸海空軍副司令などといふ虛名を維持せんがために、今日まで費やした金は、皆我東北地方の民衆から絞り取つたものである。彼が中華民國陸海空軍副司令などと稱して、北平に納まつて居るのは、張氏並びに其一族郞黨の威幅を張る爲めには好都合であつたかも知れないが、夫れが爲め東北三千萬の民衆が、如何に莫大なる犧牲を拂つたかを考へるときは、今日張學良なるものが東北から驅逐さるゝに至つたのは當然である。日本軍の行動を待つまでもない。偶々彼れが日本軍と事を構へて、自ら亡ぶるに至つたのは天道の然らしめたものと云つてよい。

◇

東四省に於ける張氏の從來の施政が右の如くであつたから、今張氏が滅びても、誰れ一人其の復歸を希望するものもなく、隨つて各地に新政權が出來るのは當然である。中にも奉天省は中心地であるから、新政權の創設にも頗る複雜且つ困難な點があつた。先づ應急策として、曾つて地方維持委員會が秩序を維持し、それが進化して政府の形となり、維持委員會長が政府主席として行政を執行して居た。それが此の十五日の更迭によつて、純粹な行政機關としての省政府となつたのである。新政府は今後着々其機能を發揮し、省民の安堵に貢獻せねばならぬ。

◇

吾々日本人は、東北三千萬の民衆と共存共榮の關係にある。故に民衆の敵は同時に吾々の敵である。民衆の敵としては、張氏一門の軍閥あり、之れに附隨する國民黨閥があつた。元來國民黨には、理論から考へる時、吾々は相當の尊敬も拂ひ、又支那民族の政治的進展の一運動としても、相當の價値を認める。併しながら別方面から見れば、夫は南支那が、北支那の政權を奪はんとする道具であつたとも云ひ得る。而して蔣介石氏が黨國の主權を握るに至つてからは黨の精神は漸く墮落して、理想の方面は全く消え、純然たる權勢爭奪の道具と化して了つた。殊に黨勢が東北に進出し來た時には、最も然りであつた。換言すれば、此れによつて張學良氏の勢力を漸次黨權の中に吸收し遂には之れを蔣氏の勢力下に吸收せんとしたのである。張氏若年にして、此の老獪な蔣氏の意圖を知らず、マンマと其手に乘つて居た。張氏が圖に乘つて日本と事を構へ、自ら勢力を失つてより、それに附隨して居た國民黨も勢力を失つた。國民黨のある所に、平和がないのは、支那本部の狀態を見て察知し得可く、張氏と一蓮托生で、國民黨が東北に於て勢力を失ふに至つたのは、東北民衆の爲めに至大の幸福である。

◇

軍閥黨閥の外に民衆の敵といふべきは、馬賊其他の匪賊である。匪賊は元來支那の政治機構の一附屬物として起つたもので支那の政治が根本的に變更されない限りは、其絕滅を期し得ないものである。元來支那の政府其物が匪賊である。匪賊中勢力の強大なるものにして、且つ多數人民と外國とによつて公認されたものが、即ち今日の支那政府である。故に其爲す所は、眞正の意味の政治ではなく、匪賊と同じ強奪である。東北舊政權もその一に過ぎないから、馬賊を討伐すると云つても、彼等はこれを徹底的に討伐するの意思もなく、又其力もない。それでも今日まで多少は抑へて來た。都城に近い地方だけには、馬賊の侵入を許さなかつた。併し此れは民官の爲めではない。自家の繩張を荒させないといふだけの目的たるに過ぎない。今や此繩張りの大親分たる舊政權が潰滅したので、馬賊匪類並びに新に匪賊化した軍隊が、到る處威力を逞しくして、民衆を壓迫するに至つたのは、已むを得ない成行である。

◇

故に新政權は差し當つて此の匪賊を討伐せねばなるまい。是れ今尚殘つて居る民衆の敵を絕滅する所以である。其の爲めに軍隊と警察とを必要とするが、當初此點に於て無力であつた新政權は、日本援助に待たねばなるまい。日本も三千萬の民衆の爲めにならば、共存共榮の目的の爲めに、之れを承諾せねばなるまい。但し討伐すると云つても此匪賊なるものが、又三千萬の民衆中の一部である事を忘れてはならぬ。元來彼等が匪賊になつたのは、舊政權が政治らしき政治を行はなかつたからである新政權は此點に留意して自ら政治らしき政治を行ふ事によりて匪賊が自然に消滅せしむべく期せねばならぬ。臧氏の主席新任によりて、省政府は確立され、續いて東北全土の政權も確立するであらう今日、吾人は臧氏政權確立の始めに當りて、先づ此事を注文する。即ち民衆の敵たる軍閥、黨閥、匪賊の中、前二者は日本軍隊の行動によりて退散したが、尚殘存する匪賊を絕滅するのが、新政權の差當つての仕事である事。併しそれは討伐だけで出來るものでなく、眞の意味の政治を行ふによりて其目的を達し得るものである事を吾人は茲に強調して置く。

兌換停止緊急勅令案　きのふ樞府委員會にて可決

【東京十六日發】樞密院の兌換停止勅令案審查に關する精查委員會は十六日午前十一時開催、犬養總理の挨拶後高橋藏相より金輸出再禁止斷行の前後事情並に第六十議會を目睫の間に控へ右勅令案御諮詢を仰ぐに至つた實情、財界事情等を說明し審議に入つた上水町、富井顧問官等は

一、兌換停止を緊急勅令案に依つて行はんとする現時の狀態如何
二、曩に金輸出禁止を大藏省令第十五號に依つて行ひたる時は兌換停止は行はなかつたに拘らず今回省令第三十六號に依つて金輸出禁止を行ふに就て銀行券の兌換停止をなす理由如何
三、勅令案を公布せんとする政府の法律的根據如何

等の質問あり之に對し高橋藏相より

一、省令第三十六號により金の輸出再禁止を行ひたるは日銀の兌換要求增加し現狀の儘では經濟界に不安を起すべき事態の起るやも知れず、曩の再禁止を最も完全に行はんとせば之より外なく議會開會を待たず緊急發令の必要を認めた爲めである
二、今回の再禁止で兌換の停止をなすは事態の相違あり經濟界の現狀に鑑みたる爲めである
三、法律的根據は公共の安寧維持と災厄を避けるためである

と答へ零時半休憩後一時半再開

江木顧問官　此前の金輸出禁止の時は正貨はどの程度であつたか、又兌換請求の件もあつたか

高橋藏相　正貨は十億圓內外であつたが、當時は正貨增加の狀勢で世界大戰の結果受取勘定多く經濟狀態も好況であつた、爲替もパーになつて居り兌換を要求する者なく今回とは事情を異にしてゐた

鎌田顧問官　國民が國內に金貨を貯藏するのは國外に持ち出すのでないから結局日本の富は少しも變らないから兌換停止の必要はない

藏相　國外より見れば變らないが日本の兌換制度より見れば制度そのものゝ安定を圖る見地からして此儘にして置けない

荒井顧問官　金の輸出禁止は變態故政府は一層努力して安定を圖つて貰ひたい

との希望を述べ三時十分政府側退席後樞府側審議の結果可決し四時散會した

希望條件附で可決　即日施行する豫定

【東京十五日發】本日の樞府精查委員會で決定した兌換停止緊急勅令案は明十七日午後一時開會の樞府本會議で左の如き希望附で通過し、即日施行を見る筈

一、金輸再禁止、銀行券の兌換停止によつて自然的に生じたる物價騰貴は免がれぬ、よつてこれに基く國民生活の不安に對しては政府で諸般の施設を過らざるやう希望する
一、兌換停止は變態的手段で貨幣の信用を失ふと共に種々の弊害を併發する惧れあり、更に公債募集困難等の事態を生ずる懸念あるを以つて政府は速かに之を常道に復すべく萬遺憾なきを期せられたし

野黨反對せば斷乎處置　犬養首相答辯

【東京十六日發】本日の兌換停止に關する樞府精查委員會において江木顧問と犬養首相との間に左の問答があつた

江木顧問　本勅令案は議會の承認を必要とするが與黨少數の今日議會において否決された場合の覺悟如何

犬養首相　議會における見込みは今日よりつける譯に行かぬが國家重大の折柄反對黨が徒らに反對するものとは思はぬが若し斯る場合に遭遇すれば斷然たる處置を執る覺悟を有する

對外爲替上伸

【東京十六日發】十六日の爲替市場は海外強調の入電に追隨し對米年內物四十一弗二分の一乃至四分の三の賣に對し買手は四十二弗二分の一見當を唱へ前日に比し約二弗方の上伸を示し對英は二志四片二分の一の賣に對し買手は二志五片二分の一を唱へ之亦前日に比し二分の一內外の上伸を示した、正金銀行は今日も建値を出すに至らず

辭任する意思は無いが　總て政府の肚次第　內田滿鐵總裁語る

滿鐵正副總裁の更迭については各方面で噂されてゐるが軍部と打合せのため來奉した內田總裁はヤマトホテルで語る

私は今のところ辭任の意思はない、政府からこれについても何の交涉もない、是非辭めて欲しいといはるれば何時でも辭める、今朝(十六日)も奉天の有力者から私の留任について運動中の由を聞いて私は感謝してゐる、何れ上京するがそれは辭表提出のためではない、時局多事多端の折柄やりたい仕事は澤山あるがそれも政府の肚で萬事決定される筈【奉天電話】

滿鐵正副總裁けさ歸連

內田滿鐵總裁は十六日午前八時半着奉、驛頭には宇佐美奉天事務所長ほか多數出迎へあり、直にヤマトホテルに入り小憩の後本庄軍司令官を往訪懇談を重ねた、十六日夜十時四十五分歸連の途につき十九日江口副總裁と東上すると【奉天電話】

滿鐵首腦部の更迭は遺憾　各地社員會に意見を照會　山岡社員會幹事長談

滿鐵社員會の一部では今回の政變により正、副總裁の更迭が取沙汰されるに至つたが從來滿鐵首腦部の恒久性擁護を原則として揭げ來つた社員會としては特に麾下の重大な時局に鑑み今回の政變の餘沫を浴びて正、副總裁の更迭を見るが如きことは飽迄阻止せざるべからずとの意見有力となり來りその成行を注目されてゐるが、右につき山岡社員會幹事長は左の如く語つた

滿鐵首腦部の恒久性確立といふ問題は議論をすれば贊否共に種々な見解が成り立ち得る、政策、方針を一貫せしめる見地からの恒久性もあれば人物を中心として獻身的に滿蒙經營を遂行せしめるといふやうな意見もあらうが、兎に角具體的な現實の問題として力量手腕はいふ迄もなく三萬社員の多大な信望を荷つて居られる現在の正、副總裁が今更迭するやうなことは我々としては極力反對である、實は內部で斯かる意見が有力になつて來たので取敢ず十五日各地聯合會宛に幹事長の名を以て意見を取纏めることゝなり十七日には本部役員會を開いて各地社員の意思に基き今後の具體的行動を協議することゝなつてゐる、從つてまだ現在の所では今後如何なる方向へこの運動が如何なる程度に進展するかは申上げることは出來ない、各地からの回答は一部條件附のものもあるが殆んど幹事長一任となつてゐる

斯波、伍堂兩氏東上

滿鐵技術局長斯波博士及び伍堂理事は二十二日出帆のばいかる丸で東上の豫定

秦新拓相に祝電と請願　大連會議所から

大連商工會議所では秦新拓相に宛て十六日午後會頭の名を以て左の如き就任祝電を送り併せて拓務省存續及び將來の活躍を要望した

拓務大臣に御親任の趣御祝儀申し上ぐ、拓務省はわが外地發展並にその統整上の必要に迫られ設置されしところ僅かに二年にして廢止されんとせり、かくの如きは省務行政、改善充實を緊急とする今日些々たる財源捻出の犧牲たらしむるは國政を逆轉せしむるものにして寔に寒心に堪へず、よつて當所はさきに是が存續方につき要請するところありたり、閣下今回御親任を機として是非とも是を存續せしめ更に一層その機能を發揮せしめられんことを切望して已まず御就任に當り特に懇願す

岡部平太氏　辭表提出を決意

[illegible]大學問題で種々臆測を傳へられ一時その生死さへ疑はれて居た滿鐵地方部學務課の岡部平太氏は奉天出張を終つた後一度內地に歸省の上先般歸連し出社して居たが同氏は十六日大森地方部長に辭表を提出することに意を決した模樣である、同氏今回の決意は滿洲スポーツ界のため甚だ遺憾とし運動關係者間には留任運動を試みんとする人々もあるが同氏は公明正大なる運動精神に鑑み何等やましき事なきを明かにし、同時に軍部及び滿鐵との諒解をも得て辭任する運びになつたものであると

年賀狀と虛禮　國粹生

（投書歡迎　十五行以內　中傷はごめん）

◇滿鐵地方課員が時局に感じ歲末歲始の無駄を節して獻金する事となりしは誠に美擧と云ふべく斯くあつてこそ國民至誠の表現として喜ぶべき所なり、此際誰しも此の考へは有する事と思ふが、多數の社員を擁し在滿邦人の師表に立つべき滿鐵社員が第一に公表せしは一層喜ぶべき事と思ふ。

◇然るに之に關し社會施設係員の言として年賀狀を以て虛禮と斷じ堂々新聞に定見を發表せしめたる事は謬見も甚だしく社會に惡影響する所大なるを憂ふるものなり、虛禮のために出す年賀狀はいざ知らず、我々は更新の目出度き年を祝ふ眞情から親戚知己に喜びを述べ平素の交情を溫め疎遠を謝する至誠に基く禮儀であつて、斷じて虛禮ではない。

◇大滿鐵の社會係と云ふ大切な役目を有する者が斯る皮相の斷定を下すが如きは淺薄も極まれりと云はねばならぬ、寧ろ虛禮を反省すべきは社員家庭の一にあらざるか、之れ社會に定評ある所なり。

◇近頃新らしがり屋が無暗に慣行打破、虛禮廢止、生活改善と絕叫しても事實は之に反して國民精神の頽退を招來した最大原因は之等淺薄なる皮相論者の傳統的慣行を打破せんとする罪に歸すべきもの多きは識者の認むる所なり。

第一線に立つ滿鐵社員(9)

闇と寒さの中に地雷を除きつゝ　作業に苦心した修理班一行

チチハルにて　五百旗頭佐一

皇軍のチチハル入城に際し所員總出で道案內に努めた滿鐵チチハル公所も八日ごろから漸く一服の形となつたが、依然各方面からの訪問使の應接に忙殺され、つひに河野公所長とも語る時がなく十日午前龍江驛に鐵道部の現業員を訪れた、忙しい中を滿鐵奉天事務所鐵道課の平野七郎氏は快よく迎へ「いますぐ裝甲列車に次ぐ龍江最初の乘込の連中を呼集めませう」と臨時召集、早速元氣な車掌さんや修理班の人達で自然的に立派な座談會が出來上つた、話は餘りに古く、多少重複になるかも知れないが鐵道現業員を中心としたチチハル一番乘を書くことにする

◇

十一月十八日夜半江橋驛に待機を命ぜられてゐた鐵道班に急遽出動の命令が下された、一番乘に勇む者、後詰を命ぜられて憤慨するもの、騷がしい中にも元氣の溢れた宿舍ではまたゝくうちに準備が整ひ裝甲列車だけは其前に出發してゐたが十八日午前二時半機關車や客車等から成る五個の列車はチチハルに向つて進發した、戰況に從つて進む列車の歩みは遲々として大興をすぎる頃から次第に機關車の水に缺乏し來し始めた、大興まで水を汲みに引返す苦心、そのうち前方の機關車は總て水が切れ更に最後には大興より二臺の機關車が應援に向ひ五個の列車全部百三十輛は一個列車となつて推進によつて車を進めるに至つた、その列車の長さ實に二千米以上になつたといふ、これより以前既に昂々溪は激しく列車は敵彈の着彈距離千五百米突を離れる地點まで車を運び滿鐵社員新聞記者等全部が總動員で彈藥運びを手傳ひ更に引返して再び運ぶ忙しさ、または鐵道線路めがけて負傷を運んで來る負傷兵の收容に全力をあげての助力をせねばならなかつた、かうした苦心のうちに列車の進行はますく緩く加ふるに昂々溪近くになつて列車連結のカップラーを一ケ所壞したが仕方なくそのまゝ列車は推進した。

◇

十八日午後四時列車が城地、昂々溪間を進行中先頭の車掌がレールの繼目板三十本ばかりがゆるめられてゐるのを發見した、停車の運で殆ど無經驗の者ばかりが道具としても一つもないレールの修理に取かゝつたのであつた、漸く修理は完成した、然し夜だ、列車は赤旗は振られた、然しその時修理班の列車は故障のため未だ大興に取殘されてゐる「エ、儘よやつゝけろ」と多少の經驗をもつ者の指揮でますく徐行である、車掌の振る合圖燈の靑は後方に見えないといふ、朝から吹く蒙古風はますく強い、昂々溪にいつ着くかは全然見當もつかない。午後八時すぎ突如その時列車の前方に三本のレールが外されてゐるのを發見した停車!、その時だ破壞箇所近く進んでゐた一人がレールから出てゐる一條の鋼線を發見した、誰かが「地雷火」だと叫んだとき思はず一同は飛び退つた程だ、早速一人の機轉から電線は切斷されたがそれは遠く右方の村落近い墜壕の中につゞいてゐたといふその時は遲れてゐた修理班も到着してゐた、地雷火の除去とレールの敷設、闇と寒さの中に修理班の活動が始まつた、地雷火をショベルでたゝく事に危險を感じた一同は己がナイフで凍てついた土を掘りく取り除かればならずレールの修理は寒さのためにアセチリンランプの燃えが思はしくなく、この苦い修理も終つたのは午前零時半であつた

（寫眞は昂々溪驛）

東株の立會準備　けふ再開は不可能

【東京十六日發】主要株四銘柄の半數解合によつて立會準備を進めることゝなつた東株市場の善後策協議も一部の總解合主張によつて問題は遂に一頓挫を來たすに至りこれがため十六日午前十一時より再び聯合協議會を開きその根本方針につき協議する事になつたが、形勢は再度の紛糾狀態に陷つたので容易に解決の見込たゝず、半數解合値段が新東について見るも大阪側より約五圓方上値にあるので賣方側に苦情があり殘玉の半數を殘して立會を再開するにおいては再び休止の運命に陷るやも測りがたいので、反對者は此點を深く憂慮して居るもやうで何れにしても總解合の話が纏まつてもその手續きの上にも相當時日を要するので明日よりの立會開始は絕對不可能と觀らる

東株解合經過

【東京十六日發】東株市場の善後處置は昨日決定せる解決が一頓挫來たしたので十六日午前十時半委員聯合會を開き再審議の結果妥協點を發見し左の方法で解決を圖る事となつた、即ち長期短期取引における東株、新東株、鐘紡及び新鐘紡については任意解合を行ひその他の諸株については賣買双方より解合希望を申出で組合委員會において之が解合成立に努め前記四銘柄の買方に對しては最少限度を各建玉の半數以上となるべく多くの解合を懇請し、なほ賣方の解合希望に對しては組合委員會で之れに副ふやう努力し更に解合希望の向きは十七日午後一時限取引所側に申出でる事になつた、此方針は昨日內定した半數解合に多少の障害が加へられたもので一部に主張された總解合說は成立しなかつた

東株あす立會再開

【東京十六日發】立會停止中の東株取引所は十八日定期より立會再開に決定した

大株定刻立會

【東京十六日發】大株取引所では十六日臨時議員會にて協議の結果東株市場整理問題の如何に拘らず十七日定期より開始する事とし東株市場が尙休會續行の場合は東株市場へ遠慮して長短共東株舊新のみ立會はざる事に決定した

商工學校の改組案　乙種商業學校に

大連市立商工學校改革問題の市學務委員會は十六日午後二時半より市役所會議室において開會、小川市長より三年修了の乙種商業學校に改正する原案の說明あり、これに對し甲種商業學校にしたら如何との議論もあつたが結局原案を承認し同四時五十分閉會した、近く市參事會に附議される筈

塚本關東長官　來廿二日上京

塚本長官は今次の政變に依り二十二日發連のばいかる丸にて室田秘書官同伴急遽上京することに決定した

大谷司令官

大谷旅順要塞司令官は十六日關東軍司令官の招電により伴野少佐を同伴同夜急遽旅順出發奉天へ向つた

衛生課異動

滿鐵人事課では十六日午後左の如き衛生課關係の異動を發表した

衛生研究所技術員　倉內喜久雄　命血清科長心得兼細菌科長
同庶務係長　今西[illegible]　命長春醫院庶務係長
衛生課事務員　園部又三郎　命衛生研究所庶務係長

人事

▲田中稔氏（[illegible]民政署長）駒拓務省管理局長案內のため豫て沿線出張中のところ十六日歸來關東廳にて事務打合の上同夕歸任した
▲山中德二氏（大連民政署地方課長）十六日赴旅即日歸任

大觀小觀

蔣介石我を折つて遂に下野、砲火によらずして政策の行詰りを自認して下野したのは支那としては珍しい▲下野の前に、今度の反政府民衆運動は個人に對する反對でなく、國民黨に對する反對だと宣言した▲成る程學生連は共產黨萬歲、打倒國民黨を叫んで居る▲此音頭取りは北平から乘り込んだ學生だとある▲國民黨は南支を代表して北支を征服した、征服された北支の代表者は軍閥だつたが今度は北支の學生が南京政府を征討した形になつて頗る珍妙だが、畢竟支那の騷亂はいつも南北勢力の爭ひだと見てよい▲北平では目今學者、學生全般の空氣が親露抗日一點張りだといふのと引合せて考へ物▲排日と排三民主義とが結合して共產主義が飛び出す▲此際武漢方面共產軍の活動顯著▲蔣介石が三民主義の危機を叫ぶも無理ならず▲廣東派が南京政府を取るも、一旦橫道に外れた三民主義をよく立て直し得るやは疑問。

本日號外を添ふ

市況（十六日）

株式　當市保合

當市の氣配變らず保合つた

後場　◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	一	一	一	一
東新	一	一	一	一
鐘新	一	一	一	一

特產　銀高を移し一齊軟調

後場の定期は銀價の昂騰を眺めて各品共一齊軟調を辿り閑散裡に大引した

◇定期後場（單位）

▲大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百九十八車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　四萬二千枚

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　五千箱

▲高粱（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二十八車

▲包米　出來不申

◇現物後場（銀建）

品名	寄付	大引
混保大豆（袋込）	四八五〇	四八二〇
大豆（裸物）出來高	五十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	一七一〇	一七〇五
出來高	二萬二千枚	
豆油	一一八〇	一一八〇
出來高	六千箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔　鈔票小反撥

後場は小高く寄り引際一段と反撥した

◇定期後場（單位錢）

限	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　期近五百五萬圓

◇現物後場（單位錢）

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高（銀對金）三十四萬八千圓　（銀對洋）一萬圓

商品　麻袋保合　綿糸硬り

麻袋は變らず綿糸は大阪三品引の小硬りを眺め小手合せをみた

▲麻袋定期

銘柄	約定期	値段	數量
錢筋	十二月	二四八	二

出來高　二千枚

▲綿糸定期

銘柄	約定期	値段	數量
福助	三月	一二九六	一〇
同	同	一二〇八	一〇
同	五月	一二六三	七〇

出來高　九十梱

奧地市況

品名	限月	寄付	大引
▲奉天票	現物		一〇〇、〇〇
▲奉天大洋	現物	六〇、一〇	
	先限	一六五、五〇	一六五、〇〇
▲開原大洋	現物	六〇、二〇	
▲安東鎮平銀	當限	八三三	八三六
▲哈爾濱大洋	先限	八四五	八四六
▲開原大豆	現物	四二、三〇	四二、五〇
▲哈爾濱大豆	二月	一、一二〇〇	一、一二〇〇

市場電報

限月	値	値
十二月	八〇五〇	[illegible]
一月	八一五〇	[illegible]
二月	八二〇〇	[illegible]

▲同小麥

限月	値	値
十二月	一、二八〇〇	[illegible]
二月	一、三三五〇	[illegible]

神戶特產：大豆現物、大豆先物、豆粕現物、豆粕先物、滿洲小麥、豆油現物　[illegible]

大阪綿糸（後場寄）：十二月、一月、二月、三月、四月、五月、六月　[illegible]

橫濱生糸（後場一節）：十二月、一月、二月、三月、四月、五月　[illegible]

大阪期米（後場寄）：十二月、一月、二月　[illegible]

東京期米（後場寄、當限落）：十二月、一月、二月　[illegible]

神戶期米（後場寄）：十二月、一月、二月　[illegible]

若奥様向の 麗人巻
髷の位置を上へ 移すと令孃向に

イットは推移する——一九三二年の彼女は臆面もなく露出したその廣い額に理智的な彼女の美を、イットを放散するのです、しかも西洋映畫の影響はあのお菓子をのつけたやうなあまりに技巧的な束髪にいさゝか飽いて來たやうにも見えます、パ社の「アメリカ悲劇」で素晴らしい人氣を集めてゐるシルビア、シドニー、或は「インスピレーション」のグレタ、ガルボのやうに、髷の毛をピッタリ左右に撫でつけて、右から左にぐるつと波打たせた二すじのウエーブに、髷もまた理智的にちんまりと無造作にまとめ上げて、さてや、淑しい右頬の感じをカールによつて補つたインテル好みの若奥様向の髪「麗人巻」をモナミ美粧院の西川美代子さんに上げて頂きました、この髪は髷を寫眞のやうにぐつと下にしますと落ついた氣品が出ますし、髷の位置を少し上に移しますと令孃向の派手な髪になります

社會館の授産部 案外の成績
結婚衣裳が割合に多くて 紹介所の求人求職

押し迫る年末を前に大連市社會館授産部及び職業紹介所の動きをのぞいて見ました、授産部の和服部編物部、ミシン部の三面を見ますに先月の成績は

	點數	工賃
和服部	三七〇	四四〇、〇〇圓
編物部	八八	一二二、九〇
ミシン	二六九	三六五、三〇
總計	七二七	九二八、二〇

で一點平均は和服一圓十九錢、編物一圓三十九錢、ミシン一圓三十六錢となつてゐますが十月に比べますと十一月は點數に於ては一一三點、工賃は二四四圓三十八錢の増加となり前年同月に比べますと二三五點、工賃二八九圓一四錢の増加となつて居ります、これにつき小堀氏は次の樣に語りました

不景氣の爲

今年は思ふ樣な成績はあがらぬと豫想しせめて昨年と同額位の成績は納めたいものだと願つてゐました處意外な事には昨年よりはうんと成績もよく三百圓近くの増加を見て喜んでゐます、この原因は一つはこの七月以來申込者は電話さへして戴けば早速こちらから集配するやうな便利な方法を講じました事もありますが、又正月衣裳準備や來年は申年でそのため結婚を今年のうちにと急がれたため結婚衣裳が割合多かつたため縫賃もあがつたのだと考へます、こゝの授産部も誰でも縫へると云ふやうになると大へん便利なのですが今の所ではこゝの家事講習所へ(一年)を卒へなければ授産部で働けないのでこれもどうかして誰でもすぐ働けるやうにしたいと考へてゐます、職業紹介所に職を求めて來る婦人の中でお針仕事のちつとも出來ないと云ふ人は稀ですし、たとへあつても指導してやつたら少しづゝでも縫へるのですからこんな方にも口が見つかるまで縫はせてやれるやうになつたらと今その方の計畫はいたして居りますがそれも來春でないと否やは分りません

職業紹介所

の方は割合に求人求職とも少數で先月など婦人部の方は求職六七名あつてそのうち就職したもの六名で女中が主です、求人の方でも婦人の方は事務員を求める人は稀であつて女中でしたら澤山あり、大てい右から左へと云ふ調子でどん〳〵纏まつて了ひます、給料も住み込みで十三圓位から十五圓程度で沿線へは住み込み二十圓以上で行つてゐますが沿線希望者は全くない狀態です

男子の部で

は先月は求職者九十八名で(うち四十名華人)その中就職したもの十七人(日本人九人)でこれらの人は店員が主で支那人はボーイ或は店の配達夫で日本人店員で住み込み十圓から十五圓程度で通勤で四十圓の手當を貰ふ者もありました、春夏は求職者も相當多く帝大、高商、高工、同文書院などの卒業生など智識階級の士も交つてゐたのですが冬になりますと求職者もうんと減つてまゐります

新年懸賞寫眞募集

課題　『新春』　滿蒙を背景にしたもの
印書　八切以上(臺紙に貼附せず裏面に畫題住所姓名撮影場所を明記)
締切　十二月二十日限り
宛名　本社編輯局(應募印畫は返却せず)
賞金　一等一名五拾圓、二等一名二十圓、三等六名五圓
滿洲日報社

優しい乙女心に 愛國の熱血は迸る
大連各女學校生徒が思ひ〳〵に 涙を唆る獻金運動

時局に際して大連市內の各中等學生、小學生等も或は家庭に於て、或は街頭に於て隨所に涙ぐましい活躍を、或は緊張を見せてゐますが、中でも優しい乙女心に愛國の熱血をたゝえた數千の女學生等は自ら進んでその學課の餘暇をひたすら恤兵の資となる爲に捧げてゐます

彌生高女 では先日來四、五年生が交代でお菓子を燒き全部の生徒がその菓子を賣つて收益を獻金してゐます、又三年生は先生の指導の下に美身クリームを製造中ですが、近日中にこれを瓶につめて廣く市中に賣捌きその收益も獻金するさうです、年末には既報の通り上級生が一般市民の註文をうけてお正月用の重詰を拵へる筈ですが、既に約三百重の註文がありましたこれも收益をあげて獻金に加へるさうですこれらの獻金で總額一千圓には上せたいと大した意氣込みです

神明高女 も彌生と對抗して獻金一千圓を目標に努力してゐます、即ち細工の上手な人たちはクレープ、ペーパーでキユーピーさんのきものを拵へ、繪のうまい生徒は羽子板に彩管の妙筆を振ひ、あとの生徒は國旗の製作に努力してゐます、羽子板キユーピーはクリスマス、プレゼント或はお年玉をあてこんで全生徒がその賣捌に當り、毎月一日十五日には大連神社社頭に進出して國旗を賣ることになりましたが、去る十五日の午前中にも一千本の旗を賣盡したさうです、これも勿論その收益全部を獻金にあてるわけです

女子商業 では去る五、六兩日にわたつて獻金募集のバザーを開き好成績を收めましたがその後生徒等に自發的に一二の篤志な大商店から玩具や菓子を廉く讓り受けて放課後或は夜間を利用して近所や知己にこれを賣つて收益を獻金してゐます

羽衣高女 では寒い折柄無理をして健康を害するやうな生徒があつてはと街頭進出などは寧ろ引とめてゐる位ですが、熱心な生徒等はじつとしてゐられず寄々協議して或は造花や人形を拵へて賣つたりして獻金を集めてゐるやうです「生徒が自發的にやるのですから別にとめもしません、しかしこの時局を最も有意義に克己シーズンとして、まづ家庭から消費節約の習慣を養ひ、或は俥代、電車賃など節約して得たものはこれを獻金させたいと家庭にも充分徹底させる方針をとつてゐます」と同校長のお話です

大日本雄辯會講談社長野間清治氏は今回佛蘭西最高章レヂオン・ドノール勳章を授與された

日記界大恐慌 無代贈呈の日記現る
今度も亦誠文堂の大活躍

最近流行の十錢均一のトップを切り、不況に沈淪してゐる出版界の革命的壯擧として熱狂的歡迎を受けた誠文堂十錢文庫は忽ち全國を席巻して一千萬部を賣り盡した今回誠文堂では同文庫一千萬部突破を記念して、最近完了した同社の十大全集を急遽增刷新裝して、どの全集のどの一册でも皆一圓均一といふ出版界初めての試みを發表した。十大全集の中には、世界童話大系・櫻井忠温全集、家庭醫學全集、將棋大全集等、非常なる盛況裡に最近完了したものを始めとして、同社のドル箱と稱せられる大日本百科全集等がありその他音曲全集、園藝全集、經營全集等本格的な全集であるツイ先日まで一册二圓三圓した名著ばかりで、一册だけ欲しいと思つても、全集であつたところから分册されなかつたものも多いのでこの壯擧は正に讀書子の一大福音である。しかも、是等の名著は何れも皆五百頁より一千頁に至る大册で、永久に潑溂たる清新の內容を備へ、書架に光彩を放つ豪華版である。特價にもせよ一册一圓といへば世人はスグ圓本を聯想するであらふが、今回の全集特價のものは大方一圓五十錢以上三圓位の品であつて、大道の古本屋に寒風を受けて二三十錢で亂賣されてゐるものとは異り、つい先日まで定價を固く維持し中には古本價値さへ生じてゐるものもあるのである然もそれに二大附錄として、十大全集百五十數册中どの一册を買つた人にも、昭和七年用の實用日記と、大好評で目下飛ぶやうに賣れてゐる誠文堂十錢文庫とを洩れなく無代贈呈するといふ。出版界はこの破天荒の壯擧に噴火口のやうに湧き立つて「日記は景品にただで貰ふもの」と云ふ誠文堂一流の宣傳と相俟つて年末近き日記業界は一ト波瀾まぬかれぬであらふ。因みに同特賣は十一月二十五日より開始し、十二月三十一日迄で內容目錄は全國各書店又は東京神田錦町一丁目誠文堂へ申込めば、スグ送つて吳れる。

寒氣に馴れてから運動へ(下)
滿洲醫科大學教授 山口清治

滿洲のウインタースポーツと云へば、スケーチングかスキーでなければ何でもやる外はない。其の內で最も大衆化出來るものは、スケーチングである樣に思はれる。簡單に一人で出來る運動であるばかりでなく、運動其のものが全身的で緩急何れにもなし得る點は、夏の水泳に比すべきものである。時ばかりの運動だなど、思ひ或は危險を云々するのは餘りやつた事のない人の考へである。水泳の樣な生命に對する危險は、滿洲の池でやる時の外は絕對に無いと云つてよいし、私など開始して以來十數年、尻餅をつく事、恐らく一千回を越えると思ふが、殆ど怪我と云ふ怪我を知らない、私は此點から如何なる人にかゝはらず之を試みやうとする人には、奬めて憚らないのである。

唯此點について私の甚だ遺憾に思つて居るのは。滿洲のスケートをする人達殊に學生達が、徒らに速力のみに偏して居る事であつて到底見込が無いと云ふ狀態になつて居ても、或は競走が身體に適しない樣な者までも、一律に、唯氷の上を走つて、速い遲いを論じて居る、國民性なのかも知れないが隨分間違つた話だと思ふと共に、特に私は此點を指導者である各學校の先生方に考慮してもらひ度いと思ふ。如何なる運動によらず個人に適合したものを選ぶ事によつて初めて意義があるのであるスケートでも、競走スケートの普及と共に、より緩和で、長續きのするフイギユアースケートがもつと利用される樣になると、冬の戶外運動スケーチングも、もつと有意義であり、大衆的となり得やうと思ふ。

滿洲は雪が少い代りに氷に惠まれて居る。戶外生活の興味ある一方法として、スケートの大衆化を希望する。

◇

滿洲の冬は、無風快晴の日が多い。家の中に居つては解らないがウインタースポーツをやるものは少くとも再三、春の樣な冬日和の惠みに感謝する機會を持つであらう、たとひ溫度は低くても、雪に反射する美しい太陽と、煙も直立する無風狀態とは日本內地では餘り見られない事である。散步でもかまはない、雪見でもかまはない斯ういふ天氣を逃さずに外に出て心ゆくばかり大氣を吸ひ入れる事は理窟拔きに、第一氣持がよくはないだらうか、身體さへ暖かくして居れば、冷たい空氣の肺に入る事は、此際害の無いものである。

一昨冬、私はベルリンに居て、ダルーネワルトと云ふ池にスケーチングに通つた事がある。其處の池に行くと、何時も老若男女夥しくばかり出て居て、敢てスケートを穿いたものばかりでなく、見て居るものあり、散步するものあり、岸邊には簡單な食物屋、風船類の玩具屋、衣類車類預り屋などの出店がある。氷に反射する明るい太陽の光を浴びて、人々の嬉々として居る樣を見て、私は冬の氣持を全く失つてしまふのが常だつた。茲に於てこそ、眞に戶外生活の意義が徹底され、冬を完全に征服したものと云ふべきだと思ふ。

寒いながらも快晴に惠まれた滿洲に住む吾々である。精神的にも身體的にも、冬の戶外を利用しなければ嘘であり又利用すべき餘地が多々あると思ふ。

アサヒノボル
中滿しんいち作　河野さむし画　(十二)

(一) タイチヤン ハ ナンダラウト ジツト スイメンニ ウカンデル クロイ モノヲ ミルト オホキナ コヒ

(二) コヒ ハ オクチ ヲ パクパク シナガラ『オヂヨウサン オタスケ クダサイ』ト チイサナ コヱ

(三) 『オマヘ ドウシタ ノ』ト タイチヤン ハ フシギサウニ キクト コヒ ハ トツゼン トビアガ ツタ

(四) ミヅ ノ ウヘ 一メートル モ ピヨン ト トンダ ノ デ コヒ ノ シツ ポ ノ ナイ ノ ガ ヨク ワカツタ

滿日各地版

歲末氣分なんかは微塵も見えぬ長春
アンペラ小屋の兵隊さんを見て　暮も正月もフッ飛ぶ

【長春】師走に入つて半を過ぎた長春は毎日降雪を見るが嘉村、長谷部兩少將の旅團待機中で軍隊町の感はあるがそれだけ歲末氣分といつたものは微塵もない、實際雪の中に零下二十度前後の酷寒の中に破れトタンのアンペラ小屋に駐屯と共に起居する着のみ着のまゝの兵士を目のあたりに見て忘年會とか新年會とかは愚か煖房に寒さを知らずに暮らすのが

勿體ない位である、カンく～に凍りついた靴でザクく～と雪を踏みしめ乍ら銃を持つて徹宵警戒する歩哨の任務、此重大なる任務にある軍紀を思ふとき軍隊の有難さは如何に胸深く刻まれるかこれを惡用して自己の利益を滿たさんとするものがあればそれは國賊でなくてなんであらう齒科醫を訪れた兵隊さんの述懷に曰く、金を持つてゐても死に行く身にはいらんものだし、さりとて要のない金で齒痛を癒やして立派にしても駄目だけれど——ともうスッカリ

立派な死を覺悟してゐる——だが大興戰では齒が痛くて突喊に際し寒氣と風とで戰爭よりもつらかつたからせめて生きてる間の苦痛でもと——斯うした兵隊さんたちで長春の齒科醫は大繁昌である、不幸軍籍に容れられなかつた私達はこれ等兵隊さんたちを無條件で慰安し戰鬪に際しては心置きなく勇者でありたいとして送る義務がある、雪に閉ざされた長春は暮れ氣分なんていらない、軍隊氣分で一パイだ、軍隊の力で在滿日支人の

幸福と安心と平和とを作つて貰ひたいそれが全在滿居住日支人の欲してゐる正月氣分であらうと思ふと某氏は語つてゐたが恐らくこれは長春市民の大部分が持つ心持ちであらう從つて忘年、新年宴會などの計畫は何處へ行つても聞かれないやうである

可憐な二少女の涙ぐましい美擧
感激させられる手紙

【本溪湖】十二日の夕方零下二十數度の寒さに然も尺餘の雪の中を二人連れの少女が本溪湖守備隊を訪れ次のやうな慰問狀に金八圓を副へて兵隊さんに差上げて下さいといつて立去つた、此の小國民の心懷に對し守備隊長は感激の涙を浮べて居つた

日本と支那との衝突につきましてこのお寒い滿洲で何もかもわすれてお國のため私等のためにおはたらき下さいましてほんとにありがたうございます、此のぬくい家でいつもあたたかくくらしていけるのも皆兵隊さんのおかげだと思ひますとありがたくてたまりません、兵隊さんのことを思ひますと早く大きくなつてお國のためにつくさなければならないとかんがへておりますけれどもまだ小さいのでなんにもできないのがざんねんですそれで私等の出來ることでなにかしてへいたいさんに御恩かえしをしたいといつも考へて居りましたので國澤マサエさんに其のことをお話しましたら二人でお店の品物を賣つてその利益をためて兵隊さんに上げやうと考へつきましたのですぐとお父さんにそうだんして品物をかりて賣つてあるきました、そのもうけたお金の利益が八圓たまりました、此れをどうぞ戰地でおはたらいていらつしやる兵隊さんに上げて下さいませ、ほんのわずかですがお受取下さいませ、私等は兵隊さんのお健康をおいのりしております

本溪湖小學校尋四　小柳壽美代、國澤マサエ

國際氷上大會へ河村選手出發す
安東で木谷石原兩選手と同行　來る廿四日横濱出帆

【奉天】明年二月米國レークプラシッドに於て開催されるオリンピック競技大會にスケート選手として滿洲から安東の木谷、石原兩君と共に奉天から河村泰男君が出場することゝなり奉天で最初のしかも唯一人の檜舞臺に向ふ河村君は十五日十五時半發安奉線急行にて多數の人々に送られて勇ましく征途についたが同君は感慨に充ちた面持ちで語る

スケート選手として日本からオリンピック大會に出場するのは今回が最初のことで無論奉天でも私がその一人であります滿洲から出場する選手では安東の木谷、石原兩兄が居られることゝこれと共に遠く米國まで行かれるのはこんな光榮はありませんこの上は勝つても敗れても全力をつくし大和魂のあるスポーツ精神を發揮したいと考へてゐます

尚一行の日程は左の如し

▲十二月十五日奉天（安東）發▲二十日大日本體育協會主催送別會廿一日横濱海外渡航者檢査場にて身體檢査廿二日本聯盟主催送別會、出發迄の行動は一切監督の指揮によること（詳細は上京の節指示す）▲廿四日横濱出帆（日本郵船、氷川丸）▲一月九日レーク・プラシッド着▲二月四日—十三日オリムピック競技大會▲十七日—二十日世界選手權大會▲二十日レーク・プラシッド出發ニウヨーク、ワシントン、シカゴ、ロサンジエルス、サンフランシスコ等を經て▲三月二十日横濱歸着

送別氷滑大會
安東で擧行

【安東】日本が生んだ世界的氷滑選手木谷德雄、石原省三兩君の送別氷滑大會は十三日午後一時より六道溝リンクに於て催されたが此の日數日來の寒氣もやゝ緩まり絶好の日和多數の來場者あり木谷、石原兩君の今年最初の滑走振につつこりと見され午後二時半頃大盛況裡に終了した尚兩君は奉天の河村選手と安東にて一緒になり十五日午後五時二十五分發にて出發した一行は十二月二十日東京松坂屋貴賓室に内地選手と共になり同日大日本體育協會の送別會に臨席し翌日横濱にて體格檢査を受け二十四日其の名もスケート選手に相應した氷川丸に便乘晴の舞臺に向ふ事となつた

〇〇大隊着營

【營口】高田第〇〇聯隊第〇大隊は十五日午後二時四十五分遼陽から來營驛頭には荒川領事、門間所長、林署長、樋口在鄉分會長その他市民多數の出迎者あり直に隊伍を整へて所屬隊に合すべく行進を記した各戶には國旗を掲げて歡迎の意を表した

映畫會を開いて慰問資金を釀出
金州小學校同窓會の催し

【金州】到る處に慰問美談續出し出動將卒の慰問に當つては擧國一致熱中してゐる時、これは美しい慰問金捻出の計畫……金州小學校の同窓會では來る十八日午後六時半より小學校講堂に於て＜倉本少佐（五卷）＞＜大空の凱歌（五卷）＞＜チチハル（一卷）＞＜興安嶺高原の秋（二卷）＞＜觀食（二卷）＞計十五卷の活動寫眞映畫會を催し會費として大人二十錢小人十錢を徴收することゝしたが、これは安價な會費の内から得た利益を以て酷寒幾十度の曠野において奮鬪する我が將卒の慰問金並にその他時局に對して必要な事業基金として獻金しやうと言ふ最も美しい然も合法的な慰問金醵出方法であつて、此の益金の分配方法は目下活躍を續けてゐる金州時局後援會に一任しやうと言ふ申出があつたので、後援會でも此の擧に大贊成し出來得る限りの後援を爲すことゝなつた

門松を廢して軍隊を慰問

【營口】千代田町内會では新年の門松を廢して駐營軍隊の慰問金に當つることゝし獻金八十五圓を地方事務所を經て贈呈した

鞍山義勇團の神社參拜　下は市中行進

鞍山義勇團市中を示威行軍
十五日第一回の總會

【鞍山】一朝有事に際し全鞍山警備のため鞍山時局委員會において募集した鞍山義勇團七百數十名の役員及び各機關の編成を了したので十五日午後一時より驛前廣場モーターサイレン塔下に於て第一回の總會を開催したが、出場者實に三百數十名に達し林團長發會の挨拶をなし警備班を先頭に長蛇の列を造り市中を示威行軍なし鞍山神社境内に整列して神前に於て莊嚴なる結團式を擧行したが林團長は宣誓文を朗かに朗讀し萬歲三唱して解散したが宣誓文左の如し

滿蒙に於ける時局多難の時に際し鞍山市民有志は義勇團を組織し非常時に備へ結團式を擧げたるに當り茲に他日の奉公を神前に宣誓す

鞍山義勇團長　林　清諦

消費組合の撤廢長春からも請願
關係方面に請願文提出

【長春】長春商店協會では十二日午後七時より輸入組合に於て輸入組合の幹事會と聯合したが滿鐵消費組合及關東廳吏員購買組合の撤廢に關する請願書を滿鐵總裁、關東長官、關東軍司令官に提出することゝして散會した、その請願書は左の如し

滿鐵社員消費組合及關東廳吏員購買組合の存在が在滿小賣邦商に與ふる影響の甚大なるものあるを以て當業團體は大正九年以來これが撤廢を叫び要路に請願せること一再に止まらず本問題は經濟的、理論的解決策の範圍を超越し滿洲に於ける重大なる社會問題として喧囂の裡に貽されて今日に及べり、我國は今回の時局を劃期として徹底的に對滿蒙諸懸案を解決し日支共存共榮の下に國家百年の大計を確立しよとする今日これが一大障害たる兩組合は此際速かに撤廢せしめられんことを望む、右本會の決議に依り及請願候也

奉天スケート場廿日リンク開き
夜間照明設備も完成

【奉天】奉天國際運動場スケートリンクは茲數日來の寒氣で愈々完全に結氷したので來る二十日午後一時より左の如く盛大なるリンク開きを開催することになつたがリンクは夜間でも使用出來るやうに二千四百燭の照明も完成したと

▲競技種目（一）スピード選手男子五百、千五百、五千、一萬、女子五百、千五百、三千、一般競技（小學生をも含む）男子五百、千五百、女子五百、初心者競技男女共二百、四百、リレー二千（二）ツイギュアー模範競技（山口博士夫妻）武田二郎、谷戶運煕

▲申込期日その他　十八日午前中まで氏名、年齡、種目所屬を明記し運動場内受付まで申込まれたい但入場無料

腕章に『共產』
八家子附近の馬賊團

【鐵嶺】昌圖縣公安隊長は公安兵騎兵三百名と歸順馬賊二百名を率ゐ去る十日金家屯附近の馬賊討伐に出動金家屯南方十二支里八家子附近一帶に於て賊々賊團と遭遇激戰を交へたるが十日以來十五日までに大頭目天樂の部下九名與字部下七名同馬好九龍占中元等の部下十一名を射殺し意氣昂然たるものあるが同地方の馬賊は何れも腕章に共產の文字を記し一頭目毎に赤地に護國大隊帝國主義打倒と記せる白旗を掲げてゐると

安奉沿線に馬賊團
守備隊出動

【安東】十三日午後四時半頃安奉線林家臺南方一千米の地點に三十名乃至四十名よりなる馬匪賊の一團現はれ附近部落に於て掠奪を逞しうしてゐる爲め同地自警團が督勵してこれと應戰中折柄同地に來合せた玉置軍曹も共に協力彼我銃火を交へ敵を撃退しつゝあつたが急報に依り鷄冠山守備隊より將校以下四十餘名直に現場に出動匪賊の掃蕩を爲す事となつた匪賊より蒙つた被害は附近電線が數條切斷されたが直に修理復舊なつた

龍王廟に馬賊

【安東】鴨綠江下流大孤山方面は最近馬賊の横行甚だしく附近部落民は不安に驅られてゐるが十三日の午前大孤山より僅か離れたる龍王廟に李小驟を頭目とする二百名よりなる馬賊の一團現れ同地自警團詰所を襲撃し銃器四五十挺を強奪し餘勢を驅つて大孤山、黄土坎を襲撃せんとする形勢あるため大孤山警官派出所駐在巡査は自警團と協力し目下嚴重なる警戒をなし馬賊の來襲にそなへてゐる

通遼の賊團
歸順を申込む

【鐵嶺】通遼附近に蟠居せる賊團は約四千と觀られてゐるが最近使者を法庫門に派し縣長に對して歸順方斡旋を申込みたる由にて縣長もこれを快諾し州軍騎兵第三旅に歸順方斡旋を申込みたる師時旅長に取次いだ結果三旅でも斯る大部隊の歸順は大いに歡迎し歸順せしむる肚のやうである、然し曩に歸順せる馬賊は目下康平方面にあるが歸順前と同樣各村落に於て盛んに掠奪暴行してゐると

桑林子に賊團

【鐵嶺】十三日新臺子西方桑林子に於て馬賊頭目二三名が集合し新臺子襲擊に關する協議を遂げ近く實行する計畫を定めたりとの情報あり目下嚴戒中であるが賊團は聯合軍で約一千ありと

數十名の匪賊

【鞍山】十五日鞍山警察署の情報によれば海城縣警察燒鍋醸造業和聚燒鍋方使用人二名が馬車二臺で十二日同地より西方約十五六支里の地點通行中突然匪賊數十名に襲擊され衣類其他を掠奪されたが賊は附近部落民より馬車五臺を掠奪した處を騰鰲堡自警團員三名が發見し僅か三名を以て地物を利用して猛射を浴せたので賊は狼狽して馬二頭、牛一頭を放棄し西方に潰走したがこの賊團は目下海城縣馬高橋にある頭目尚滸賓の一味でないかと云はれて居る

三名の遺骨
奉天に歸る

【奉天】去る十三日遼河上流で名譽の戰死を遂げた第〇〇歩兵第五聯隊上等兵太田助作、一等兵川原仁太郎兩勇士の遺骸は十五日奉天に歸着した

負傷兵轉送

【遼陽】遼陽衛戍病院に收容中であつた負傷兵中廿七名は十五日發列車で朝鮮龍山衛戍病院に輸送した

行方不明中の兵士死體發見

【長春】先月二十四日鄭家屯方面において兵匪討伐中行方不明となつた歩兵第〇〇聯隊の上等兵辻三喜雄氏の死體は發見されたので十三日午後一時着列車でその遺骨が到着、同二時發で目下吉林駐屯中の本隊再送十五日原隊で告別式後十六日午前八時吉林發で平壤に送られる筈だと

取消　十三日附本紙地方版時局を種にして一攫千金の惡夢こんこは蠅を續つて利權屋の醜策動なる見出しの記事中撫順東七條三七石炭商永泰號こと古川村雄（別名和利）及その他の者の策動云々は事實相違の點ある旨本人より申込みありたるにつき全文の記事を取消す【長春】

沿線往來

▲宇佐美奉天事務所長　十五日大連より歸奉
▲戶田鮮鐵局長　十五日安奉線急行にて來奉
▲朝鮮總督府中村氏　同上

蓋平自治執行委員會發會式

【大石橋】從來軍閥政治の横暴なる脅威から逃れ新政權の下に一陽來復 蓋平自治執行委員會が本日呱々の發會式を擧げた

岩田獨立守備第三大隊長、林營口警察署長、大石橋警察署長代理林警部補、大石橋地方事務所長代理齋藤準一郎、齋藤憲兵隊長、熊岳城東海林第一中隊長、蓋平守備隊伊藤中尉、大石橋電燈愛甲事務小林才治氏等

來賓多數降車するや自治執行委員會より差廻されたる二十餘臺の馬車に分乘警備乘馬隊の先導に蓋平縣市民の歡迎を受けつゝ威風堂々縣務會議事堂に入るかくて午後零時半より左記式次により莊嚴にして滿洲施政史の一頁を飾る發會式は擧げられた

開會順序

一、振鈴開會全體入場
二、作樂
三、指導委員致開會詞　笹山指導員
四、指導員致宣言訓詞　景山指導員
五、自治指導部代表致訓詞　丑海
六、委員長就職宣言　辛縣知事
七、各委員就職宣言　楊慶春
八、各處長就職宣言　侯顯濱
九、各區委員就職宣言　陶安慰
十、來賓致祝詞　岩田大隊長、林營口署長、高法院長
十一、閉會
十二、作樂
十三、撮影記念
十四、宴會

日支各要路人士交々酒間和氣藹々裡に將來自治執行計畫を物語り盛大裡に午後三時半引揚げた

長春

守備兵の募集

吉林省政府では吉長吉敦鐵路管理下の鐵道守備隊編成後吉林、長春公主嶺等でその守備兵募集中であるが時節柄應募者も比較的少く引續き募集中なるも十四日には取敢ず小隊長金萬榮君の引率で二十一名の新兵が吉林より着長城內の守備隊兵營に入つたがこれから訓練が行はれる筈

北關雜報

▲日本の滿蒙政策を理解してる支那人は政友會單獨內閣の出現を非常に歡迎してゐる、より以上積極的であらうことを知つて、事實將來の積極的行動は支那人をどれだけ安心させるか想像外であらう

▲內閣更迭で銀は一躍十圓以上を跳ね上げたが出廻期に入つてるからうさ、大喜びは百姓たち只特產界に投げる影響は蓋し大きく兵匪の横行が頭痛の種らしい

▲長春花柳界總出の軍隊慰問長唄溫習會は待機で無聊を感じてゐる軍隊のためには何よりの催しで十三、十四の二日間文字通り兵隊さんで押すな〳〵の大盛況

▲長春在鄉軍人分會員及長春警察署員百餘名は十三日長春飛行場を見學したが今川大尉の說明、神崎中尉操縦、平田隊長同乘の機銃射擊、勝岡大尉操縦、大西大尉同乘の爆彈投下演習實施、壯絕快絕ヮ、零下十七度の寒さなどは吹き飛んでしまつた

▲鐵道守備隊司令部は司令官が市政籌備處長吉長吉敦鐵路局長金璧東氏であるため長春に設置されあるがこれがため十四日吉林より守備兵の武裝軍器として小銃一千挺彈丸十萬發が到着し着々と守備隊は充實されて來た

奉天

林女史講演會

林、久布白兩女史の奉天における講演會は十七日午後一時から滿鐵社員俱樂部に於て開催されるが演題は林女史「日本より來りて」久布白女史「時局に對する婦風會の態度」で入場無料多數來聽を歡迎するさ

安東

政變と安東

今回の政變に依る政友內閣の出現は安義兩地平民に對し尠からぬ衝動を與へ殊に財界好轉の樂觀氣分をさへ横溢ならしめてゐるが就中政友會と昭和製鋼所問題を結び付けて、山本前々滿鐵總裁が製鋼所を新義州に設置し多獅島築港を計畫したるに對し、反對黨民政內閣は動もすれば之を否定し在滿今日に立至つたのに鑑み政友內閣に依り直に右計畫は實行さるべしとの豫想をなす者もあり、最近昭和製鋼所の望み薄なるに對して悲觀して居た土地思惑者などで破產或は夜逃さへも餘儀なきまでに至つて居たものも一時に蘇生の思ひして昭和製鋼所の實現近きにありとの觀測をなす者が多い

藝妓贈答廢止

遊廓方面の藝酌婦連中は年末、年始になると仲居、髮結其他の者に苦い中を算段して贈答品を爲すが今年は時局の關係もあり不景氣も深刻である爲め安東警察署に於ては近日中に組合に對し藝酌婦の年末年始の贈答は絕體に廢止する樣通達を爲す筈であるが此の惡習は苦界に沈む彼女等をして賤な慣ます一つであり每年當局に於ても組合に對し通達するが一向あらためないので今年は是非廢止を實行せしむる意嚮である、これが徹底すれば彼女等も一つの惱みが除かれた故である

遼陽

大會經過報告

遼陽の日本人會支部では十五日午後二時から地方事務所會議室に於て理事會を開き生田特別委員から過般奉天で開催された全滿日本人會特別委員會に於ける經過報告をなし經費負擔額捻出方法につき協議する處あつた

社員會幹事會

遼陽滿鐵社員會聯合支部では十五日午後一時から幹事會を開き政變に依る正副總裁の更迭阻止要請につき協議大連本部に此旨打電した

婦人會發會式

遼陽居留民婦人會では十五日午後一時から民會事務所で發會式を擧行した

兒童慰安映畫

滿鐵地方課主催の第四十四回兒童慰安活動寫眞は十八日午後一時から小學校講堂に於てプログラムは左の如くである

▲實寫鯛網と鯖船一卷▲喜劇お轉婆サリー一卷▲科學電燈二卷▲漫畫空の桃太郎一卷▲敎訓劇此の子を見よ四卷

自治懇談會

兩氏は十七日午後五時半から滿鐵社員俱樂部樓上に於て遼陽縣自治執行委員會指導員副島、小島、長田三氏の紹介を兼ね日本人側有志と懇談の爲め遼陽、鞍山等の有志を招待した

鞍山

記者團慰問隊

鞍山新聞記者協會總代遼鞍野尻、泰日野村、滿日內野の三氏は洮南及び昂々溪に出動中の鞍山獨立守備第六大隊の將士慰問の爲め十五日午後六時三十五分發列車にて出發した

留守隊を慰問

鞍山製鐵所では右近庶務課長を以て總代とし十五日守備留守隊並に憲兵分遣隊及び警察署を訪問し時局に對する辛勞を慰安し清酒及び葡萄酒を贈呈した

營口

婦人團映畫會

營口婦人團聯合會主催で來る十八日午後二回に亘り「愛國の母」映畫會を開催し晝は軍隊の慰問夜は一般に公開し大人七十錢小人十錢を受け收入の半分は軍隊に殘り半分は同會の活動資金に當てる筈なりと

遼河再び流氷

數日來の寒氣襲來により遼河上流田莊臺附近一帶は結氷したるが十三日來寒氣稍緩みたる爲再び流氷狀態に入り目下大氷塊が流下して居る

普蘭店

各部局長申合

十二月十五日午後一時より民政署會議室に於て當地各部局長の會合を催し新年互禮會其の他に就き協議した結果時局柄忘年會新年宴會年末年始の贈答は之を全廢する事に決定し各部局長より夫々一般に之を周知せしめ普蘭店全住民は精神的に一團となつて奧地に於て艱苦缺乏を忍ばれつゝある方々と其の氣分を同じうし併せて生活上の餘剩を生み何等かの慰問方法を講ずる事に申合せをなした尙恒例による正月元日の新年互禮會は會費を三十錢に引下げ交換名刺を廢止し冷酒を酌み萬歲三唱して式を終る程度になす事に決定した

紅裙隊出動

お馴染の當地料亭遊樂館は作戰上の都合により今度旅順橋立町に移駐する事になり紅裙隊一同は十五日限り當地を引上げ旅順に向け出動離普した

露西亞パン　ハムソーセージ　哈爾濱商號本店　大連市

金州

高木氏歸鄉

金州における果樹園業者の草分さもいはるゝ南山園の高木熊三郎氏は家事の都合により來る十七日午後六時家族引纏めの上歸鄉する由

城外城裡

金州婦人會では滿洲事變に依る戰死者、戰傷者、警察官、在滿罹災鮮人同胞の慰藉救濟金として寄附金を募集するさ◇金州郵便局では例年の通り來る二十日から年賀郵便の取扱を開始するが二十九日を以て締切る◇十五日金州時局後援會宛無名を以て五圓の寄附を爲した篤志家があつた尙金州郵便局員有志からも六圓二十錢の自發的寄附があつた◇民政署の倉田忠次君は十五日午後四時京都野砲兵聯隊へ入營の爲め出發したが驛頭五百餘名の見送人あり其の行を旺んにした

旅順

陸戰隊の演習

在滿第十六驅逐隊艦艇、芙蓉、苅萱陸戰隊百三十名は岩橋大尉統裁の下に十五日午前九時半より迎驛より水交社に亘り市街戰演習を行ひ輕重機關銃の響き物凄き鈍光に市民を驚かしつゝ攻擊軍は逐次防禦軍を壓迫し水交社附近に進出したが前日來撒布積み上げた三ケ所の土嚢より頑强なる抵抗を試みアワヤ白兵戰に移らんとする際同十一時五分休戰となつたが演習後岩橋大尉より講評を行ふた

溫突から出火

十四日午後五時三十分頃旅順新市場雜貨商孫世賢方の溫突より出火同三十五分鎭火したが損害僅か三圓位で保險は帝國火災に物品四千圓、家屋に三千圓附してあつた、原因は焚き過ぎから

獻金

金百圓矢幡謙治、累計千三百三十圓也

第二の反抗（105）

三宅やす子　阿部金剛畫

女同士（九）

佐枝子の久し振りでの上京は、勿論兩親に逢ひたいことも理由だつた。東京の風景——歩きなれた銀座の鋪道を、輕快にふんで見たい。邦樂座で映畫を見たい。松屋、松坂屋、三越の秋の着尺に氣に入つたものがあつたら買ひ度い——住みなれた東京への執着はいろ〳〵あつたが、彼女のプランの中に、あからさまに入れないで、しかも實は、あらゆる「東京の執着」以上に、見えない力で彼女に迫つてゐる執着は、久々で寮一にも逢へる、といふ一事だつた。

實家の兩親は、彼女を下にも置かぬやうに、もてなしてくれた、父も母も、彼女の居ない後は、さても寂しかつたと云つて、涙ぐましいやうなよろこびやうだつた。

丁度、兄の亮が東北大學から歸つて來て居た。東京に用事があつて出て來たのだと云つて、折よく佐枝子に逢へたことを喜んでくれた。佐枝子も、思ひ懸けなく、兄に逢へたのは嬉しかつた。が——その兄は、彼女に、嬉しくないことを聞かせてくれたのだ。

「佐枝ちやん。寮一君から、便りはあつたかい?」

「イ、エ。なあぜ」

佐枝子は、兄の方から切り出してくれた寮一の話に、胸を轟かせながらきゝ返した。

「佐枝ちやんのところには、時候見舞位出すのかと思つたから——」

「よこすもんですか。あのひと、さても筆無性ぢやないの——」

「筆も無精、足も無精になつたと見えて、此頃さつぱり、此處へも寄りつかないつて、お父さん達愍つてるんだよ」

「………」

「お母さんは、案じて、はがき位出したらしいんだ。それでも、返事一つよこさぢやなし、僕が歸つて來てゐるのを、僕も通知したから、知つてる筈なのに、訪れても來ない」

「まあ——ぢや、兄さん、まだお逢ひにならないの?」

「あゝ」

「だつて——」

佐枝子は、一寸考へて

「向ふがそんない無精なら、兄さんの方から一度位訪れたつていゝぢやないの」

「ところが、訪れたつて居ないんだよ——おまけにいつ行つても居ないと來てる——」

「………」

「下宿のおかみさんの話ぢや、まるで此せつはお歸りになりませんつて——夜分さても遲くでなければ、お歸りになりませんから、お待ちになつても無駄です、と斷るんだ」

「………」

「眞面目な男だつたんだがれえ——酒だつてのめなかつたのに、驚るもんだれ。佐枝子夫人の上京を機會に、一遍、皆にでもよんだらどうですかつて僕母さんに話したんだが、お父さんが、よせ、よせよけいな事、つて聽こなしに、さても御機嫌が惡いんだ」

「それや、お父さんなら——あの頑固やさんですもの」

佐枝子は、寂しく頷いた。

佐枝子ノ兄

吉敦線で三百の兵匪 拉法驛を襲擊占領す
更に蛟河驛へ進軍中

十六日午前十一時頃約三百名よりなる兵匪が吉敦線拉法驛を襲擊し一部は驛を占領、一部は蛟河、拉法間の橋梁を破壞し更に軌條を取外して蛟河驛を襲擊のため進軍したなほ拉法以東は電信、電話線全部を切斷されたるため通信の途無くその後の情況不明に就き吉敦鐵路管理局においては吉林駐在の日本軍に對し急遽出動方を目下交涉中である、因に吉敦沿線は積雪深く兵匪討伐も頗る困難と觀られてゐる【長春電話】

吉林軍討伐に出動

【吉林特電十六日發】元劉旅長の配下で馬賊に變じ掠奪をほしいまゝにしてゐた兵匪約三百名は去る十二日馬旅長の討伐隊と交戰し長銃三十挺、機關銃一門、死體二個を殘し牛心頂方面へ逃走したが十六日午前十一時ごろ拉法驛を襲ふて鐵道巡警の武裝を解除のうへ驛員の身體檢査をなし所持金品を强奪して蛟河へ向け前進中その報により吉林警備司令部は大隊長の指揮する四個小隊其他憲兵それに在吉支那軍隊二百五十名と共に同日午後三時現場に向け出動した

鄭通全線に亘つて 驛その他破壞さる
兵匪が我軍撤退後に

鄭通線は十一月上旬日本軍撤退以後支那兵匪のため各驛の建物は勿論線路、給水タンク、井戸、石炭臺等殆ど全線に亘つて破壞されてゐる、而もそれらは頗る專門的に處置されてゐる點より觀て北寧鐵路從事員の手によつてなされた所業は間違ひのないところである、而して右は同沿線の錢家店及び通遼西方のわが華興公司兩農場に從事する內、鮮人數百名の安否に係る大問題である、左にその專門的破壞狀態を列擧すると

一、鐵道線路

A、鄭家屯、大林間破壞個所數個所延長一千粁、大林、錢家店間數個所延長三粁、錢家店通遼間七個所延長十六粁

B、破壞個所の枕木は全部集めて燒却し、レールはその附近に埋沒したものか他所に運搬したものか不明でレールの姿は見えない

C、築堤 比較的高い場所を選び約一米の割合コンクリートで數個所に障害物を設けてゐる

D、通遼驛構內の線路の三分二は撤去せられ枕木、レールなし

二、給水塔、ポンプ及びボイラーは大林、錢家店、通遼とも木部は燒却しその他は破壞し燒却、破壞し得ざる部分は土砂を充塡してゐる

三、給水井戸 大林、錢家屯、通遼の給水鐵管、給水井戸何れもセメント、モルタルを投入してゐる

四、石炭臺 大林、通遼とも燒却破壞してある

五、通遼の貨物倉庫、驛の建物、

戸外へ！戸外へ！ 鏡ケ池のスケート

二人組の馬賊 橇で逃亡
四百餘元を强奪

十六日午前九時五十分頃范家屯南大通二十一號地糧棧繼德遂事王毓□方店員王□勝及び陶家屯同店支店々員王坡俊の兩名が陶家屯支店へ現送すべき現大洋四百四十元を攜へて范家屯驛前滿洲銀行支店前に差かゝつた際二人組の馬賊が躍ひ路上にて拳銃を突きつけ所持金を强奪の上二頭曳きの橇に乘つて東北方に逃亡した、急報により范家屯派出所より全員出動し北方八大泉眼附近まで追跡したが遂に行方を見失つた【長春電話】

官舍、建具、什器を破壞してゐる【奉天電話】

高臺子附近で 兵匪と交戰
敵は死體を遺棄逃走

獨立守備步兵第一大隊は十六日朝范家屯西方六キロの高臺子附近において約七十名の兵匪と交戰しこれを擊退したが敵の遺棄せる死體二十、馬六頭であつた【奉天電話】

體育ボール優勝楯

大連市役所主催、本社後援の體育ボール大會優勝チームは優勝楯完成に付き至急代表者は市役所總務部に出頭受取られたしと

懷德の兵匪總攻擊
剿滅を期し我軍出動

長春の西百支里內の地點に縣城のある奉天省懷德縣は今日に至るも舊東北軍閥の勢力盤り奉天新政權の命行はれず、兵匪々賊は近く四方を攻略する形勢判明したので治安維持の見地から一擧にその剿滅を行ふに決定し軍部は本日午後四時を期し懷德縣城總攻擊に着手する事となり本日午前長春守備隊の〇〇隊はトラツクに分乘して出發したが公主嶺、四平街の〇〇〇〇隊よりも參加し再び不穩行動を起さぬやう痛擊を加へらるゝ事となつて居る【長春電話】

赤十字副社長 近く辭任

【東京十六日發】日本赤十字副社長阪本釤之助氏は近く辭任に決定した

オリンピツク選手 移民法の適用停止

【ワシントン十五日發】アメリカ政府は十四回オリンピツク選手に對しては移民法適用を停止するに決定した

奉天、チチハル間を 數日中に試驗飛行
滿洲航空界の大躍進

南北滿洲を繫ぐ定期飛行を行ふ計劃的企てに關しては既報の如くであるが先般來該航空路設定についての補助金支出方法について關係筋より滿鐵へ交涉中のところこの定期航空路の設定は鐵道警備に對しても重大なる效果を有するもので滿鐵においてもこの程三分の一まで補助金を支出することに議纏まり殆ど決定せんとしてゐる、卽ち約三十萬圓の補助金を要するがこれによつて先づチチハル、奉天間の定期飛行は愈々實現するが日本航空會社でも既にチ、ハル、ハルビン、長春、奉天に支所を設置し人員を配置して準備を整へて居り大連支所長麥田平雄氏も近く奉天支所長に轉任をみる筈で數日中にチ、ハル奉天間の試驗飛行を行ふ筈である

京城乘馬クラブから獻金

【京城特電十六日發】京城乘馬クラブでは出征軍馬の慰問をなすべく各方面の愛馬家たちの同情を求めてゐたが十五日までに四百餘圓に達したので同日朝鮮軍獸醫部を經て關東軍へ送金した

西園寺老公病む
心身過勞と風邪で

【興津十六日發】坐漁莊の西園寺公は十三日東京より歸邸の後發熱し名古屋より勝沼主治醫の來診を求めたが、連日の政客の訪問と今回の上京で心身過勞の處へ最近の天氣で風邪に罹つたもので十六日も午後五時同博士の來診を求めたが經過面白からず絕對安靜裡に加療中で側近者は憂慮してゐる

今シーズン大連スケート界

大連スケート會では十六日午後三時より大連市役所樓上に於て市役所側より加納、栗栖兩氏與風會より松原、湯野兩校長、市中側より滿洲體協林田主事、滿鐵體育係高橋俊夫氏、遞信局運動部幹事、大連、滿日兩社記者參集の上、本年度計畫及び日程に關し協議會開催の結果鏡ケ池は既報の如く從來の二個のリンクは□□附近地新設のたり一周二百五十米のリンク（內部にホツケーコートを含む）に改め又會員組織（一般五十錢、中學生三十錢、小學生二十錢の豫定）となすこととなり春日、彌生兩池のリンクは從來通りとなし、スケート會主催大連新聞後援の恒例大連スケート大會は一月十七日開催する事に決定午後四時半散會した

京城の女給が 慰問袋一千個

【京城特電十六日發】京城の各カフエーの女給約四百名は滿洲における皇軍の奮鬪に感激し相談の結果十月末からサービスの報酬を貯めて一千個の慰問袋をこしらへてゐたが出來上つたので近日中に朝鮮軍を通じて出動兵士に贈ることになつた

拳銃を突きつけて 金出さぬと殺すぞ
ゆふべ近江町の質屋へ邦人强盜
火事と騷がれて逃ぐ

十六日午後九時三十分ごろ市內近江町八〇番地質貸店こと小林武士氏方へ客を裝ふて入つた防寒帽子に黑オーバを着た三十歳前後の日本人が應對に出て來た主人に突如小型拳銃を突きつけ「金を出さぬと射ち殺すぞ」と脅迫中、氣轉をきかした妻女は窓口に飛出し「火事だ、火事だ」と大聲で救ひを求めたので賊は一物も得ず中央公園方面に逃げ失せた、賊は同家に押入る約一時半前にクロームの腕卷を十圓で取つて吳れと入質に來たが、その際主人は三圓五十錢でなければ取らぬといつたところ「それでは又」と一日同家を辭し附近で樣子を窺つて再び客を裝ふて押入つたもので、最初訪れたのは入質が目的でなく內部の樣子を窺ふのが目的であつたらしい、急報に接し大連署では時を移さず非常線を張り犯人嚴探中であるが、さきに市內通り支那旅館を襲ふた賊と同一人らしくいよく師走の物騷さが街に滿ちて來た

廢業による失業が 物凄い勢で增える
就職戰線總決算

滿洲事變と經濟界に一エポツクをつくる金輸出再禁止斷行とを大きな置みやげと殘して暮かゝる昭和六年も餘すところ半月足らずとなつたがせつぱ詰つた不景氣色は年を逐ふて上塗されるばかりで益々色濃くなつただけのこと試みに大連市立職業紹介所の年末統計から拾つてみれば

——◇——

本年は求職者、求人數、就職者三つとも昨年に比べてぐつと少いのが眼立つ、本年一月以降十一月までの求職者合計が男女千五百七十七人に對し昨年は十二月までだが男女千九百三十三人といふ數字が出て居りこれは就職戰線も沈滯し動かなくなつたことを示すものだ、師走になつて少しも變つたことはない、例年歳末にルンペンの潮い賴みとする歳暮賣出し繁忙期の臨時店員臨時傭の求人さへ本年は未だになく紹介所は拍子拔けの態

——◇——

紹介所統計係の失業原因調査欄を覗けば不景氣の魔ヌを頸筋に感じたやうにゾクツとする、雇主營業廢止による失業が一昨年二十四名昨年八名とあつたものが本年は一躍四十一名に激增、本人の營業廢止による失業が一昨年十七名、昨年五名のところが本年は四十四名に激增した、求職者全體に對する率からみればまた遙かに大きい

——◇——

毎年總求職者の四割前後を占める內地渡來の求職者が本年になつて男子が非常に減り之に反して婦人渡來者の倍加せることが著るしい傾向を現してゐる、本年男子求職渡來者は四百五十五人に對し昨年は六百四十一人だ、ところが婦人は昨年六十五人から本年百四十九人に倍加してゐる、今まで滿洲に行けば何とか仕事にありつけるさ漫然內地から來た男達も何處も同じ滿洲の夢醒めて考へ直すこと、したのだらうと紹介所では觀てゐるが、女ならばエロサービスでもと求職開拓に押しかけるので求職婦人來滿者は多いのださ

失業海員の飛檄
大汽の船に邦人を乘せよと
大連各方面に配布

我が海運界の不況は日毎に深刻味を加へ年關を控へて繫船百萬噸を突破するといはれ、失業船員數はグンゲン增加してゐるが、これ等失業海員の間では神戸に本部を置いて失業海員對策協議會なるものを創設し恐ろしい餓死に迫られた者同志が團結せんとし、既に「全日本の勞働者諸君に訴ふ」と稱する檄文を各方面に配布、大連各會社、市役所或は埠頭等にも配達されたが、右失業海員對策協議の鬪爭スローガンとするところは「大連汽船所有の船舶に日本人船員を乘せよ」といふのであつて同問題はさきに神戸において開始された海員組合の總會においても問題になつたもので更にこれが對策協議會で問題になつたものださ

慰問金を寄贈

大連市西公園町東裕錢莊主首藤定氏は軍隊慰問金に一千圓警察官慰問金に五百圓、貧民救濟費として五百圓、播磨町四六山本不三二氏は軍隊慰問金に二百圓、傷病兵見舞金に五十圓、警察官慰問金に五十圓、尾ケ浦小松臺二〇常深隆二氏は軍隊慰問金に二百圓、傷病兵見舞金に百圓、楓町四〇三崎市太郎氏は軍隊慰問金に二百圓傷病兵見舞金に百圓、南滿瓦斯會社有志は軍隊及警察官慰問金として百圓を十六日それぞれ寄贈した

旅順衞戍病院の 救護班近く增員
最近手不足のため

旅順衞戍病院では目下百七名の戰傷患者を收容し、矢澤院長以下軍醫、看護兵、看護婦一同大多忙を極め、手不足のため婦人會有志等の手傳ひまで受けてゐるが、日本赤十字社では兩三日中朝鮮委員部に於て第三班を編成直ちに御病院に派遣する筈

藏工同窓會

藏前工業會滿洲支部が十二月十七日午後六時より擧行の斯波技術局長歡迎同窓會の會場は美濃町扇芳亭であると

不景氣で渡船休業

不景氣が交通機關を止めた話、大連入船埠頭と金州管內董家溝間の渡船大董丸は十日以來船客數を水上署保安係に提示したので調査したところ同船は不景氣の上船主殿糯大分縣生れ加藤重松さんは渡船運轉資金を集めんとて出かけた儘歸連せず渡船を休業してゐたもので船長神谷國藏さんの如きは給料どころか油代にも窮乏してゐる始末で水上署では右事實判明と共に加藤さんの行方搜査中

朝鮮赤十字 派遣班

【京城特電十六日發】事變突發以來わが軍の戰傷病兵は多數に上り各地にある衞戍病院や野戰病院は大多忙を極めてゐる折柄十四日東京赤十字社本部から朝鮮本部に對し召集準備をなせの電命があり同本部では直に派遣班の編成に着手したが大體醫師二名、看護婦二十名をもつて一ケ班を組織し近日中に出發することになつた

眞宗婦人會の慰問金

東本願寺別院內眞宗婦人會では本月八日から會員廿數名街頭に進出して滿洲事變慰問金を募集中のところ一般に非常な同情を得て總收入金六百三圓五十錢により豫期以上の成績を示したのでその收入をそれぞれ左の如く寄贈することゝなつた

金三百〇三圓五十錢也 軍隊へ
金一百五十圓也 警察官へ
金一百五十圓也 鮮人救濟へ

吉田氏の寄附

嗣子壽久雄君を亡くした極東通報社長吉田親歐氏は今回の忌明に際し香奠返しを廢し出陣の軍隊並に警官の慰問金に寄附する事にしたさ

安樂椅子

湯崗子驛 6.12.10

地方法院の判官さいへば職掌柄市民との交際が鮮く滅多に宴會の席などへも出したこともなく、家庭の團欒を滿喫するといふ奧樣孝行振り、從つて奧樣は御主人を信ずること深く、御主人が自分以外の女性と接するのは法廷で被告たる女性を訊問する以外には絕無だとの確信を持つてをられるらしい。そこで一度濡衣をきせられたが最後、如何に抗辯しても疑ひが晴れず結局同僚判官合議の結果奧さんをなだめることになるんださうである。

……◇……

尤も森本判官のやうに龍と澁味の出たチリメン御夫婦（森本氏御自身の口吻を眞似て）は例外として、未だ若く美しいH判官夫妻の如き仲むつまじき家庭に兎もすると起り易い愛慾の小波である、その實例として法院雀の囀くところを聞くに或る家族會の席上餘興に招いた某カフエー女給の一隊、興ずるにまかせ覺えたばかりの判官Hさんの名を濫用し「Hさん」と抱きついたものだ。

……◇……

良妻賢母の奧樣も、この光景を目擊してはいゝ氣持ちはしない況んや信ずる夫なるにおいてをや……そこでH判官早速妻の抱いた嫌疑を晴らさうと同僚判官と合議の結果、某カフエーの女給を自宅に呼んで辯解させてはといふ議もあつたが、それより證人喚問といふことに決定、家族會の司會者某氏の證言でH判官の奧樣も釋然となり、前にも增してむつまじい仲となつたとは獨身者の多い法院だけに罪が深い。【カットは湯崗子驛の記念スタンプ】

曙の鐘 (141)

倉田潮
河野想多畫

忍び逢ひ(二)

お夏とお露の前に現れたのは、由太郎一人だつた。

由太郎は嬉しげに笑ひながら、お夏のそばに身を寄せて坐つた。

「遲かつたわれ」とお夏はその小さい手を取つて、盃を持たせ、酒をつぎながら云つた。「濟二郎さんはなぜ來ないの」

「少し用事がありまして……」

と由太郎は言ひよどんだ。お露はそれを聞くと不快な顏色を浮べて

「用つて、外のお客に出てゐるんぢやないの」

「いゝえ」

「では、用つて何なのよ」

「何だかよく知りませんが、夕方から御友達と出て行つて、まだ歸らないのです」

「嘘を云つてはいけないわ」と男を餘り知らないお露は濟二郎が遲いのにムシヤクシヤして、お夏の前も忘れて烈しく云つた。「夕方内を出る時電話をかけたら、ちやんとゐるつて云つたぢやないの」

「私、知りません」

「しやあ〳〵してるよ此の人は」

「まあ〳〵御靜かに」とお夏が大樣に仲に這入つた。「私、呼んで來てあげるから」

[illegible]に立ち上ると、お夏は驚いて止めるお露の言葉を後に聞いて階段を走せおりた。が、電話口まで行つても自分では受話器をとらないで、這入つて來る時心附けをやつた女中を呼んで貰ひ、番號を教へて濟二郎に早く來るやうにとかけて貰つた。そしてその間に不淨へと、暗い長廊下を小急ぎに歩いて行つた。

この「男」と云ふ家は維新の當時西鄕隆盛や坂本龍馬なぞも時々出入りしたこともあると云ふ時代つきの家で、結構が非常に大きくまた古かつた。

お夏は其の長廊下を急いで歩いて行つたが薄暗がりですり合せた若い女に驚いて思はず歩みをゆるめた。今角から出て行き違ひになつた女は確に朋輩のおよりだつた。剛太郎の死後遊び歩いてゐるのは自分達ばかりだと思つてゐたのにおよりも披露してゐたのか、では御冬も一緒に來てゐはしないかと考へて、歸りには見とゞけてやらうと云ふ氣になつた。

わざと手間どつて不淨を出ると先程およりの出て來た角を曲り、そこから足音を忍ばせて、兩側の部屋に氣を配つて歩き出した。廊下は四角に屋敷をめぐつてゐるらしかつた。お夏は最初の突きあたりの角まで行つたが、すると其の左手の一段ひくゝなつてゐる部屋から聞き覺えのある聲が聞えて來た。

「こゝだな」

と、かすかに嘲笑ひながら、彼女はその部屋の前に立ち止まつて遠くから障子のすき間ごしに中を覗き見しやうとした。隙はあるのだが、細すぎてよく見えない。が中には確にお冬の聲もしてゐた。が、對手の男の聲には全く聞き覺えがなかつた。

「何かのたし」にもう少しよく見とゞけて置かうと、お夏は思つたが、明るい人の部屋の前に立つてゐれば、こつちが直ぐ見つけられてしまふのは解り切つてゐた。身をしのばせるところはないかと見廻すと、直其の前の部屋の電燈が消えて眞暗になつてゐる。この暗い部屋に這入つてゐれば大丈夫だと思つて、そつと其の障子をあけて中に這入り、障子のすき間を少しひろげて其處から前の部屋をのぞいてゐた。

すると、今お夏の來た廊下から小急ぎに人の足音が近づいて來た。部屋の前に來た時、それが先程行きずりになつたおよりであることに眼をさめて、お夏は驚いた。およりもお冬と一緒に部屋の中にゐるとばかり思つてゐたのに、今までおよりは外に行つてゐたのである。およりはお冬のゐる部屋の障子を開いたが、その時お夏は更に一層驚くべき男の顏を其の部屋に見出して顏をしかめた。

SOW

柳壇

「暮氣分」

高橋月南選

もう鬼が其處まで來てるきれの音 / 奉天 新谷 白雲
羽子板を買つてやりたい涙ふき / 大連 逵田 敏
小刻みの人の足にも暮氣分 / 大連 今中 市路
掛取がこまめに廻る大晦日
正月の雜誌で本屋暮氣分
年の夜を念佛でゐる樂隱居
思はざる人情に泣く暮の餅 / 大連 村 雀
羽子板の値へ娘のちさ不平
節くれの手へ渡された暮の金
この暮も去年の簞笥賞に出し / 大連 林 子禾
餅搗きの野陣に漂ふ羽後音頭
年禮を預つて局繩を掛け / 大連 水野 薫
懸け硯香奩に惠方棚をつり
暮氣分行進曲で客を寄せ / 遼陽 阿伊 怒
當もなくぶらりつと出る暮の街
ルンペンへ矢ツ張り寒い暮の市 / 周水子 內田まなぶ
ボーナスを貰つて急に暮氣分 / 大連 森 良水
ふところ手暮の街だけ見て廻り
忙しない氣持のつゞく後三日 / 旅順 上倉 都一
自轉車も馬車も忙しい暮の街
杵の音聞えて子供も暮氣分 / 大連 山元 不動
下げられる丈は下げてる暮の街
借りにゆくにも氣がおけぬ暮になり
何んかんと言ふても世間並の餅 / 大連 佐伯 一軒
投賣に一息すれば年の市 / 山形 都筑 羽陽
ボーナスの皮算用に骨を折り
暮毎に世話女房は年をとり / 大連 菊波 正峰
街を行くエロの顏にも暮氣分
サンタクロー雪の國から背負つて來る / 營口 佐々木春鄉
言譯を考へ暮の街へ出る / 旅順 上倉 泥柳
大賣のビラ吹き上げる北ツ風
ボーナスの客へ暖房灼熱し
風呂敷と別に〆繩子に持たせ / 大石橋 糸崎 萬龍
大鮭の切身一段色を見せ
豫算外暮にせまつて又も殖え / 大連 福田 阿呆
一年の決濟に入る暮の街
捨賣の旗ひるがへる暮氣分 / 安東 江川 琴村
緊縮の一九三一年も暮る
どの顏も皆忙しい暮の辻 / 大連 高川 諦
ボーナスを當込んでゐる暮の市 / 大連 上河邊紫浪
例年の通り餅屋はビラを貼り / 大連 藤富 淀月
ボーナスの豫想へ無理な買ふ豫想
松飾り昨日も今日も船でつき
慈善鍋兒に入れさせるいゝ暮し
宵の內負けぬ氣で居る〆繩屋
仕立屋へ拜み倒して手代行き
慈善鍋もう切上げるとこへ來れ
〆繩がちらほら歸る官舍町
○ / 高橋 月南
子澤山減給へなやむ年の暮
カード級淚にくるゝ慈善餅

新刊紹介

▲東亞(十二月號) 滿蒙をバルカンたらしむる者(卷頭言) 滿洲事件と日本外交の新發展(中山優) 太平洋に於ける平和機關(高柳賢三) 滿洲における我國管轄權の性質(蠟山政道) 朝鮮の農業問題(山口正吾) 東亞の動き(長野朗) 滿蒙權益の確保と對日經濟絕交(中村薰雄) 鐵道問題を中心として見たる滿蒙(小日山直登) 和平會議と外交(田中忠夫) 價五十錢、東京市麴町區內山下町一丁目一番地東亞經濟調査局

▲上海週報(第八八〇、八八一號合併) 未曾有の排日と日支貿易及び上海財界の影響を種々なる方面から見た記事の滿載(價四十錢、上海四川路永安里一〇八六號上海週報社)

▲朝鮮(十二月號) 價三十錢、京城府萊逢町三ノ六二、六三番地朝鮮印刷株式會社一手賣捌所

▲批判(十二月號) 時局と社會民主主義の本質暴露(細迫兼光) 社會主義建設とレーニン理論の擁護(ブーブノフ) 郵便貯金における小市民性と社會性との盾矛(大內兵衛) 國家行動における錯覺(長谷川萬次郎) 獨逸社會民主黨の分裂(下)(新明正道) 小說、銅鐵の門(田邊耕一郎) 價三十錢、東京市外中野町上ノ原六番地我等社

▲支那(十二月號) 國際調査委員會(根岸佶) 支那化せる國際聯盟(稻原勝治) 支那平民教育の特色に就いて(金崎賢) 日支交通の資料的考察(水野梅曉) 廣東の行商と夷館(松本忠雄) 臺灣を繞る外交(佐々木鷺江) 價四十錢、東京市麴町區三年町一番地東亞同文會調査編纂部

▲露亞時報(一四六號) 北滿 本居民大會概要、哈大洋僞造と金融保管委員會の成立、北滿の農耕地問題、一九三一年前半期の蘇聯邦鐵道輸送等(價五十錢、北滿哈爾賓道裡東經緯街)

▲週間極東(第三三二號) 價二十錢、大連市但馬町三十三番地極東週報社

▲赤い鳥(一月號) 兒童の純性の護育と藝術教育の進展とに不斷の努力を捧げゐる赤い鳥は童話、童謠、自由詩、自由畫を創始し綴方を根本的に教導開發にすばらしい水準を作りあげてゐる(價三十錢、東京府下西大久保四六一赤い鳥社)

▲實業界(第六號) 價四十錢、東京市麴町區平河町六ノ二四實業界社

▲新日本公論(第十二號) 價三十錢、東京麴町區內幸町一ノ六番地新日本公論社

▲農業世界(十二月號) 價四十錢、東京日本橋區本石町三丁目博文館

▲法學研究(第四號) イギリス證據概論(三)(峰岸治三) 國民政府外交部の現組織(英修道) 憲法行政法判例研究(一)(淺井淸) イギリス法例雜考(四)(峰岸治三) 小田切本「日本國憲按」及附屬資料(淺井淸) 價一圓五十錢、東京市芝區三田慶應義塾內法學研究會

▲新聞と社會(十二月號) (高杉京演) 取再び高橋檢監へ

けふの放送

大連 JQAK 十二月十七日

▲午前七時ラヂオ體操
▲午後六時十分ニユース
(以下內地中繼六時三十分)
▲滿蒙特別講座「故小村壽太郎侯爵と滿洲」前特命全權大使本多熊太郎
▲漫談「年の瀨物語」悟道軒圓玉
▲新內「男達出世の數へ唄」白籘源太喧嘩の場」鶴賀千代吉
▲放送映畫劇「七ッの海」原作牧逸馬、脚色野田高梧 八木橋武彥(同讓二)同紛佐子(泉博子)同讓(江川宇禮雄)曾根弓枝(川崎弘子)桐原彩子(村瀨幸子)宗像一郎(結城一郎)山萬根伸芥(岩田祐吉)同三輪子(新井淳)大平倉吉(宮島健一)曾水絹子)八木橋雄之助(武田春郎)解說(靜田錦波)伴奏指揮(若島田晴譽)放送指揮(淸水宏二郎
▲ラヂオ體操「初心者練習」鈴木繁(以下大連放送局より)
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニユース

(第三種郵便物認可)

滿洲日報

黒松白鹿 酒界の權威 灘辰馬本家釀 大白鹿商店

昭和六年十二月十七日　夕刊　(木曜日)　第九千二百十號　(一)

犬養内閣の滿蒙政策 近く聲明書發表
けふの閣議で意見を交換

【東京十六日發】犬養内閣の滿蒙方針は既に田中内閣滿蒙方針の決定通り實行する事となつてゐるが現内閣成立以來滿蒙方針に關しては未だ何等意思表示をしないため一部には政府の方針が如何なるものであるかに關して疑ひを持つものあるため此際新内閣の滿蒙方針を明かにし國民をして向ふ處を知らしめる必要ありとの議が有力閣僚間に主張されてゐるから政府は愈々十六日の閣議に之を上程隔意なき意見の交換を遂げた上聲明書を發表する事とならう

關東軍參謀部を充實
行政外交産業部等を設置

【東京十六日發】陸軍では時局の推移に鑑み關東軍司令部大擴張の必要を認め目下省部間において鋭意研究中である、右は主として參謀部の擴張充實に在つて目下研究議題となつて居る主要項目は

一、現在の參謀部(少將を參謀長とするもの)の業務の外に行政、外交、産業、交通、運輸、通信その他に關する各部を參謀部内に設け參謀長をして總轄せしむ
一、右各部には參謀將校の外、滿鐵、關東廳、總領事館等の職員をも委員として加へ要務に參與せしむる
一、參謀長は中將としこの下に少將以下の參謀將校を相當多數配屬する
一、參謀長は勿論現制通り用兵作戰を主宰するがまた前記各部の委員長としての事務を執る

以上が研究骨子とされ、この改正は將來滿蒙總督の如き制度が出來た場合もそのまゝ存置するやう整備すると

政權廣東派に歸して 日支外交新規蒔直し

【南京十五日發】蔣介石氏の下野と共に張學良下野の意思表示もあるものと見られ顧維鈞氏もこれに殉ずる形勢である、これで南京政府は廣東政府の手に歸した譯で、今後支那は外交の陣容を一新し新規蒔直しに日本に對し來るものと見らるゝしかし蔣介石氏下野後國府が學生運動を何の程度まで抑壓し得るか問題で日支外交の展開は一にこの點にかゝつてゐる、國府機關は十五日は午後から早くも孫科等廣東代表の歡迎準備に着手した

廣東派要人 あす南京乘込

【上海十六日發】陳銘樞氏は在滬廣東代表の案内役として賀耀組氏を昨夜來滬させ、廣東側と入京日取を打合せ來京に對し特別列車の運轉を命じ準備に忙殺されてゐるが、廣東代表一行の當地出發は明十七日と今の處決定してゐる、尚目下廣東にある委員等は十八日上海到着の豫定だが胡漢民氏は依然血壓高く來滬不可能である

執監委員招電

【南京十五日發】林森、陳銘樞兩氏は任命後本日午後連名で國家重要事項決議のため四全會で選擧された執監委員は速かに來京されたしと通電を發した

汪精衛氏重態

【上海十五日發】汪精衛氏秘書の談話あつたが本日伍朝樞氏の發表に依れば汪精衛氏は糖尿病で寶隆醫院に入院相當重態であると

北支那の政權は 山西派掌握
東北派は學良の下野に反對

【北平十五日發】東北側首腦部は蔣介石の下野決行に狼狽し順承王府に奉天派首腦部張作相、萬福麟、王樹常、于學忠等緊急會議を開き對策協議の結果張學良の下野には全會一致反對した、なほ王樹翰は張學良の代表として蔣介石と談合のため本日午後五時南京へ向つた

が大勢は如何ともなし難く
一、下野後外遊するか
二、主力軍を率ゐて熱河に引込むか
三、下野して北平に止まるか

いづれかに決定を見るはず、なほ學良下野後北支の政權は山西派の手に歸するものと期待されてゐる

國民政府主席 汪精衛　行政院長 孫科　司法院長 伍朝樞　考試院長 戴天仇(留任)　外交部長 陳友仁　軍政部長 何應欽　交通部長 王伯群　財政部長 張公權

南京新政府の陣容

【上海特電十六日發】蔣介石下野の後を承けて南京政權を掌握せんとする廣東派の國民政府各要職の顔觸れは次の如きものである

蔣氏通電の内容

【上海特電十五日發】蔣介石氏は本日午後左の意味の下野通電を發した

民國十七年國府主席に任命されて以來故孫文の遺囑に從はんとて努力し政府及び黨の責任を果さん爲に忠實にやつて來た、然るに不幸にして余の努力は再三覆へされた、卽ちたゞに内憂のみならず中國は外國の侵略行爲に依り期待に反してゐる、この重大な機會に直面し自分に最も容易な途は甚だ不本意ではあるが總ての責任より逃避することだ外國の侵略に有効に抵抗し得るは鞏固な統一政府のもとにある時にのみ之を爲し得る事實に鑑み、余は第一次和平會議の期間中職務を遂行し而して同志の南京に來らんことを待てり、余は此等の南京着と共に下野を通電する希望を持つてゐる、南京豫備大會は統一和平の實現されんことを希望するため和平條件を承認したるに不幸廣東に在る余等の同志はその約を履まず、胡漢民及び其他は十二月五日通電を發し、余が先づ下野しその武力權を放棄せる後にあらざれば南京に來らずと述べた、右は明らかに余の下野が和平統一の先決條件たるを意味するものにしてこの危機に直面して駐くとも全く職責を遂行しこの難關を突破せんとする素志は却つて和平統一の障害となつたものと觀られる、一方外交對策に責任ある機關を缺くこの攻撃を以て南京政府は盛んに批難さるゝに至つた、然るに官民の統一はその外交關係に緊密な關係を有するものであるが余は民意を承認し茲に辭表を提出する決意をした、余は余の生涯を革命史上に傾倒して來り、余の行動は既に祖國の利益の爲に支配されるところである、余は職を辭したりといへ黨の一員、中國の一臣民としての職責を遂行するに努力せんことを期す

外交部長に 陳氏就任

【上海十五日發】蔣介石氏の下野に依り政權授受のため孫科、鄒魯氏等廣東代表は明日上海より南京に赴く筈である、なほ顧維鈞氏は代表到着前南京を去り上海又は北方に赴く模樣で其後任は陳友仁氏が就任するであらう

蔣氏軍權をも拋棄
戴、于兩氏は留任に決定

【南京十五日發】蔣介石氏の下野は政權のみならず軍權も離れ、軍權は軍政部の手に歸することに決定した、考試院長戴天仇、監察院長于右任、立法院副院長邵元冲氏等も辭表を提出したが本日の特別會議で留任することに決定した

宋財政部長等 辭表提出

【上海十五日發】財政部長宋子文は本日南京に赴き蔣介石氏と會見重要協議後辭表を提出、午後四時の列車で來滬した、尚財政次長張壽鏞氏も昨日正式辭表を提出して一切の事務を停止し本日から出勤しないとの事である、當地財界有力者は金融界に及ぼす影響を恐れ昨夕當地財政部辦事處に張壽鏞氏を訪問留任を懇請したが張氏は之を拒絶した

上海市長等辭職

【上海十六日發】財政次長張壽鏞氏は宋子文氏の離京と同時に昨日國民政府に辭表を提出した、當地財界は總辭職以上にその影響を恐れ昨夜留任を勸告したがその效なく財界は極度の不安に襲はれてゐる、なほ上海市長張群、實業部長孔祥熙兩氏昨夜辭職を申出でた

蔣氏再起を策す
直系軍の分散を防ぎ

【上海十五日發】本日遂に下野した蔣介石氏は日本から歸つて二度目に總司令となり軍權政權を握り北伐完成後南京に遷都し一九二八年十月國民政府を組織すると共に最近の國民政府主席となり名實共に支那の元首となつた爾來三年二ケ月その地位にあつた蔣介石氏の下野を決心せしめた原因は

一、最近學生運動の方向が對日本示威から專ら國民政府蔣介石攻擊に轉換した事
二、内治外交ともに未曾有の難局に直面し二進も三進も出來ぬ事
三、國民の蔣介石に對する信頼が最近薄らぎ御用財閥たる上海浙江財閥の操縱意の如くならざりし事

等である、なほ蔣介石氏は下野後故郷に歸るか河南に籠るか、不明だが在野雌伏して再起の日を待たんとする決意なるは明かで氏の頼みとする直系軍の分散を防ぎ遠からぬ將來に再び王座に歸るべく策を講じてゐるものと見られる

蔣介石氏 北上か

【北平十六日發】蔣介石氏の北上決定し本日南京發河南の直屬軍撤閱の上二十日頃着平、張學良と對日問題協議のため暫時北平に滯在すべしとの旨副司令部に入電あつた

學良下野と 秘密命令

【北平十五日發】張學良の下野も兩三日中に迫つたので北平公安局長鮑毓麟は十五日午後三時警察署長を集め張學良下野後の治安維持につき秘密命令を與へた

來議會は無解散か
一應民政黨に協調希望

【東京十六日發】犬養内閣が衆議院に僅か百七十名の少數黨を有して二百五十餘名の絕對多數を有する民政黨を向ふに廻し如何なる方針の下に六十議會に臨むかについては各方面より深く注目されてゐるが、政府部内においては憲政の常道上解散は決意してゐるが、一面現下の時局より察するに與黨も徒らに解散を望んでゐるものではなく、臨むに方法を持つてせば妥協の餘地を存する、卽ち政府與黨は議會休會明け直前民政黨に對して時局重大なる折柄政府は解散しない、而して豫算は政策上意見を全然異にするものを除いては大體民政黨内閣の作つたものを踏襲する、從つて無解散とするの意思はないか如何といふ意味の交涉をなし民政黨が圓滿協調を希望し之に應ずればよし、若し應ぜざれば斷然方針通り解散して信を國民に問ふべしといふ事に意見の一致を見てゐる而して政府が斯る交涉を爲した場合民政黨が果して如何なる態度に出るか解散、無解散の分岐として重要視されるところである

太田總督歸任

【東京十六日發】太田臺灣總督は十五日午後九時四十五分東京驛發列車で歸任の途に就いたが多分殘務整理の上更に上京辭表を提出する事とならう

民政黨に副總裁
井上前藏相を推さん

【東京十六日發】民政黨内には總裁を補佐するため副總裁を設くべしとの說有力化して來た結局井上準之助氏が副總裁に推される模樣である

樞府本會議

【東京十六日發】樞府本會議は十六日午前十時十分宮中に開かれ政府よりは特に犬養總理以下各大臣、島田法制局長官列席、定刻天皇陛下御親臨あらせられ、倉富議長開會を宣し宮内省より御諮詢中の木曾世傳御料地に地上權設定に關する件御批准奏請の件につき審議に入り滿場一致可決、次いで犬養總理始め國務大臣の新任挨拶あり十時四十分散會した

斯波顧問歡迎會

藏前工業會滿洲支部にては滿鐵技術局長、同會名譽會員男爵斯波忠三郎博士を招待し來る十七日午後六時より湖月において歡迎同窓會を開催すると

人事

▲柴山兼四郎氏(參謀本部附輜重兵少佐)十六日出帆うらる丸にて内地へ
▲小澤太兵衛氏(時局後援會理事)同上
▲仙波久良氏(同)同上
▲竹中延太郎氏(同)同上
▲富次素平氏(前南滿瓦斯顧問)同上
▲船津辰一郎氏(在華日本人紡績組合理事)十六日出帆奉天丸にて青島へ

樹立した奉天省新政府

寫眞は十五日省政府にて、地方維持委員會を解散し委員長を辭した袁金鎧氏(向つて左)と省主席に就任した臧式毅氏(右)

滿蒙通信網を完成
東北電政管理局の計畫

東北電政管理局では金璧東氏が局長に就任して以來滿蒙における通信網の組織化に努力しつゝあるが今回關東廳遞信局長櫻井學氏が顧問として來奉して以來急速にこの計畫が實現されんとしてゐる、卽ち東北電政管理局では滿蒙における各主要都市にそれぞれ完備なる電信機關を置きここに和文電報を取扱はせ、滿蒙と日本との間に文化の流通を行ふといふ大計畫の下に洮南、チ、ハル、ハルビン等の主要都市にそれぞれ設備を施すべく着々準備中でこの滿蒙電信網が完成されれば滿蒙文化の上に一新紀元を開くべく各方面より期待されてゐる【奉天電話】

極東圓卓會議を提議
勞農が滿洲問題に關して

【リガ十五日發】當地で傳へられるところによると本日勞農外務人民委員會は、滿洲問題に對する勞農政府の態度を表明せる覺書を發表したが、右は今回外相に任ぜられた芳澤大使が歸朝の途モスクワを經由する際、同氏に手交さるべく其中に極東圓卓會議を提議し勞農が進んで同會議に參加意向を表明してゐると

臧式毅主席なら 政治的手腕充分
船津辰一郎氏視察談

紡績事業視察のためと稱し來滿中であつた上海在華日本紡績聯合會常務理事船津辰一郎氏は十六日出帆奉天丸にて歸滬の途についたが山之井滿鐵總裁をはじめ滿鐵實業界方面多數の見送りがあつた、船中出發に先だち語る

こちらに來た目的は自分の關係してゐる紡績工場の視察のかたはら昔から知つてゐる本庄軍司令官に敬意を表した、軍司令官も却々元氣で色々話を聞いたがその支部に關するよき理解者であるといふ點では感心させられた、蔣介石の下野も一部では單なる宣傳の如く傳へられてゐるが恐らく事實であらうし下野の時期と考へる先づ之に取つて代るものは廣東派を中心としたものと思ふ、臧式毅氏の奉天省主席、まあ適任だらう、この人を持つてくる事については色々說も出たやうだがこの人以外に人材はない袁金鎧氏はごつちかといふと政治的手腕の利れるところが無いが臧氏はその點大丈夫で故張作霖の怪死事件の善後處置のつけ方を見ても解る、今度は青島に寄つて歸るが上海では東北省が新政府新國家設立に對しどれ程眞劍でやつてゐるかといふ事について皆に知らせたいと思ふ、自分も案外秩序立つてドシドシ好き方白に進んで行つてゐるのを見て感心した

蛇角

蔣介石愈々下野、此際汪精衛の病氣は物足らぬ。

◇

軍權無き廣東派の南京政府、どこまで踏みこたへ得るか、北方軍閥と手を握られば存續覺束なし。

◇

蔣介石は直系軍を各地に固める外、北方軍閥へも手を廻す。

◇

北方張學良の下野は當然、後釜を覘ふ閻と韓、外に馮玉祥、吳佩孚、段祺瑞等がチラチラ顔を出す其間を縫ひ廻る大小策士ウヨウヨ

◇

上海學生の兇暴益々募る、曾ては學生から神樣の樣に崇められた蔡元培も胸倉取られてギユウギユウ

◇

東北では臧式毅復活、袁金鎧との間に和氣藹々裡に政權の受渡し

◇

支那本部と滿洲との差違を見よ。

日本のお蔭で大きくなつた張學良、日本の後援で復活した蔣介石何れも排日の巨頭となつて滅日の嘆。

東亞の謎 (150)
國枝史郎　插畫 伊藤順三

戰ひ (一)

烏須里の城櫓は城櫓といふよりも、永久砲臺と云つた方が、似つかはしいやうな構造であつた。

音車領城の南にあつて、高い塔が立つてゐた。しかしこの塔は無用の長物で、大砲の標的になるばかりであつた。看守臺にはなつたけれど。……

その塔の下に一面に、監視所、通信所、繃帶所、彈藥及び手榴彈置場、會議所、炊事場、食糧置場、兵舍、銃器室等をはじめとし、日本人組の家族達の、卽ち妻や召使などの、宿舍が整然と出來てゐた

さういふ建物は二重三重の、掩壕や障礙物や鐵條網や、鹿砦を巡らした内にあつて、外部からは見ることが出來ないのであつた。

この近代的な築城術によつて、かう迄此處が出來上がつてゐるのは、後備砲兵大佐郡司桑太郎と、後備步兵大尉白十庫吉といふ、二人の日本の軍人が、矢張り也速該の顧問として、音車領城中に住んでゐて、日本人顧問團の元締となつてゐ、この二人がダットと協力して、設計に從事したからであつた。

伯達一團が此處へ這入るや、すぐに會議室へ集つた。

洋子と小夜子とは疲勞しきつてゐたので、將校の宿舍へ送られてその妻君達の看護の下に、靜養し安眠することにした。

會議の結果は今に攻擊するであらう、その也速該の攻擊に對し、充分防禦すること、機を見て音車領城を脫出し、コミロフ博士が發掘事業に、從事してゐる和林へ一先づおちつく事にするか、乃至は滿洲里へ入り込んで、汽車に投じて奉天の方へ、引きあげるやうな手段に出るか、どつちかにしやうといふこと、どつちみち沙漠を橫斷するための、自動車や馬や駱駝の類を、手に入れるやう心掛けやう。これを今夜にも決行しやう、さういふことに一決し、ヤボン・ダットが軍事方面の、司令官となることになり、郡司大佐や白上大尉などが、各方面の部將となり、日本人組が要所々々を、嚴重に固めることにした。

ダットに以前から直屬してゐた蒙古青年國民黨に屬する、百人あまりの蒙古兵達が、主として實戰にあたることになり、その夜が明けて朝となつた頃には、各々が夫々部署に着いた。

朝になると城中も靜まつた。事情がみんなに知れたからでらしい。

靜かにはなつたが物騷の程度は以前よりも遙かに加はつたのであつた。何といつても也速該の部下は、伯達の一團より數倍も多く、それが城中の城櫓々々を、悉く占領して居るのではあり、武器も彈丸も豐富であり、その連中がはつきりと、伯達を敵として攻擊すべく、態度を決定したのであるから。

この日はすつきりと晴れてゐた。鷲が城櫓の頂きの空で、輪のやうに舞つたりした。

時々遠くの沙漠の方で、砂の龍卷が上がつたりした。

では風は強いのであらう。

夜まで事件は起らなかつた。

しかし夜になると最前線の邊から、小銃の音が烈しく聞えた。

也速該の軍が襲つて來たのであつた。

その方面へは退役少尉の、日野清吉といふ四十ぐらゐの男が、二十人あまりの蒙古兵を率ゐて、出かけて行つてゐる筈であつた。

この頃味方の一隊が、城櫓を出て西方へ潛行してゐた。郡司大佐と白上大尉との軍で、自動車庫の方へ進んで行くのであつた。

芳澤新外相を 佛紙賞讚

【パリ十五日發】芳澤駐佛大使が今回新内閣の外相に任ぜられた事實に關し當地の極東政治觀測者等は右の結果日本の對外政策に多少共變化があるとは豫期してゐない特にタン紙は芳澤大使を稱賞し芳澤大使は滿洲事變に關連し日支諒解に關する最も正しき槪念を聯盟側に注入し且つ極めてデリケートな交涉に際し最も廣汎な和解的成文を表示せる外交官であると賞讚してゐる

芳澤大使外相 就任受諾

【パリ十五日發】芳澤大使を外務大臣に任命する旨の正式通知を愈々本日當地に到着したが同大使は之を直に受諾した、近々のうちに歸朝する筈であるが出發の日取りは未だ決定してゐない

傷病兵歸る

熱心な見送りにこの姿で殘念
重傷の身を横へてけふ廣島へ

十六日午前十一時、甲埠頭廣場を埋めつくした見送市民の感謝、感激の赤誠に送られ既報の如くチチハル、昂々溪、大興、江橋において無念、敵彈に傷つき或は零下三十餘度の寒冷に

手足　の自由を失つたわが勇士四十三名が貴州丸によつて内地廣島衛戍病院に送還された、林立する町内旗、團體旗のはためき十重二十重に押寄せた學生團體をはじめ在郷軍人團その他市民の熱情のほとばしりは入り替り立かはり船内に崩れ込む見舞客の殺到ぶりでも判る、四十三名の勇士を内譯すると戰傷者は獨立守備第一大隊長小河原中佐をはじめ十四名、凍傷者は第廿九聯隊渡邊喜一郎上等兵外十一名、公傷四名、平病十三名、殊に悲惨なのは

擔架　によつて運ばれた廿四名で大連醫院八千代看護婦會や大連婦人團聯合會の獻身的な努力が見る人の目に涙をさそふ、小川市長、猪田滿鐵鐵道部次長その他名士連の見舞客は引きも切らない記者は先づ小河原中佐の病室を訪へば

いやありがたうこんなに澤山の市民がこんなに次々御見舞して下さつて我々も滿足です、自分の傷は大腿の銃創ですが少しでも早く治つて又來たいと思つてゐます、今も隊の友人や柴山少佐が見舞つて下さつた許りだが色々その他の時局の話を聞いて更に殘念さを覺えてゐる始末だこの寒い折柄特別貴紙には御世話になつてゐるが、市民によろしく御傳を乞ふ、今甲板に出て御見送り下さつてゐる市民諸子に御應へ出來ないのが呉々も殘念だ

更に　最も重傷を傳へられる一等兵小泉廣吉君、一等兵加藤稔君を見舞へば兩君とも凍傷で兩手兩足を切斷のやむなきにいたり繃帶でグルグル包まれた姿の何さいぢらしい事か、しかし元氣だ

新聞社の人達ですか鐵砲の彈ならあきらめもつくが凍傷じや殘念でたまりませんよ、二人とも三間房の戰からチチハルにかけて戰つたんですがこんな姿になりました

見舞客のうちにはこれを聞いて涙を滂沱と流してゐる婦人も居る、

定刻いよいよ左様ならだ見送人を代表　して小川市長が立つて感謝の挨拶を交し、これに對して輸送指揮の西村一等軍醫が傷病兵に代つて答禮を述べる、船は岸壁をはなれたが感謝にもえた市民は只帽子を振るのみで聲一つ出さず如何にも傷病兵を送るに應はしい靜かな出船を見た

貴州丸で傷病者歸る

もう學良の最後
參謀本部附に榮轉した柴山少佐けふ離滿

今回參謀本部附に榮轉した前張學良軍事顧問柴山兼四郎少佐は旅たまさめ十六日出帆うらる丸にて離滿したが船中ケビンに剌を通じると

今貴州丸に傷病兵を見舞つて來たところだ、早いもので滿洲に來てから足掛三年だよ、御承知の通り時局の變化と共に學良顧問をやめて歸滿したのが十月十三日だつたと記憶するその後自分は軍司令部附となつたが引きつゞき行はれた昂々溪からチチハルへの戰線には二師團管下に加つて戰かつたがまあ今迄に一番大きな戰闘には從軍したわけだ、學良の運命、いづれにしてももう駄目だ、機會に乘つてあれ迄になつたのは要するに亡父作霖の威光が光つてゐたのと彼の常套手段たる彌縫政策が効を奏してゐたものだが最近に至つては民衆殆ど全部からその彌縫政策が暴露されてゐるではないか、外遊するかどうかは知らんがもう駄目だ、臧式毅氏の省主席就任この人はかなりの利け者だから確かに好いと思ふ、この話は今朝新聞で知つたんだがまあ東北省にはあの人位のものだらうね

名古屋慰問團

名古屋を代表する各機關から選ばれて駐滿軍隊慰問團廿名は名古屋市代表青木嗣夫氏に引率され七日來奉、チチハルまで長驅し四平街長春吉林等各地を慰問十六日出帆うらる丸で歸名の途についたが一行は在郷軍人代表、學校代表、商工會議所代表或は新聞社代表等各方面機關を網羅してゐる

南京政府の弱腰に學生運動愈よ兇暴
軍警の武器使用禁止令から遂に衝突事件起る

【上海特電十六日發】南京において學生團と軍警は遂に衝突したがこれは政府當局の豫期しなかつたところであつて政府側は今次の全國的學生運動を汪精衛氏をリーダーとする改組派の操縱するものと認め改組派に政府攻撃の口實を與ふるを避くるため極力學生團との衝突を廻避すべく軍警に武器使用禁止命令を發して事端を起さゞるやう努めてゐたのであるが學生團がこの政府の弱腰に附込んで兇暴の限りを盡したため遂に衝突したものである、今や學生運動は愛國運動でなく明白に蔣介石、張學良打倒を目的とする内政運動であると認められてゐる

要人亂打から衞隊が發砲
中央黨部襲擊事件

【南京十五日發】中央黨部に殺到せる學生團は赤旗を掲げ共産歌を高唱しつゝ折柄蔣介石氏の下野と和平の最後問題を討議中の會議室に突入せんとしたので蔡元培氏出でゝこれを慰めたが、暴徒化せる學生等は蔡元培氏の胸倉を取つて毆りかゝり他の一團は陳銘樞氏を亂打したので衛隊は遂に發砲し大格闘を演じ雙方數十名の重傷者を出した、一方外交部を占領した學生等は電信室に闖入して機械を滅茶々々に破壞した外自動車四臺を破壞した、これ等學生暴動は益々重大化し衛戍司令部は外交部、中央黨部、日本領事館を含む地域一帶に特別戒嚴令を布き憲兵隊は直に機關銃を出動せしめ警察署よりは騎馬巡警の大部隊を現場に繰出し暴動學生の首魁四十餘名を逮捕すると共に機關銃の威力を見せて學生團に解散を命じこれを馬蹄にかけ驅散らしたので學生も遂に旗を卷いて逃出し午後一時半一先づ形勢緩和した

馬家塞の戰死者と戰傷者鐵嶺に歸る
雪中に襟を正し出迎

馬家塞の激戰に戰死せるわが勇士五名、戰傷者八名は十五日午後九時着臨時列車で到着した、驛頭には折柄霏々として降りしきる雪を冐して官民數百名襟を正して粛々としてこれを迎へた、昨日まで親しく語り合つた人の變つた姿に何れも嗚咽を呑み合掌した、戰死者は戰友の手によつて守備隊將校集會所に運ばれ午前二時半までに處置を終り新らしく一階級を進められた肩章の軍服を着し五つのベットに並べられて安置された、負傷者は衛戍病院で徹宵手當を施したが八名中重傷二名あるが生命に別條はない模様である【鐵嶺電話】

朝來、總攻擊を開始
飛行機も出動し剿滅

馬家塞の匪賊はその後引續き頑強に抵抗し守備隊も一時危地に陷りたるも十五日夕方漸く一方の血路を開きたるも既に日沒となり戰死傷者も氣遣れるを以て前線部隊を金家塞にとゞめ漸次山頂堡に引揚げて夜を徹した十六日は田所大隊長總指揮の下に第五大隊の精鋭を選り第六大隊一部山砲の應援と陸軍機の出動を得て徹底的に絶滅せしむべく朝六時二十分山頂堡發午前九時より馬家塞總攻擊を開始したが鐵嶺上空は應援飛行機の出動で爆音勇ましく市民も戰時氣分で血を躍らせて居る、なほ重傷せる敵頭目らしきものゝ自白によれば彼等は滿鐵線西方開原縣下双勞臺より鐵道を橫斷して東方に出でこれより北山城子の于芷山軍に投じ正規軍たらんと行動中のものにしてその過半は敗殘兵である【鐵嶺電話】

戰死傷者氏名

戰死傷者氏名左の如し

戰死者　熊本縣下益城郡小野部田村歩兵少尉奥村仁次郎、秋田縣南秋田郡潟西村歩兵伍長齋藤金吉、秋田縣由利郡下濱村羽川歩兵伍長小林啓藏（以上鐵嶺守備第三中隊所屬）秋田縣南秋田郡上脇村脇本歩兵上等兵安藤雄之助（四平街守備隊所屬）鹿兒島縣大島郡實久村憲兵曹長加納彌三

戰傷者　鐵嶺守備第三中隊歩兵上等兵加藤幸太郎、同一等兵相澤善右衛門、同小野崎武治、同小野寺誠、同二等兵松浦茂平開原守備第二中隊歩兵一等兵二階堂綱男、四平街守備第一中隊歩兵一等兵山田富助【鐵嶺電話】

軍艦「八雲」近く來旅
更らに青島へ

天津事變以來青島、芝罘、塘沽、秦皇島方面を巡航して警備に當つてゐた第二遣外艦隊の軍艦八雲は十九日秦皇島より旅順入港、五日間碇泊の上廿三日大連に廻航燃料その他を補給して廿六日再び青島に向ふ豫定である

同艦は元横須賀所屬の巡洋艦で天津事變に際し十一月二十八日附第二遣外艦隊麾下に編入され佐世保より陸戰隊を搭乘して青島に出動したもので乘組員は七百三十四名、艦長は新見政一大佐である

濱口氏の死因鑑定

【東京十六日發】濱口氏狙擊事件公判は十六日午前十一時開廷、東大の緒方、京大の清野兩博士出廷し濱口氏の死因たる下腹部の盲貫銃創と放線状菌との因果關係に就き鑑定を求められ兩博士は鑑定材料の提供を求め種々打合をなし十一時二十分閉廷し次回は三月初旬に開廷の筈

三上京委員
けふうらる丸で出發

政友會内閣の出現と共に更に政府要路の了解を求むべく全滿日本人聯合會では七名の上京委員を送る事となつたが州内よりは大連時局後援會の仙波久良氏、田邊敏行氏旅順時局後援會の竹中延太郎氏三氏を送る事となつたが仙波、竹中兩氏は全支日本人居留民大會決議により上京する事となつた小澤太兵衛氏と共に十六日出帆うらる丸にて上京したが小澤氏は語る

同じ目的のため行くのです政府要路鞭撻のためです、先般の上海で開かれた居留民大會の決議により上海から四名山東から三名それに私達、全部で十數名のものが廿日頃迄に東京で勢揃ひして軍部外務拓務をはじめ關係當局に陳情し懇請し鞭撻するもので上海における決議は既に皆さんも御承知の事と思ひます、新しい閣僚の人達とも顔を合しておく事も必要です、更に重要性を加へてゐる時局の説明も緊要な事と思ひます

六大學リーグが十萬圓寄附する
オリムピック選手派遣費

【東京十六日發】六大學野球リーグ聯盟では十五日の理事會でオリムピック派遣費として十萬圓寄贈する事並に在滿我將士慰問金として差當り二千圓寄贈する事を決定した

今曉、公太堡派出所に兵匪襲ひ來り擊退
學良の別働隊と豪語

奉天西方張家屯にゐた二百名の兵匪は十六日午前一時公太堡派出所を襲擊し來つたので同地在留わが警官隊と勸業公司員は約一時間に亘り大交戰をなし匪賊を擊退せしめた、賊團は退却に際し附近部落に放火、掠奪を行ひ「我々は學良の別働隊なり」と豪語してゐたと、なほ附近部落では近日中に日支の大戰爭が開始されると放言し流言が流布されてゐるので同地居住民は續々奉天に避難し來り警官の應援を懇願してゐると【奉天電話】

裁縫師六名募集

和洋裁縫師六名、技倆次第相當給料差上、希望者至急本人來談乞ふ
若狹町八番地
大連會館專屬　昭和裁縫所

『大日活』の競落
またも不許可となる

債權者中野常助氏申請に基く活動常設館「大日活」の建物競賣はさきに大連地方法院に於て執行の結果債務者長興行合資會社員上谷由藏氏に十一萬圓競落したが、債務者長氏側では再び法廷戰術として「長合資會社の戸別割百一圓八十錢を競賣建物の公課金として廣告されゐるは違法である」との理由の下に長氏代理人相川、木原兩辯護士を代理に異議申立をなし爾來旅順高等法院に於て行山裁判長係審理中のところ十五日公判に於て「戸別割百一圓八十錢は長合資會社に屬するもので競賣物件の大日活建物の公課金とは認められない」との理由で競落不許可の決定が與へられた、これで「大日活」の競賣は三度やり直しといふことになつたがますます尖銳化する双方の法廷戰術は各方面の興味を唆つてゐる

家庭の先生

世のお父兄母姉や先生方に代り、子供を善導する教育雜誌幼年倶樂部は、正月號で又々大奮發、オマケつでえらい評判！

消費組合萬引女
留置し取調中

十五日午後二時半ごろ市内兒玉町滿鐵社員消費組合で係員の隙を窺ひ銘紗二反、子供用靴下一足を萬引し、手早く風呂敷に包んで立ち退かうとする子供連れの中年女を張込み中の大連署刑事が取押へ、本署に引致取調べた結果右は周水子居住滿鐵社員の妻鹿兒島縣生れ西村ハマ子（三二）＝假名＝といひ、きらびやかに飾られた商品に目がくらみ惡心を起したものらしいが、先月初旬濱速町某呉服店で富士絹二反を萬引し尾行した店員をまくため吉野町桐原病院に「水を飲ませて下さい」と立ち寄り、同病院炊事場のカマドの裏に隱匿して逃げ去つた犯人と同一らしく、同署ではハマ子の連れてゐる次男（二つ）を夫に引渡し目下留置取調中である

出漁中に水夫長浪に浚はる

市内西通羽月治郎兵衛所有第八一清丸水夫長熊本縣天草郡二江村生れ鳩崎松次郎（三七）は山東沖に出漁中突然の暴風のため十一日午後十時頃山東高角西方において波浪にさらはれそのまゝ海中に姿を沒した旨羽月商會より十六日當地水上署に屆出があつた

紅卍字會代表

去る八日北平において開かれた紅卍字會に出席中であつた安東分會長王恒魁氏、大連分會副會長孫讓飴氏、ハルビン分會長陳仲宣氏外一名は十六日早朝入港貴州丸で歸滿した

美唄町の大火

【美唄十六日發】今朝三時頃北海道空知郡美唄町柚木満平方より出火し五十二棟六十七戸を全燒し四時半鎭火した、死傷者なきも同町目貫きの町は殆ど全燒した

技術協會座談會

滿洲技術協會にては第十回十六日會を十六日午後四時半より大連ヤマトホテルにおいて開催、今回は特に滿鐵技術局長斯波男に請ひ「滿蒙の工業化と滿鐵」の講演と食後「斯波男爵にものを聞く座談會」があると

少年の盜み

十五日午後八時ごろ市内濱速町支那風呂を窺ふ怪漢を大連署員が取押へ本署に連行取調べると市内山縣通公設市場角田商店の店員乘兼義行（一八）といひ去る十二日同僚の長谷部豐（一九）のオーバ、洋服、現金三圓を窃盜主人の自轉車で逃げ出した旨を自白したが餘罪を取調中

香港丸

十七日午前十一時半大連港外着の豫定

天氣豫報

十七日　西の風晴時々曇り

各地溫度

	十六日午前十一時	十五日最低
大連	零下五、四	零下三、四
旅順	同三、八	同二、〇
營口	同八、四	同一一、六
奉天	同一二、三	同一三、七
長春	同一八、二	同一五、三

けふの小洋相塲（正午）

金百圓は一八七圓四十錢

獻金取扱ひ
州内は各民政署　州外は各警察署

滿洲事變軍事費に充つる趣旨を以て政府に獻金を申出る者に對しては愈々州内は各民政署州外は各警察署に於て收納取扱ひを開始する事となつた

造花を賣り少女獻金
けふ市役所へ

大連技藝女學校二年生内川萬利子さんは十六日現金四十圓に左の手紙を添へ出征將士の慰問金に加へて下さいと市役所に屆けて來た

皇軍出征兵士を御慰めたい微意のもとに去る十一月二十二日より同月二十八日まで一週間家人に手傳つて貰つて造花を作製し販賣したお金です、造花の賣上金額三十八圓三十錢に私の貯金一圓七十錢を加へて四十圓にいたしました、どうぞ出征將卒の慰問金の中にお加へ下さい

また出征中の旅順歩兵第三十聯隊一等兵横山繁壽君は遼陽病院入院中に俸給の一部を割き金二圓を十六日手紙を添へ市役所に送つて來た

關東廳女事務員が獻金看護

關東廳に勤務する女事務員は國勢調査部を合し六十餘名であるが今回の事變で關東廳内に時局婦人會なるものを組織し醵納した金廿一圓を十五日土木課勤務の本田芳子さんが代表し關東軍留守司令部に出頭獻納したが、更に同婦人會員六十六名は土曜から日曜日にかけ勤務の無い日を利用し旅順衛戍病院入院中の傷病兵の看護方を申出た

軍人後援會活躍
慰問弔慰に一萬七千圓贈る

帝國軍人後援會滿洲支部は今回の滿洲事變に際し出動した軍人並に警察官の戰死者および傷病者に對し弔慰金または慰問金品を贈つたがその金額は既に一萬七千圓に達した、なほ大連初め各地方委員部に於てもそれぞれ慰問並に弔慰を行つて會の使命遂行に努めてゐるが、この際男女を問はず入會して會の事業を賛襄されたいと

祝賀費獻金

大連輸入組合では本年十一月末羽衣町の新築家屋に移轉したが落成祝賀式は時局柄遠慮し、祝賀のために用意してゐた金二百圓のうち金一百圓を軍隊に獻金し、各五十圓を警察官滿鐵社員慰問に贈るため本社を通じ送付方を依頼した

慰問袋の製作に忙しい日活女優
ブロマイドにサインして陣中の勇士に贈る

日活會社は映寫班を組織して滿洲軍を慰問する事を發表した處同社關西支店員と撮影所員一同は慰問袋寄贈を相談し大スターからワンサに至るまで應分の金を集め鐘入栗おこし、雜誌、煙草、紙、懐爐、氷砂糖など買ひ求めそれを撮影の間を見ては女優連總動員して袋の縫ひこみ五百個、それに各自ブロマイドにサインして露營の夢に一脈の温かさを添へやうとしたのでこの擧を知つた陸軍省は特に證明書を附して本社分と共に一千個の慰問袋を關東陸軍奉天臨時倉庫宛發送した【寫眞は慰問袋の縫ひこみに忙しい女優連向つて右から春日壽々子、佐久間妙子、市川春代】

映樂館の正月プロ
パ社とメトロ

近く開館する映樂館はメトロ、パラマウント、フォックス各社作品上映を契約し、開館興行は既報の如くメトロ作品「ダイナマイト」及び「有頂天時代」であるが、過般來上阪中であつた吉田館主の歸連により正月興行プロは左の如く決定した

▲第一週 パ社作品暗黒街人情劇日本版ルウベン・マムウリアン監督ゲリー・クーパー主演「市街」發聲版九卷メトロ社品「キートンの決死隊」發聲版九卷及びパ社發聲ニユースパ社發聲漫畫「お化の料理」各一卷

▲第二週 パ社樂喜劇エルストン・ルービッチ監督モーリス・シユーヴアリエ、ジヤネット・マクドナルド孃主演「ラヴオンパレード」發聲版十三卷、パ社日本版リチヤード・ウオーレス監督ルース・チヤタートン孃ポウル・ルーカス主演「愛する權利」發聲版九卷及びパ社發聲ニユース、パ社發聲漫畫「オンパレード」各一卷

▲第三週 メトロ作品「肉體の呼ぶ聲」發聲版十一卷「世界の與太者」發聲版八卷

▲第四週 パ社フランク・タウトル監督ナンシー・キヤロル孃ヘレンケー孃主演「スキーテー」發聲版十二卷、パ社フランク・タウトル監督クラ・ボウ孃主演「女給と強盗」日本版及びパ社發聲ニユース發聲漫畫「ピアノ」各一卷

以上の如くであるが、開館興行が豫定より遲れたので第三、四週は開館日の都合により一部入替變更されるかも知れぬと

噂話

來る二十三日は大吉日だといふので中央館、映樂館ともこの日に開館しよう準備を進めてゐる▲映樂館の方はWE發聲機の裝置さへ完成すれば蓋が開けられるので山田德次技師が懸命に取つけ中である▲解說者は寶館から櫻井滿君が轉じ、熊本世界館から宮地莊吉君が來て取敢ずこの二人で開館する▲音樂部は全發聲興行となるので心配なく噂の如くアラケロフ氏との步合興行である▲大連劇場の正月興行に百々之助の實演がかゝると一部で傳へてゐるがこれは何かの誤傳で明石潮に內定してゐる▲また我廼家五九郎說もあるが、これは陽春三四月の頃の話である▲それよりも實現性のあるのは寶館の杉村チエ子のレヴユウ團で大連を振出に滿鮮興行をすれば元日から上演される▲松竹映畫退社後の平田貞助氏經營の寶館は既報の如く赤澤キネマと寺尾商會投びの內輪切れで大衆興行に決定した

暗流阿修羅館休載

本社特選 新棋戰(其二)

平手香交 五段 ▲齋藤銀次郎
平手番 先四段 △樋口 義雄

【圖は八六飛迄の局面】

▲齋藤氏「持駒」歩
△樋口氏「持駒」歩歩

△八七歩 ▲八二飛

△四八銀 ▲六二銀
△五六歩 ▲五四歩
△六九玉 ▲五三銀
△五八金 ▲七四歩
△三六歩 ▲四一玉
△五七銀 ▲六四銀
△六六歩

【土居八段講評】▲齋藤君は敵と同樣の駒組で後手番丈けに幾分か指しにくい懸念あるを以て八二飛と退却し、而して攻勢の意味で五三銀と繰り出したのは活氣ある戰法である△樋口君の六六歩は敵銀を壓迫しやうとの意味であらうも自から角道を留めるは些か弱手である。之れ又攻勢的の意味を以て四六銀、七五歩、同歩、同銀、二二角成、同銀、八八銀と指して敵の形勢を窺ひたい。

公示催告

東京市淺草區旅籠町一丁目十六番地
申立人 株式會社松崎 右取締役 堀川榮一

目錄

證書ノ種類及番號 近海郵船株式會社荷物受取證(ろ)第五號壹通
發行年月日及發行人 昭和六年八月貳拾壹日近海郵船株式會社
積荷船名及年月日 六次相模丸 昭和六年八月貳拾壹日
荷積地及發送人 東京、株式會社松崎
陸揚地及荷受人 大連、滿鐵社員消費組合本部
運送品及荷造個數 革製品箱詰八個
價格 金壹千五百六拾五圓也

右證書ニ付キ前記申立人ヨリ公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和六年六月十八日午前九時迄ニ當法院ニ權利ヲ屆出テ且ツ其證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及ビ提出ヲ爲サヽルニ於テハ其無効ヲ宣言スルコトアル可シ

昭和六年十二月十五日
關東廳地方法院

爲替及び輸入貿易の 管理論が擡頭
更に第二段の非常時對策として 政府部內と日銀內に

【東京特電十六日發】政變後の金融政策につき金輸出再禁止と金兌換停止とについで更に第二段の非常時對策として爲替管理乃至は輸入貿易の管理に就いて準備して置く必要ありとの意見政府部內にも日銀內にも擡頭してゐるとの事であるが、日銀に於ては英獨兩國の政策を中心に既に調査が完了してゐるとの事である、而して爲替管理の實行は可成り困難と觀られてゐるが輸入管理の方は稅關制度の完備してゐる我國では極めて容易であらうといはれてゐる、兎に角來春正金は五千萬圓の正貨を更に現送する必要に迫られてゐるやうな現狀から觀るとこれが實現は意外に早く行はれはせぬかといはれてゐる

緊急勅令案の 審査委員會開く
高橋藏相の說明について 顧問官の質問に入る

【東京十六日發】憲法第八條に基く銀行券金兌換に關する緊急勅令案第一回樞府審査委員會は本會議散會後十一時より樞府事務所に開會、倉富議長、平沼委員長、富井、黑田、古市、江木、荒井、鎌田、水町、織田各委員、政府側より犬養首相、高橋藏相、島田長官、黑田大藏次官その他出席、劈頭犬養首相より簡單に該勅令案の御諮詢奏請の理由を述べ、次いで高橋藏相より縷々財界の現狀と緊急勅令の必要なるを說明して樞府側の諒解を求めいよいよ各顧問官の質問に入つた

錢鈔市場
十一月市況

諸物價 の慘落は大體底入模樣に見えたると滿洲時局擴大見越しとして米印大思惑筋の銀買業動猛烈にて銀價は一途騰勢を辿り二日(一日は日曜)倫敦銀塊十八片十六分の三(六高)紐育銀塊三十仙四分の三(一高)に當市四十九圓十五錢(十五錢高)に寄付いたが四日倫敦銀塊十九片十六分の三(一片高)孟買銀塊六十一留比四分ノ三(三留比四分の一高)に奔騰の入報に搗て加へて日本軍チチハル占領の報あり、滿洲奧地筋の銀買注文殺到し一舉五十一圓臺に奔騰したるが五日日支時局益々惡化懸念と英國の金銀復本位制採用說の入電ありて上海標金六百五十四兩臺、上海日本向爲替百四十四兩臺に暴落し當市は五十三圓臺に昂騰した、折柄奉天省獨立に關し

官銀號 の準備銀調達とも目さる可き同銀號系並に奧地思惑筋の買物益々旺盛を極め加之天津方面に於ける反張軍、共產黨兩派の衝突事件傳はるや人氣一層惡化し當市五十七圓臺に急騰し十一日倫敦銀塊二十一片十六分の九(昨年一月以來の高値)紐育銀塊三十七仙四分の一(昨年五月以來の高値)の入電と一方天津に於ける支那軍が日本租界を狙擊し日支兩軍が衝突したとの報あり、更に銀買人氣沸騰し天井知らずの猛騰を演じ遂に五十八圓八十錢と昨年九月以來の新高値を出現し市場は混亂を極めたが、あと天津の眞相不明の爲め標金不圖に當市は五十五圓臺に反落した、然れ共滿洲時局及聯盟理事會の成行を懸念し上海にては爲替標金とも賣人氣熾ます標金六百兩臺割れの五百八十六兩臺日本向爲替百三十三兩臺を入れ日前側銀高氣配に當市五十八圓に反騰したるも十三日支那側は聯盟に一對し日本との

妥協を 申出たりとの入電に當市は再び五十五圓臺に反落した、しかし安値には高値覺えの買物出て再度五十七圓臺に買進まれたるが十七日に至り時局樂觀氣構へに英米印各地銀塊市場に大統の投物あり倫敦銀塊十八片丁度(三片十六分の九安)紐育銀塊三十二仙八分の五(二仙八分の七安)孟買銀塊六十三留比四分の三(一留比八分の三安)と一齊崩落を報じ又香港が金本位制を採用すとの說もあり銀安材料輻輳のため標金賣方狼狽煎れもの續出し遂に六百五十五兩臺に暴騰し當市五十二圓丁度と前日の高値に比し五圓七十五錢方の大慘落を演じたが此邊賣方利喰物と馬占山(黑龍江軍)が我軍を襲擊し兩軍激戰中との報に人氣一轉當市五十三圓臺に反撥せしも時局安定見越しに漸次軟調を辿り、爲替標金共に

買人氣 を唆り二十六日に至るや上海標金六百八十四兩臺、爲替百五十三兩臺を入れ當市嫌氣投物も加はり五十圓丁度と崩落するに至つた、然るに翌二十七日天津錦州方面の時局風雲險惡を告げ五十二圓九十五錢と反騰したが、高値には日支戰爭相場一段落と見越せる大手筋の賣物に壓せられ一部思惑筋の投物も出て遂に五十圓臺の大關門を無雜作に割り四十八圓七十錢と當月の新安値に暴落したが安値には利喰物出で依然軟弱狀ながら四十九圓二十五錢と大引け當期の終末を告げた、出來高二億六千四百四萬圓

豆油取引方法につき 組合の意嚮聽取
小林所長の通達內容

大連取引所特產市場に於ける豆油取引の改善については前後三回に亘る協議會を開いたが油坊業者、代理業者、輸出業者の間に完全なる意見の一致をみなかつたので取引所長としては監督の立場にある關係上、これを放置するを得ず、殊に豆油の騰落甚だしき際に於ける應急の措置として差當り

內規を 設けそれによつて取引の不安を一掃するに決したことは既報の如くである、然しながら關係者としてはこれを以て滿足し居るものでなく、且つ取引所長としては日本內地に於ける別種清算取引方法が豆油取引方法に酷似してゐるので、先般來內地二三の取引所に對して照會中であつたがこの程その回答が到着したので、小林所長は十日付を以て取引人組合に對し左の如く改善方法を如何にすべきやにつき通達するところあつた、しかして

組合側 では左記案の各項につき審議中である

從來改善の實行は混合保管制の下に現實の實行にあるのみに考へられ居りたるが今日の儘相對賣買を繼續することとし、その取引方法の改善上左記何れの方法に拘泥せず、將來これに適合するよう法令の改正あるべきものとして

A、取引の安全を計るには何れにするも證據金或は之に代るべき擔保の提供を必要とする點は先回來の會議に於て一致せる所なり、然らば其の方法として左記何れを實行するの意思なるや

一、賣買と同樣に證據金を提供すること

二、取引所內規の如き方法にて擔保を提供すること

三、各限月を通じ損となる者のみより追證據金の方法にて擔保を提供すること(銘柄清算取引の如く帳入値段を定めて計算す)

四、其の他の方法

B、信託會社は其の保留せる身元保證金及證據金等の限度に於て信託會社にて立替拂をなす制度とすること

二、その他の方法

綿糸布の 例年と變るまい
滿洲輸入量 金輸出禁止の影響について
東洋綿花大連支店長 奧田千之氏語る

金輸出再禁止によつて圓價は直に二割方の下落を示した結果、內地綿糸布は一割五分程の騰貴をみたが、これと共に當地の相場も一割見當の値上りを來してゐる、當地はどうしても內地に遲れて騰貴するのが常態であるそこで銀價の趨勢による今後の滿洲輸入綿糸布の

將來觀 はどうかといふに大勢からみれば勿論銀價が昂騰したことはそれだけ購買力が增大することになり今後の輸入も樂になるわけである、然しながらその購買力なるものは歐洲向大豆の輸出如何に左右されるものといひ得るから直に今後の輸入增加を期待するわけには行かぬ、現に滿洲事變の突發直後約一ケ月間は時局のため輸入が杜絕してゐた結果、その後時局小康を呈すると共に反動的に多量の輸入をみたものだが今月に入りて又ずつと減少してゐるそれは滿洲に日貨排斥で上海紡織が長江沿岸に捌けざる結果、青島紡織と共に滿洲方面へダンピングを試みたので當地は

急激に 輸入が增加したが需要者たる支那人側では更に先安を見越して今日では買氣手控へといつた狀態に置かれてゐるからである、金輸出禁止による圓價下落の結果印棉、米棉を原料とする內地紡織はそれだけ高い原棉を買ふから生產コストは割高となり只勞働賃銀が安くなつたといふに過ぎない、從つて內地綿布の輸出が樂になるといふのは只勞働賃銀の割安といつた程度ではあるまいか勿論これは採算關係からいつただけで要は滿洲自體の實質上の

購買力 が增大せねば輸入增加を期待し得ないのは繰返すもない、本年上半期は銀安關係や農產物輸出不振等に災され內地生地綿布は一昨年に比すれば實に七八割方の激減を示し、更に加工綿布に五六割の減少である、又生地綿糸布の總輸入數量に於ても五六割見當の激減であつた、然しながら下半期に入つて反動的の需要があつたので今年の輸入總額から言へば大體例年の輸入數量に達しはせぬかと思ふ

二百萬元を 商民に貸出
金融救濟に

奉天省政府最高顧問袁金鎧氏は奉天商民の金融逼迫せる窮狀を救濟するため官銀號に對し現大洋二百萬元を期限一箇年、年利一割にて貸出すことを命令した

東株、東米の 解合値決る

【東京十六日發】市場再開準備として東株では十五日午前十時より委員會を開き解合値を決定午後八時より短期一般全員總會を開き討議可決した、解合方法は取組高多き東株舊新、鐘紡舊新に對し賣買双方その喰合玉の半數を任意解合するもので、右の十二日現在取組高八十萬二千六百七十株の半數が解合ふもので雜株は不安も薄いので各自希望申出により處理し申告を十六日午後二時とした

解合値は長期東株當限百五十一圓、中限百五十二圓、先限百五十三圓、新當百四十八圓、中百四十九圓、先百五十圓、鐘當百九十二圓、中百八十四圓、先百八十五圓、新當八十六圓、中八十四圓五十錢、先八十五圓、短期新東百四十七圓五十錢、鐘百九十二圓、新八十六圓

米市場は午後六時半規定に依り議に決定せし解合棒値當限二十圓六十七錢、中限二十一圓五十八錢、先限二十二圓三十七錢の形式的立會をなす、十六日午前十一時二十分より再開當限納會値を附け午後より中、先の新規取引をやる運びとなつた、解合申告は午前八時に全部揃へ計八十二萬千七百石、當限は七千石內外の受渡である

奉天紡鈔廠完備

紡鈔廠新正副經理は就任以來專ら組織の改善と內容の充實に努力してゐたが愈々完備した模樣である【奉天電話】

朝鮮產金事業 に甚大な影響
金輸出再禁止で

宇垣總督の理想とする朝鮮の產金事業は物價の低落其他環境の好轉によつて最近採金熱旺盛となり產金額も漸次增加しつゝあるが、今回の金輸再禁止により圓金價の下落と物價勞銀の昂騰に崇られ採算關係から出鼻を挫かれた形である、この影響は相當擴大され折角芽生へた朝鮮の產金熱を阻害するものと見られてゐる

大連商議慰問 使あす出發

過日役員會において決定した大連商工會議所の奧地軍隊慰問使は副會頭藤田臣直、常議員佐藤至誠、書記長篠崎嘉郎の三氏に決定、愈々十七日朝大連發奉天よりチチハルに至るまでの各地軍隊を慰問することゝなつたが二十六日歸連の豫定である

鴨綠江の流筏 好成績

鴨綠江結氷のため內地の出稼筏夫は全部引揚げ歸國したが本年の筏材は鴨綠江が八十二萬八千二百七十尺締、豆滿江が九萬三千四百五十七尺締で豫定の九十八パーセントを流し好成績を示した【安東電話】

納稅の圓滑を 圖るため
奉天財政廳が 調査員派遣

奉天財政廳にては各縣の納稅圓滑を圖るため六名の調査員を左記各地へ派遣した【奉天電話】

遼陽、海城、蓋平、復縣、營口、莊河、岫巖、安東、鳳城、本溪湖、開原、鐵嶺、昌圖、梨樹

十一月中の 特產市況

高粱 前月末軟調裡に越月せる本品市況は月初十一限三、二二、十二限三、二六と月中の高値を出したりしも何分四圍不良により僅に最先物に南支筋の弗々買あるのみ一般人氣著しく沈滯し折柄銀の騰勢は奧地筋の賣ものを呼び又邦商主力の賣繫ぎもの一と稱する出廻案外多く他品の一切安と相俟つて軟勢裡に中旬に入るや當限早くも二圓七〇臺に落ち込みたるを以て銀の大反落も一向利かず氣配益軟化せり其後場面は邦商の利入れと銀安による賣遞りに幾分反動味を帶びたりしが山東上海向けにありては依然金融關係よりして需要極度に手控へられ主として當面需要に過ぎざる狀態なれば取引閑散にして下旬末十一限二、五三、十二限二、六五と月中の安値を出したりしも跡銀安に小堅く越月せり而して其出來高一、四二六車にして前年に比し八四二車の減少を見たり

豆粕 月初依然人氣弱かりしも原料大豆と略同一步調を辿りたるより月初に於ける十二限一、八三〇、一限一、八四〇、二限一、八五〇を月中の高値とせり而して場面は銀の暴騰を眺めて邦商並に華商油房の賣もの旺盛に推移し大豆の崩落と相俟つて中旬央十二限一、六五〇、一限一、六七五と月中の安値を出したり其後銀價俄然落勢に轉じたるより南支筋の押目買あり南臺灣入札の手當ものと稱して邦商筋の現物當用買逐日增大せる關係より原料大豆、豆油下落の一方にも拘はらず獨り本品は案外好調を持し然れ共市場の狀勢は銀の不安定日支關係の惡化亞で地方農村金融界の梗塞等に邦商の見越し買寂寞として振はざりしも月末に至るや銀價四十八圓臺に下落したると內地相場の値鞘接近に俄然邦商主力の買氣擡頭したるより一般緊張裡に越月せり而して其出來高三、〇三四千枚にして前年に比し三四二千枚の減少を見たり

豆油 月初邦商主力の現物買多かりしも依然人氣弱く十二限一五、一〇、二限一五、三〇と發會相場を月中の高値とせり而して市況は仕手關係に極めて妙味を有する南支筋も今や買滿腹の姿にして絕えず遠期への乘替玉整理多く且邦商主力の賣等より氣配軟化の外なく中旬初各限十三圓臺に落ち込みたり斯る折柄さて油房の增產は必然的に市價を壓迫し遂に下旬末十二限一一七五と近年稀に見る安値を出したりしも銀安に小反撥して越月せり而してその出來高四、三四〇百函にして前年同月に比し二九〇〇百函の增加を見たり

富次素平氏
けふ大連を去る

退穀南滿瓦斯會社專務を勇退した富次素平氏は十六日出帆のうらる丸で大連を引揚げ東京に行つたが氏は滿鐵の一技師として入社以來二十二年餘、瓦斯會社が滿鐵から分離するや創立以來專務として今日まで續き聲望を有してゐた爲め埠頭には牧野滿鐵顧問、入江滿電專務等ほか名士知友多數見送りで賑はつた、氏は上京後東京瓦斯入社を傳へられてゐるが語る

東京瓦斯の友人連が來いといふから行くだけで入社するかどうかの話は決つてゐない、在連中は公私共に皆樣のお世話になりましたどうぞよろしく

大連輸組總會

大連輸入組合では十四日午後二時半同事務所樓上において臨時總會を開き、定款改正の件その他を原案通り可決した

特惠關稅品證明數

大連民政署調査による十一月中の特惠關稅品證明は二百三十七件三十七萬二千四百九十圓にして、本年度の累計は一千八百六十三件三百四十萬四百九十三圓である

萬塵

◇…排日運動で對內關係惡化の矛先を隣邦に向け列强の袖にかくれて自己擁護に努めてゐた蔣介石も今度はいよく下野を聲明した。

◇…蔣介石の下野は繼て浙江財閥の沒落となるは必然の趨勢であらう。

◇…若しそれ浙江財閥に危機襲來となれば上海を中心とする金融市場の恐慌は免れない運命だ。

◇…本日入電の日米爲替の恢復も未だこれを以て落着きとみるは早計であつて貿易關係よりするも尚一段の低落は免れまい。

◇…例年歲末から二三月にかけては輸入季節であるが殊に今次は棉花の大量輸入が行はれるから對外貿易は支拂勘定を增加し自然爲替の落調を誘致することにならう。

◇…斯うした情勢を綜合すると銀價の前途は今後倚春秋に富めるものといふべく銀の騰勢は未だ終焉とはみられないであらう。

市場電報

銀塊及爲替

品目	値
倫敦銀塊	一九片八分七
同 先物	二〇片八分一
紐育銀塊	三一仙八分一
孟買銀塊	六三留比十六分十三
スチール	四〇弗八分三
アナコンダ	九弗八分七
英米爲替	三弗四四仙八分七
米日爲替	三四弗〇仙
米支爲替	二四弗四分一

棉花

●米棉

限月	値
現物	六仙二〇
十二月	六仙〇五
一月	六仙〇八
三月	六仙一六
五月	六仙四六
七月	六仙六二
十月	六仙九〇

●印棉

銘柄	値
ベンゴール	一六六留比
ブローチ	一九〇留比
オムラ	一六七留比

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	—	—
中限	—	—
先限	—	—

東京期米

	前場寄	前場引
當限	—	—
中限	—	—
先限	—	—

神戶期米

	前場寄	前場引
當限	—	—
中限	—	—
先限	—	—

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	—	—
大新	—	—
鐘紡	—	—
鐘新	—	—
日糖	—	—

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
郵船	—	—
東株	—	—
東新	—	—
(短期)大新東	—	—
寄値	—	—
引値	—	—
高値	—	—
安値	—	—

銘柄	前場寄	前場引
東株	—	—
東新	—	—
五品 當	—	—
五品 中	—	—
五品 先	—	—
新豆 當	—	—
新豆 中	—	—
新豆 先	—	—
(短期)東新滿鐵新	—	—
寄値	—	—
引値	—	—
高値	—	—
安値	—	—

大阪綿糸

限月	前場寄	前場引
	—	—

大阪棉花

限月	寄付	大引
十二月	二三七〇	二三五〇
一月	二三四〇	二三六〇
二月	二三四〇	二三四〇
三月	二一九〇	二一九〇
四月	二二〇〇	二二一〇
五月	二二〇〇	二二六〇
六月	二二六〇	二二五〇
當限	二二四〇	二四六〇
先限	二八〇〇	二八五〇

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
十二月	五六〇	—
一月	六〇一〇	—
二月	六一〇〇	—
三月	六一七〇	—
四月	六二〇〇	—
五月	六二〇〇	—

印度麻袋

品目	値
鐵筋直積	三四留比四分一
靑筋直積	三五留比三分一
爲替相場	一七留比〇分〇

上海爲替情報

【上海十六日發】紐育高に標金安寄りしたが志豐永の買持一萬五千本乘換に應ぜざるため賣方益々不利となり顛十兩から十七兩と擴大し標金安かりしも元茂永、源成永の買と外貨の輸入出廻り砂十一片二分の一、弗三十四、八分の一見當買ものあり、アト大連筋の買で三十三、十六分の十三まで弱くなる、大連筋は圓賣り砂弗買ふ、三井は圓をよく買つた、フランスが金銀複本位にするとの噂傳はり物品安引けた

上海標金

	値
寄値	六四七兩〇
高値	六五七兩八
安値	六四七兩〇
止値	六五二兩〇

手形交換高(十六日)

	枚數	金額
金	一、〇八六枚	二、八〇八、五〇一圓
銀	四九三枚	三二六、九八三圓

市況(十六日)

特產

奧地の賣りで 大豆軟調

今朝の定期は大豆は奧地筋の賣に軟調を辿り豆粕、豆油は區々保合を入れ高粱は添はず軟調を辿つた

◇定期前場(銀建)

▲大豆 軟調(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	四八〇	四八〇	四七九	四八〇
一月末	四九〇	四九〇	四八〇	四八〇
二月末	五〇八	五〇八	五〇一〇	五〇一〇
三月末	五一八〇	五一八〇	五一四〇	五一〇
四月末	五二九〇	五二九〇	五二三〇	五二三〇
出來高	二百七十七車			

▲豆粕(區々保合)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一七二〇	一七三五	一七二〇	一七二〇
二月限	一七五〇	一七五〇	一七四五	一七四五
二月末	一七八〇	一七八〇	一七六五	一七六五
三月限	一八二〇	一八二〇	一八〇〇	一八〇〇
四月限	一八〇〇	一八一〇	一七九〇	一七九〇
出來高	十三萬一千枚			

▲豆油(區々保合)(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一三一〇	一三一〇	一三〇〇	一三〇五
三月限	一三二〇	一三二〇	一二九五	一二九五
四月限	一二九〇	一二九〇	一二八〇	一三一〇
出來高	九千五百箱			

▲高粱(軟調)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	二七〇〇	二七〇〇	二七〇〇	二七〇〇
三月末	三〇六〇	三〇六〇	三〇四〇	三〇四〇
四月末	三一四〇	三一七〇	三一四〇	三一八〇
出來高	二十九車			

▲包米(出來不申)

◇現物前場(銀建)

品目	寄付	大引
混保大豆(袋込)	四九三〇	四八八〇
大豆(裸物)	—	—
出來高	八十車	

定期喰合高(十五日)

品目	前日對比	
大豆	四三八六車	一四六車
高粱	一〇三七車	一五車
豆粕	三四一九千枚	一六千枚
豆油	四一八〇百箱	二五百箱

品目	出來高	寄付	大引
普通大豆(袋物)	出來不申		
豆粕	二萬三千枚	一七二〇	一七二五
豆油	八千五百箱	一二〇〇	一一九〇
高粱	一車	二七九〇	二七九〇
包米	二車	三一八〇	三二〇〇

錢鈔

日米續騰 當市ヂリ安

今朝紐育銀塊八分の五高、倫銀小戾り、上海標金も軟弱を入れたるも日米爲替二弗二分の一高、米日爲替二弗三十八仙高の四十三弗丁度を報じたるため當市引續き小緩んだ、滬申七十四兩一七五、滬洋七十兩六〇、大洋百圓三十錢

◇定期前場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	四九五〇	四九七〇	四九五〇	四九四〇
出來高	期近五百二十九萬圓			

◇現物前場(單位錢)

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	四九〇	二一三	一四〇一〇
十一時	四九三〇	二一〇〇	一四〇〇
十二時	四九六〇	二一三〇	一八〇〇
出來高	(銀對金)九十九萬六千圓 (銀對洋)四萬五千圓		

株式

株

內地市場は比較的安値で解合中との報を入れて當市も幾分瞥底人氣となり▲買方の利喰急ぎで五品新豆錢鈔共五六十錢安と軟調を辿つた▲休會明け十七日の內地相場がどうなるか注目されてゐるが目先落ち着きをみせるのではあるまいかとみられてゐる▲財界の實勢は俄かに樂觀すべきではないが株價の値上りにする融通力の增大は今後の人氣に懸かるう筈はなく結局年末は春高見越しで今一度買はれるのではないかとの觀測が多いやうだ

糸

米棉情報はリヴアプールよりの情報良好で空賣りの買ひ戾しが出たのと賣り物がないため市況閑散乍ら硬りとあり▲現物五ポイント高先十一高を示し大阪三品は金再止相場も一段落の形で稍呆け模樣となり期近小一圓安先一圓七八十錢安と反落を入れ▲當市は利喰賣りでマバラの小手合せをみたが新規賣買は殆んど見送りの形である▲當分日米爲替の動搖につれて相場も一喜一憂を繰り返すものとみられてゐる

前場

◇定期

は四五十錢安新豆錢鈔一二十錢安で千八百枚の手合せがあつた

內地市場休會 地場株軟弱

內地市場休會に稍警戒人氣となり定期の五品は五六十錢安新豆五十錢安錢鈔七十錢安延期取引の五品

豆

今朝久方振りに奧地筋の賣物あり大豆高粱はそれぐ軟調を辿つた▲銀價の猛騰をも冷視した各品の變態相場も實は賣物薄であつたのだからこれからは常態に復するべきであらう▲但し出廻りは依然として趣いから直ちに相場の軟化とは限らぬわけだ▲昨年は官商の買占で惱まされ今年は匪賊の橫行で惱まされ輸出商もつらいわけ▲現物大豆は油房五十車、邦華商三十車で八十車の手合千枚操業工場三十五軒である▲今日の豆粕生產高は十萬六

銀

米國經濟界の內情は想像以上に惡いらしい▲昨日スチール株において未曾有の安値を報ずるといつた有樣だ▲從つて米國の金の價値も先行きに多少不安の氣が行はれてゐるかも知れない▲この意味において今朝日米、米日爲替が恢復したのは▲圓價自體の恢復によるのはいふまでもないが▲一面米貨の側においても多少とも價値低下してゐるとすれば▲それだけ爲替恢復の率を高めてゐるかも知れぬとの見方もあるやうだ

後場(〆り)

◇定期

銘柄		當限	先限
新豆	寄	—	一五、五
	引	—	—
錢鈔	寄	—	一九、一
	引	—	—
五品	寄	一二一九	一二一三
	引	一二一九	一二一三
	步	一二一九	一二一三

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一三〇	一三一	一三〇	一三〇
新豆	一五四	一五五	一五三	一五五
錢鈔	一九二	一九二	一九〇	一九〇

◇爲替及受渡日步

銘柄	爲替	受渡	代引	代渡	日步
五品	一三〇	一〇〇	一三〇		五
新豆	一五五	一七〇	一〇		三
錢鈔	一九〇	一九〇	一〇		三
氷新	三、五	一〇	一		無

滿鐵株

市場	
東短前場	滿新株鐵 休會
大阪現物	休會
滿鐵舊株	休會

後場(〆り)

◇定期

銘柄		當限	先限
新豆	寄	—	一五、八
	引	—	—
錢鈔	寄	一九、二	一九、五
	引	—	—
五品	寄	一二一	一二三
	引	一二一	一二三
	步	一二一	一二三

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一三〇	一三一	一三〇	一三〇
新豆	一五五	一五七	一五五	一五七

株式出來高(十五日)

定期	二、〇二〇枚
延取引	二、三七〇枚
合計	四、三九〇枚
早受渡手形	一、二七〇枚
金額	一〇、五四五圓

商品

綿糸も軟弱
麻袋安氣配

麻袋 產地靑筋同事鐵四分の一高、爲替同事と強保合を入れ銀塊一ポイント高を入れ當市は買手控への模樣で氣配は現物三二十五錢三厘だ、引際氣配は現物三四厘方引緩んだ、當限二十五錢、一月二十四錢七厘、二月二十三錢七厘、三月二十三錢五厘見當であつた

綿糸 米棉現物五ポイント高、先十一高、印棉一二留比安と材料區々を入れ大阪三品は金輸再禁止相場一巡の形となり期近小一圓安なるも先物は一圓七八十錢安と反落し當市は手仕舞ひもので小手合せをみた

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	二月限	一一七、二	四〇
同	三月限	一一九、六	一〇
同	五月限	一二三、七	四〇
出來高	八十梱		

銘柄	約定期	値段	俵數
綿布(延取引) 象冠	三月限	一、四〇	二五
出來高	二十五俵		

物貨高在頭埠

12月8日　(單位噸)

品目		本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆	混保	198,659.9	93,262.2
	非混保		
	白眉豆	13,766.1	5,778.9
	靑豆	6,767.0	4,175.5
	合計	213,193.0	103,214.6
小豆		5,556.6	6,062.0
吉豆		1,607.3	1,224.4
高粱		20,019.8	920.0
包米		4,510.1	19.4.2
大米		2,218.8	1,244.1
小米		425.5	477.6
麥子			4.4
蕎麥		1,135.8	261.5
芝麻		165.6	52.3
大麻子		155.3	46.
小麻子		1,162.7	388.6
蘇子		806.1	549.1
落花生		6,882.1	3,633.5
雜穀		1,224.7	1,307.
豆粕		64,492.8	24,576.7
雜粕		1,218.1	485.6
骨粉		98.8	136.5
豆油		1,268.4	271.2
鐵		3,038.0	1,866.2
焼酎		7.4	
セメント		643.1	2,963.3
鉄子		334.9	512.4

奧地市況

錢鈔

市場	寄付	大引
奉天(奉票)現物	一〇三、〇〇	—
奉天(奉票)先物	—	—
奉天大洋票 現物	九九、八〇	九九、八〇
奉天大洋票 定期	六八、五〇	六九、二五
開原(大洋)現物	九九、一〇	九九、一〇
開原 當限	—	—
開原 先限	—	—
安東鎭平銀 當限	八二、四	—
安東鎭平銀 先限	—	—
哈爾濱(大洋)現物	四二、〇〇	四二、五〇

特產

▲大豆

市場	限月	寄付	大引
開原	十二月限	—	—
	一月限	—	—
	二月限	一、二二〇	一、三三〇
公主嶺	十二月限	—	—
	一月限	一、三六〇〇	一、三六〇〇
	二月限	—	—
哈爾濱	十二月限	[illegible]	[illegible]
	一月限	[illegible]	[illegible]

▲小麥

市場	限月	寄付	大引
哈爾濱	十二月限	一、一三〇	一、一六〇〇
	一月限	一、二〇〇	一、二四〇
	二月限	一、二三〇	一、二三〇

各地特產發送高

品目	▲開原	▲四平街
大豆	四六車	—
高粱	—	—
豆粕	一車	—
雜穀	一〇車	—

品目	▲公主嶺	▲長春
大豆	一車	一五七車
高粱	二車	八車
豆粕	一三車	四車
雜穀	一二車	一二車

大連埠頭到着高

品目	車數
大豆	一四五車
高粱	五車
豆粕	七車
雜穀	五五車

滿洲日報

錦州軍の兵力增大し飽までも皇軍に抵抗
別働隊の活動で愈よ明瞭

錦州方面の學良軍はその後益々增兵しつゝあるがその形勢左の如し

一、山海關守備隊の急報によれば數日來錦州方面行きの列車で東北軍兵卒の輸送されるもの夥しく多きは數百名、少きも數十名づゝ東行しつゝあり

二、張學良は錦州政府より具申し來れる便衣隊を編成し、錦州の四圍に配置する件を許可したが、これらはさきに奉天において日本軍のため武裝解除されたる徒手兵にしてその數千五百名に達し既にそれ〴〵部署についた

三、國民政府要人の洩らすところによると、蔣介石が某國と契約中の兵器はその一部到着した、このうちには飛行機十數臺あつて該兵器の半數は張學良のため購入せるものである、しかして購入兵器の總額は一千萬元以上に達してゐると

以上を綜合するに張學良はあくまで日本に抵抗せんとすることは馬家塞別働隊の行動と相俟つて明瞭となつて來た【奉天電話】

在滿の諸民族協力し建設機運到る處躍動
之を妨ぐる者は斷乎排擊

關東軍司令部十六日公表＝黑龍江軍憲に對し軍は帝國政府の意を體して隱忍自重一意和平解決に努力せるが自衞上やむなく起つて嫩江河畔にこれを邀擊、幸ひにも一擧これを擊退し中外に對し皇軍の威武を宣揚することを得たりこれ一に上皇威の然らしむるところなると共に、下將兵の忠烈勇武にして衆庶の熱烈なる後援ありしによらずんばあらず、今や奉天、吉林兩省各々自立の形態を整へ舊政權を絕ち黑龍江省その陣容を更變し熱河省並に內蒙もまた恰もこれらに響應するにいたり、在滿三千萬の民衆今齊しく善政を渴仰し歸結する何ものかを庶幾しつゝあり、憾むらくは未だに遼西の一角に蟠居して或は匪賊を使嗾し劫掠を擅にし治安を紊り或は宣傳を巧みにして曲を蔽ひ安寧を妨ぐるものあり庶民その奸を憂ふること切なり、然れども大局よりこれを觀れば在滿の諸民族の協力宜しきを得て諸經營日に月に面目を一新し來れるは慶ぶべき現象にして建設の氣運到る所潑剌として躍動せるを觀取し得るものあり、軍は以上の情勢に鑑み特にその進止を公明ならしめ諸般の協調を緊密にし職として治安維持を全うし民心の安定を圖り以て向後の開展を容易ならしめ徐ろに大勢の歸趨を靜觀せんとす、若し夫れ軍の行動を妨げ安寧秩序を破壞するものあらんか斷乎としてこれを排擊するの用意に遺憾なからしめあり【奉天電話】

對戰準備を着々進む
榮臻强硬に對日戰を主張

【天津特電十六日發】學良軍參謀長榮臻は飽くまで日本軍との一戰を主張し其後馬占山の騎兵部隊の成功に倣つて騎兵の大擴張を試み北平、昌平、密雲、易縣、熱河等で盛んに軍馬の徵發を行ひ更に昨日は東北軍自動車隊長を買收し又白系露人數十人を多額の給料で募集しガソリン多量を購入した右は熱河から錦州への遠征に使用するものと觀らる

百十萬元の特別手當を支給した事實あり錦州東北軍は鐵路關內撤退準備中である

補充部隊
きのふ奉天着

補充のため內地より來滿した第二師團〇〇〇名は十五日午後七時十七分安奉線で着奉した、驛頭には町內會、在鄉軍人會、各學校生徒約三百名出迎へ、同部隊は一部を奉天に留め一部は長春その他沿線に配屬される筈【奉天電話】

長春駐屯兵
某方面へ向ふ

長春に駐在中の野砲第〇〇聯隊の〇個中隊は十五日午後一時五十分同步兵〇〇聯隊〇個大隊は午後三時五十分何れも南下某方面へ向つた【長春電話】

天津の治安支那側維持
我諒解を求む

【天津十五日發】過日の天津事變に關し支那側が極力治安維持のため……

錦州軍
關內撤退か

新政府の樹立まで
わづかに六時間

政府樹立を各省に通告

國府主席に林森氏

【南京十五日發】蔣介石は十五日午後二時下野を決行し國府主席後任に林森、行政院長に陳銘樞が任命された

蔣介石氏下野の挨拶
常務會議にて

蔣介石の北上電請
張學良から

王樹常も辭表提出

正式に政府を組織
殘局を收拾す
省民代表中外に宣言

臧式毅氏を主席とする奉天正式政府組織に關し奉天省民代表は十五日、左の如き東三省全國父老諸公あての宣言文を中外に急電した

張學良は智慧なきに東三省の政權を掌握し政務に努めず無辜の民を苦しめ兵力を充實し苛斂誅求を事とし人民を塗炭の苦に陷れた、張學良は東三省の罪人である、彼は夙に蔣介石と交はり惡事を專らとした、而して滿洲今回の事變はその責、蔣介石、張學良兩人にある、但し幸に隣國の兵力を借りてこの暗雲を一掃、軍閥の暴政より離脫し得たるは千歲一遇の好機會であつた、地方維持委員會諸公は民衆のため事變後の治安維持に當りその努力感謝に堪へざるものあり、但し地方維持委員會は一時的の機關にして一切の政務施設に關與すること能はず、茲において我々民衆は公道に基き討論の結果、危急存亡の秋に當り正式に政府組織をなすに非ざれば善政を實行し殘局を收拾し難きを感ずるものである、卽ち地方維持委員會を解散、新たに奉天省政府を組織し臧式毅氏の出動を促し省長に推戴し、世界の潮流に合し人民の福利をはかり暗黑を變じ昌明をなすには天與の好機會である、これを要するに蔣介石と絕緣し張學良を排除し、彼所管の錦州政府を認めず、事の如何に拘らず誓つて所信を斷行す、茲に宣言す【奉天電話】

臧主席就任挨拶

身を殺して善處の決心
臧式毅氏記者に語る

奉天省敎育委員會組織

臧氏の主席就任眞に欣快の至り
新政府最高顧問袁金鎧氏語る

奉天正式新政府成立祝賀會
來る十八日擧行する

突如たる地方維持委員會の解散と臧式毅氏の出廬は副委員長格たる闞朝璽氏すら辭表提出直前これを知り且つ驚き且つ喜んだ位で袁委員長一、二氏以外は全く晴天の霹靂であつた、但し省民一同は豫てより臧氏の出馬を切望して居たことて家毎に歡迎の赤旗を揭げ

全市活氣

立役者各地代表

錦州一帶における匪賊討伐令を發す
就任式擧行と同時に

張學良も下野か
早くも北支政權授受に對する猛烈な暗中飛躍

陸軍首腦部更迭
二十一日ごろ發令か

局子街支那兵が
李景林の急死は毒殺と判明

民政幹部決議

政友役員補充

海軍辭令

牛島東京府知事辭表提出の皮切

爲替相場は案外下げ澁る

現送で正金が三千萬圓兌換

社說

臧氏新政權へ乘り出す
殘る民敵匪賊の絕滅を期せ

臧式毅氏は突然奉天省政府主席に就任した。今までは地方維持委員會長の袁金鎧氏が其の主席であつたが、各法團聯合會が一致して臧氏を推薦したので、此處に更迭が行はれたのである。臧式毅氏は曾つて黑龍江省や吉林省に主席さなり、最近迄は遼寧省(今の奉天省)の主席だつた人で、東北各省に在りては、行政上の第一人者である。彼は東北地方の行政財政の事情に精通し、其の手腕も見る可きものがある。故に彼は申し分なき政府主席さいふべく、省內官民も多分安心して悅服するであらう。又同氏は遼寧省主席時代には、日本側さも常に折衝の任に當つて居たから、日本の事情にも通じ、日本側さも親密である。

◇

曩に舊政權が一度び日本軍隊さ事を構へて崩壊してから、東北各省では、誰一人さして舊政權を追慕するものがない。それも其筈で、彼等は自家の權勢を張らんが爲めに、民衆を搾取する機關であつたからである。現に張學良氏一人の私財でも、數千萬元を數へるさいふから、其一門黨閥の蓄財が、何程に上るか知れない。其の上彼が年々、東北地域內で、自家贅澤のために費した金、又關內にまで出かけて軍事行動を取り、中華民國陸海空軍副司令なざゝいふ虛名を維持せんがために、今日まで費やした金は、皆我東北地方の民衆から絞り取つたものである。中華民國陸海空軍副司令なざゝ稱して、北平に納まつて居るのは、張氏並びに其一族郎黨の威幅を張る爲めには好都合であつたかも知れないが、夫れが爲め東北三千萬の民衆が、如何に莫大なる犧牲を拂つたかを考へるときは、今日張學良なるものが東北から驅逐さるゝに至つたのは當然である。日本軍の行動を待つまでもない。偶々彼れが日本軍さ事を構へて、自ら亡ぶるに至つたのは天道の然らしめたものさ云つてよい。

◇

東四省に於ける張氏の從來の施政が右の如くであつたから、今張氏が滅びても、誰れ一人其の復歸を希望するものもなく、翻つて各地に新政權が出來るのは當然である。中にも奉天省は中心地であるから、新政權の創設にも頗る複雜且つ困難な點があつた。先づ應急策さして、曾つて地方維持委員會が秩序を維持し、それが進化して政府の形さなり、維持委員會長が政府主席さして行政を執行して居た。それが此の十五日の更迭によつて、純粹な行政廳さしての省政府さなつたのである。新政府は今後着々其機能を發揮し、省民の安堵に貢獻せねばならぬ。

◇

吾々日本人は、東北三千萬の民衆さ共存共榮の關係にある。故に民衆の敵は同時に吾々の敵である。民衆の敵さしては、張氏一門の軍閥あり、之れに附隨する國民黨閥があつた。元來國民黨には、理論から考へる時、吾々は相當の尊敬も拂ひ、又支那民族の政治的進展の一運動さしても、相當の價値を認める。併しながら別方面から見れば、それは支那が、北支那の政權を奪はんさする道具であつたさも云ひ得る。而して蔣介石氏が黨國の主權を握るに至つてからは黨の精神は漸く廢落して、理想の方面は全く消え、純然たる權勢爭奪の道具さ化して了つた。殊に黨勢が東北に進出し來た時には、最も然りであつた。換言すれば、此れによりて張學良氏の勢力を漸次黨權の中に吸收し、遂には之れを蔣氏の勢力下に吸收せんさしたのである。張氏若年にして、此の老獪な蔣氏の意圖を知らず、マンマさ其手に乘つて居た。張氏が圖に乘つて日本さ事を構へ、自ら勢力を失つてより、それに附隨して居た國民黨も勢力を失つた。國民黨の或る所に、平和がないのは、支那本部の狀態を見て察知し得可く、張氏さ一蓮托生で、國民黨が東北に於て勢力を失ふに至つたのは、東北民衆の爲めに至大の幸福である。

◇

軍閥黨閥の外に民衆の敵さいふべきは、馬賊其他の匪賊である。匪賊は元來支那の政治機構の一附屬物さして起つたもので支那の政治が根本的に變更されない限りは、其絕滅を期し得ないものである。元來支那の政府其物が匪賊である。匪賊中勢力の強大なるものにして、且つ多數人民さ外國さによつて公認されたものが、即ち今日の支那政府である。故に其爲す所は、眞正の意味の政治ではなく、匪賊さ同じ强奪である。東北舊政權もその一に過ぎないから、馬賊を討伐するさ云つても、彼等は之を徹底的に討伐するの意思もなく、又其力もない。それでも今日まで多少は抑へて來た。都城に近い地方だけには、馬賊の侵入を許さなかつた。併し此れは民官の爲めではない。自家の繩張を荒させないさいふだけの目的たるに過ぎない。今や此繩張りの大親分たる舊政權が消滅したので、馬賊匪類並びに新に匪賊化した軍隊が、到る處威力を逞しくして、民衆を壓迫するに至つたのは、已むを得ない成行である。

◇

故に新政權は差し當つて此の匪賊を討伐せねばなるまい。是れ今尚殘つて居る民衆の敵を絕滅する所以である。其の爲めに軍隊さ警察さの必要さするが、當初此點に於て無力であつた新政權は、日本援助に待たねばなるまい。日本も三千萬の民衆の爲めにならば、共存共榮の目的の爲めに、之れを承諾せねばなるまい。但し討伐するものが、又三千萬民衆中の一部である事を忘れてはならぬ。元來彼等が匪賊になつたのは、舊政權が政治らしき政治を行はなかつたからである。新政權は此點に留意して自ら政治らしき政治を行ふ事によりて匪賊が自然に消滅せしむべく期せねばならぬ。臧氏の主席新任によりて、省政府は確立され、續いて東北全土の政權も確立するであらう今日、吾人は臧氏政權確立の始めに當りて、先づ此事を注文する。即ち民衆の敵たる軍閥、黨閥、匪賊の中、前二者は日本軍隊の行動によりて退散したが、尚殘存する匪賊を絕滅するのが、新政權の差當つての仕事である事。併しそれは討伐だけで出來るものでなく、眞の意味の政治を行ふによりて其目的を達し得るものである事を吾人は茲に强調して置く。

兌換停止理由
金輸禁止を完全に行ふため
藏相、樞府委員會にて說明

【東京十六日發】樞密院の兌換停止勅令案審査に關する精査委員會は十六日午前十一時開催、犬養總理の挨拶後高橋藏相より金輸出再禁止斷行の前後事情並に第六十議會を目睫の間に控へ右勅令案御諮詢を仰ぐに至つた實情、財界事情等を說明し審議に入つた上水町、富井顧問官等は

一、兌換停止を緊急勅令案に依つて行はんさする現時の狀態如何

二、曩に金輸出禁止を大藏省令第十五號に依つて行ひたる時は兌換停止は行はなかつたに拘らず今回省令第三十六號に依つて金輸出禁止を行ふに就て銀行券の兌換停止をなす理由如何

三、勅令案を公布せんさする政府の法律的根據如何

等の質問あり之に對し高橋藏相より

一、省令第三十六號により金の輸出再禁止を行ひたるは日銀の兌換要求增加し現狀の儘では經濟界に不安を起すべき事態の起るやも知れず、曩の再禁止を最も完全に行はんさせば之より外なく議會開會を待たず緊急發令の必要を認めた爲めである

二、今回の再禁止で兌換の停止をなすは事態の相違あり經濟界の現狀に鑑みたる爲めである

三、法律的根據は公共の安寧維持さ災厄を避けるためである

さ答へ零時半休憩後一時半再開委員會は本日中に質問を打ち切り結局政府案に同意を與ふる事さなる模樣である

野黨反對せば斷乎處置
犬養首相答辯

【東京十六日發】本日の兌換停止に關する樞府精査委員會において江木顧問さ犬養首相さの間に左の問答があつた

江木顧問　本勅令案は議會の承認を必要さするが與黨少數の今日議會において否決された場合の覺悟如何

犬養首相　議會における見込みは今日よりつける譯に行かぬが國家重大の折柄反對黨が之に反對するものさは思はぬ、若し斯る場合に遭遇すれば斷然たる處置を執る覺悟を有する

緊急勅令案を可決

【東京十六日發】樞密院は兌換停止に關する緊急勅令案を可決した

緊急勅令案 九委員に附託

【東京十五日發】樞密院は兌換停止に關する緊急勅令案審査のため十五日午後平沼副議長を委員長さする左記八名の委員を任命同案を委員附託さした

富井政章、黑田長成、古市公威、江木千之、荒井賢太郎、鎌田榮吉、水町袈裟六、岡田良平

辭任する意思は無いが總て政府の肚次第
內田滿鐵總裁語る

滿鐵正副總裁の更迭については各方面で噂されてゐるが軍部さ打合せのため來奉した內田總裁はヤマトホテルで語る

私は今のさころ辭任の意思はない、政府からこれについても何の交涉もない、是非辭めて欲しいさいはるれば何時でも辭める

今朝(十六日)も奉天の有力者から私の留任について運動中の由を聞いて私は感謝してゐる、何れ上京するがそれは辭表提出のためではない、時局多事多端の折柄やりたい仕事は澤山あるがそれも政府の肚で萬事決定される筈【奉天電話】

滿鐵正副總裁けさ歸連

內田滿鐵總裁は十六日午前八時半着奉、驛頭には宇佐美奉天事務所長ほか多數出迎へあり、直にヤマトホテルに入り小憩の後本庄軍司令官を往訪懇談を重ねた、十六日夜十時四十五分歸連の途につき十九日江口副總裁さ東上するさ【奉天電話】

滿鐵首腦部の更迭は遺憾
各地社員會に意見を照會
山岡社員會幹事長談

滿鐵社員會の一部では今回の政變により正、副總裁の更迭が取沙汰されるに至つたが從來滿鐵首腦部の恆久性擁護を原則さして掲げ來つた社員會さしては特に刻下の重大な時局に鑑み今回の政變の餘沫を浴びて正、副總裁の更迭を見るが如きことは絕對阻止せざるべからずさの意見有力さなり來りその成行を注目されてゐるが、右につき山岡社員會幹事長は左く如く語つた

滿鐵首腦部の恆久性確立さいふ問題は議論をすれば贊否共種々な見解が成り立ち得る、政策、方針を一貫せしめる見地からの恆久性もあれば人物を中心さして献身的に滿蒙經營を遂行せしめるさいふやうな意見もあらうが、兎に角具體的な現實の問題さして力量手腕はいふ迄もなく三萬社員の多大な信望を荷つて居られる現在の正、副總裁が今更迭するやうなことは我々さしては極力反對である、實は內部で斯かる意見が有力になつて來たので取敢ず十五日各地聯合會宛に幹事長の名を以て意見を取纏めるこさゝなり十七日には本部役員會を開いて各地社員の意思に基き今後の具體的行動を協議するこさゝなつてゐる、從つてまだ現在の所では今後如何なる方向へこの運動が如何なる程度に進展するかは申上げることは出來ない、各地からの回答は一部條件附のものもあるが殆んど幹事長一任さなつてゐる

第一線に立つ滿鐵社員(9)
闇と寒さの中に地雷を除きつゝ
作業に苦心した修理班一行
チチハルにて　五百旗頭佐一

皇軍のチチハル入城に際し所員總出で道案內に努めた滿鐵チチハル公所も八日ごろから漸く一服の形さなつたが、依然各方面からの慰問使の應接に忙殺され、つひに河野公所長さも語る時がなく十日午前龍江驛に鐵道部の現業員を訪れた、忙しい中を滿鐵奉天事務所鐵道課の平野七郎氏は快よく迎へ「いますぐ裝甲列車に次ぐ龍江最初の乘込の連中を呼集めませう」臨時召集、早速元氣な車掌さんや修理班の人達で自然的に立派な座談會が出來上つた、話は餘りに古く、多少重複になるかも知れないが鐵道現業員を中心さしたチチハル一番乘を書くことにする

◇

十一月十八日夜半江橋驛に待機を命ぜられてゐた鐵道班に急遽出動の命令が下された、一番乘に勇む者、後詰を命ぜられて憤慨するもの、騷がしい中にも元氣の溢れた宿舍ではまたゝくうちに準備が整ひ裝甲列車だけは其前に出發してゐたが十八日午前二時半糧食彈藥等から成る五個の列車はチチハルに向つて進發した、戰況に從つて進む列車の歩みは遲々さして大興をすぎる頃から次第に機關車の水に缺乏し來し始めた、大興までの前方の機關車は總て水が切れ更に水を汲みに引返す苦心、そのうち最後には大興より二臺の機關車が應援に向ひ五個の列車全部百三十輛は一個列車さなつて推進によつて車を進めるに至つた、その列車の長さ實に二千米以上になつたさいふ、これより以前既に戰ひは激しく列車は敵彈の着彈距離千五百米突を離れる地點まで車を運び滿鐵社員新聞記者等全部が總動員で彈藥運びを手傳ひ更に引返して再び運ぶ忙しさ、または鐵道線路めがけて身體を運んで來る負傷兵の收容に全力をあげての助力をせねばならなかつた、かうした苦心のうちに列車の進行はますます緩く加ふるに昂々溪近くになつて列車連結のカップラーを一ケ所壞したが仕方なくそのまゝ列車した。

◇

十八日午後四時列車が昂々溪間を進行中先頭の車掌さんの眼がレールの總目板三十本ばかりがとられてゐるのを發見した、赤旗は振られた、然しその時修理班の列車は故障のため未だ大興に取殘されてゐる「エ、儘よやつゝけろ」さ多少の經驗をもつ者の指導で殆ご無經驗の者ばかりが道具さしても一つもないレールの修理に取かゝつたのであつた、漸く修理完成した、然し從た、列車はますます徐行である、車掌の振る合圖燈の靑は後方に見えないさいふ、朝から吹く蒙古風はますます强い、昂々溪にいつ着くかは全然見當もつかない。午後八時半すぎ突如その時列車の前方に三本のレールが外されてゐるのを發見した停車!、その時だ破壞箇所近く進んでゐた一人がレールから出てゐる一條の鐵線を發見した、誰かが「地雷火」ださ叫んださき思はず一同は飛び退つた程だ、早速一人の機轉から電線は切斷されたがそれは遠く右方の村落近い塹壕の中につゞいてゐたさいふその時は運れてゐた修理班も到着してゐた、地雷火の除去さレールの敷設、闇さ寒さの中に修理班の活動が始まつた、地雷火をシヨベルでたゝくて事に危險を感じた一同は己がナイフで凍てついた土を掘りくく取り除かねばならずレールの修理はさのためにアセチリンランプの燃えが思はしくなく、この苦い修理も終つたのは午前零時半であつた

駐滿軍慰問に

朝鮮總督府特使さして駐滿軍隊慰問のため來奉着の中村總督府土地改良部長

年賀狀と虛禮
國粹生

◇滿鐵地方課員が時局に感じ歲末歲始の無駄を節して献金する事さなりしは誠に美擧さ云ふべく斯くあつてこそ國民至誠の表現さして喜ぶべき所なり、此際誰しも此の考へは有する事さ思ふが、多數の社員を擁し在滿邦人の師表に立つべき滿鐵社員が第一に公表せしは一層喜ぶべき事さ思ふ。

◇然るに之に關し社會施設係員の言さして年賀狀を以て虛禮さ斷じ堂々新聞に定見を發表せしめたる事は謬見も甚だしく社會に惡影響する所大なるを憂ふるものなり、虛禮のために出す年賀狀はいざ知らず、我々は更新の目出度き年を祝ふ眞情から親戚知己に喜びを述べ平素の交情を溫め疎遠を謝する至誠に基く禮儀であつて、斷じて虛禮ではない。

◇近頃新らしがり屋が無暗に慣行打破、虛禮廢止、生活改善さ絕叫しても事實は之に反して國民精神の頽廢を招來した最大原因は之等淺薄なる皮相論者の傳統的慣行を打破せんさする罪に歸すべきもの多きは識者の認むる所なり。

◇大滿鐵の社會係さ云ふ大切な役目を有する者が斯る皮相の斷定を下すが如きは淺薄も極まれりさ云はねばならぬ、寧ろ虛禮を反省すべきは社員家庭の　にあらざるか、之れ社會に定評ある所なり。

八相　投書歡迎　五十行以內

安閑としてはゐられない
病氣靜養のため歸京した十河滿鐵理事語る

【東京特電十五日發】十河滿鐵理事は夫人同伴十五日午後四時五十五分東京驛着特急で着京した、驛頭には佐藤代議士、東拓重役、その他多數友人、滿鐵支社員等…

…外的に非常に變化し來つてゐるので對內外的に使命を果すためには人の問題で之を適材適所に置けば事務の圓滑も期せられる譯であるしかし着任早々なので人事問題についてはまだ考へて…

塚本長官 廿日頃上京

塚本關東長官は十四日夜三浦內務、中谷警務兩局長以下を招致し種々協議する所あつたが議會關係、政變關係の要務をもつて來る廿日頃上京する豫定であるさ

敎專の生徒が警備の手傳ひ

【奉天】滿洲敎育專門學校生徒有志で組織された愛國聯盟會々員代表は十五日立川奉天署長を訪れ本年の冬季休暇中市內一般警備のため手助けしたいさ申出た署長は大に感激し目下考慮中である

宇佐美所長 事務打合せから歸奉

【奉天】諸事務打合せのため赴連中であつた宇佐美奉天事務所長は十五日朝歸奉したが語る

着任以來まだ本社に顏を出してゐなかつたので挨拶かたがた緊要事務の打合せをなして來た色々世間で傳へられてゐる事務所內部の改革は事務所が設置されて日淺い今日運用上に支障があれば除去し惡い點があれば改めるのは寧ろ當然な事であり現在の事務所さしては時局の…

衞生課異動

滿鐵人事課では十六日午後左の如き衞生課關係の異動を發表した

衞生研究所技術員　倉內喜久雄
衞生研究所技術員兼細菌科長　同庶務係長　今西　榮
衞生課事務員　園部又三郎
醫院長春醫院庶務係長　衞生研究所庶務係長

大觀小觀

日本の政變に氣を取られて居るうちにお隣りの支那でも何うやら政變の形勢、…

市況

鈔票小反撥

後場は小高く寄り引際一段さ反撥した

◇定期後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	四八九	二一五	大公五
二時半	六〇〇	二一三	大公二
三時半	六五五	二二〇〇	大八九
出來高	銀對金三十四萬八千圓	銀對洋一萬圓	

◇現物後場(單位錢)

商品

綿糸軟り

麻袋保合

後場は摑らず綿糸は大阪三品引の小腰りを眺め小手合せをみた

奧地市況

特産

銀高を移し一齊軟調

株式

當市保合

市場電報

大阪綿糸　大阪期米　東京期米　神戸期米　橫濱生糸

若奥様向の 麗人巻
髷の位置を上へ移すと令嬢向に

イットは推移する——一九三二年の彼女は臆面もなく露出したその廣い額に理智的な彼女の美を、イットを放散するのです、しかも西洋映畫の影響はあのお菓子をのつけたやうなあまりにも技巧的な束髪にいさゝか飽いて來たやうにも見えます、パ社の「アメリカ悲劇」で素晴らしい人氣を集めてゐるシルビア、シドニー、或は「インスピレーション」のグレタ、ガルボのやうに、額の毛をピッタリ左右に撫でつけて、右から左にぐるつと波打たせた二すじのウエーブに、髷もまた理智的にちんまりと無造作にまとめ上げて、さてやゝ淋しい右頬の感じをカールによつて補つたインテル好みの若奥様向の髪「麗人巻」をモナミ美粧院の西川美代子さんに上げて頂きました、この髪は髷を寫眞のやうにぐつと下にしますと落つついた氣品が出ますし、髷の位置を少し上に移しますと令嬢向の派手な髪になります

社會館の授産部 案外の成績
結婚衣裳が割合に多くて
紹介所の求人求職

押し迫る年末を前に大連市社會館授産部及び職業紹介所の動きをのぞいて見ました、授産部の和服部、編物部、ミシン部の三面を見ますに先月の成績は

	點數	工賃
和服部	三七〇	四四〇、〇〇
編物部	八八	一二二、九〇
ミシン	二六九	三六五、三〇
總計	七二七	九二八、二〇

で一點平均は和服一圓十九錢、編物一圓三十九錢、ミシン一圓三十六錢となつてゐますが十月に比べますと十一月は點數に於ては一一三點、工賃は二四四圓三十八錢の増加となり前年同月に比べますと二三五點、工賃二八九圓一四錢の増加となつて居ります、これにつき小嶋氏は次の様に語りました

成績は納めたいものだと願つてゐました處意外な事には昨年よりはうんと成績もよく三百圓近くの増加を見て喜んでゐます、

この原因は一つはこの七月以來申込者は電話さへして載けば早速こちらから集配するやうな便利な方法を講じました事もありますが、又正月衣裳準備や來年は申年でそのため結婚を今年のうちにと急がれたため結婚衣裳が割合多かつたため縫賃もあがつたのだと考へます、こゝの授産部も誰でも縫へると云ふやうになると大へん便利なのですが今の所ではこゝの家事講習所へ一年）を卒へなければ授産部で働けないのでこれもどうかして誰でもすぐ働けるやうにしたいと考へてゐます、職業紹介所に職を求めて來る婦人の中でお針仕事のちつとも出來ないと云ふ人は稀ですし、たとへあつても指導してやつたら少しづゝでも縫へるのですからこんな方にも口が見つかるまで縫はせてやれるやうになつたらと今その方の計畫はいたして居りますがそれも來春でないと否やは分りません

職業紹介所 の方は割合に求人求職とも少數で先月など婦人部の方は求職六七名あつてそのうち就職したもの六名で女中が主です、求人の方でも婦人の方は事務員を求める人は稀であつて女中でしたら澤山あり、大てい右から左へさう云ふ調子でどんどん纏まつて了ひます、給料も住み込みで十三圓位から十五圓程度で沿線へは住み込み二十圓以上で行つてゐますが沿線希望者は全くない狀態です

男子の部で は先月は求職者九十八名で（うち四十名華人）その中就職したもの十七人（日本人九人）でこれらの人は店員が主で支那人はボーイ或は店の配達夫で日本人店員で住み込み十圓から十五圓程度で通勤で四十圓の手當を貰ふ者もありました、春夏は求職者も相當多く帝大、高商、高工、同文書院などの卒業生など智識階級の士も交つてゐたのですが冬になりますと求職者もうんと減つてまゐります

不景氣の爲 今年は思ふ樣な成績はあがらぬと豫想しせめて昨年と同額位の

優しい乙女心に 愛國の熱血は迸る
大連各女學校生徒が思ひ〳〵に 涙を唆る獻金運動

時局に際して大連市内の各中等學生、小學生等も或は家庭に於て、街頭に於て隨所に潑ぐましい活躍を、或は緊張を見せてゐますが、中でも優しい乙女心に愛國の熱血をたゝえた數千の女學生等は自ら進んでその學課の餘暇をひたすら恤兵の資を得る爲に捧げてゐます

彌生高女 では先日來四、五年生が千代でお菓子を燒き全部の生徒がその菓子を賣つて收益を獻金してゐます、又三年生は先生の指導の下に美身クリームを製造中ですが、近日中にこれを瓶につめて廣く市中に賣捌きその收益も獻金するさうです、年末には既報の通り上級生が一般市民の註文をうけてお正月用の重詰を揃へる筈ですが、既に約三百重れの註文がありましたこれも收益をあげて獻金に加へるさうですこれらの獻金で總額一千圓には上せたいと大した意氣込みです

神明高女 も彌生と對抗して獻金一千圓を目標に努力してゐます、即ち細工の上手な人たちはクレープ、ペーパーでキユーピーさんのきものを揃へ、繪のうまい生徒は羽子板に彩管の妙筆を振ひ、あとの生徒は國旗の製作に努力してゐます、羽子板キユーピーはクリスマス、プレゼント或はおせいぼ、お年玉をあてこんで全生徒がその賣捌に當り、毎月一日十五日には大連神社社頭に進出して國旗を賣ることになりましたが、去る十五日の午前中にも一千本の旗を賣盡したさうです、これも勿論その收益全部を獻金にあてるわけです

女子商業 では去る五、六兩日にわたつて獻金募集のバザーを開き好成績を收めましたがその後生徒等に自發的に一二の篤志な大商店から玩具や菓子を廉く讓り受けて放課後或は夜間を利用して近所や知己にこれを賣つて收益を獻金してゐます

羽衣高女 では寒い折柄無理をして健康を害するやうな生徒があつてはと街頭進出などは寧ろ引きとめてゐる位ですが、熱心な生徒等はじつとしてゐられず寄々協議して或は造花や人形を拵へて賣つたりして獻金を集めてゐるやうです「生徒が自發的にやるのですから別にとめもしません、しかしこの時局を最も有意義に克己シーズンとして、まづ家庭から消費節約の習慣を養ひ、或は俥代、電車賃など節約して得たものはこれを獻金させたいと家庭にも充分徹底させる方針をとつてゐます」と岡内校長のお話です

日記界大恐慌 無代贈呈の日記現る
今度も亦誠文堂の大活躍

最近流行の十錢均一のトップを切り、不況に沈淪してゐる出版界の革命的壯擧として熱狂的歡迎を受けた誠文堂十錢文庫は忽ち全國を席卷して一千萬部を賣り盡した今回誠文堂では同文庫一千萬部突破を記念して、最近完了した同社の十大全集を急遽增刷新裝して、どの全集のどの一冊でも皆一圓均一といふ出版界初めての試みを發表した。十大全集の中には、世界童話大系・櫻井忠溫全集、家庭醫學全集、將棋大全集等、非常なる盛況裡に最近完了したものを初めとして、同社のドル箱と稱せられる大日本百科全集等がありその他音曲全集、園藝全集、經營全集等本格的な全集であるツイ先日まで一冊二圓三圓した名著ばかりで、一冊だけ欲しいと思つても、全集であつたところから分冊されなかつたものも多いのでこの壯擧は正に讀書子の一大福音である。しかも、是等の名著は何れも皆五百頁より一千頁に至る大冊で、永久に溌溂たる清新の内容を備へ、書架に光彩を放つ豪華版である。特價にもせよ一冊一圓といへば世人はスグ圓本を聯想するであらふが、今回の全集特賣のものは大方一圓五十錢以上三圓位の品であつて、大道の古本屋に寒風を受けて二三十錢で亂賣されてゐるものとは異り、つい先日まで定價を固く維持し中には古本價値さへ生じてゐるものもあるのである然もそれに二大附錄として、十大全集百五十數冊中どの一冊を買つた人にも、昭和七年用の實用日記と、大好評で目下飛ぶやうに賣れてゐる誠文堂十錢文庫とを洩れなく無代贈呈するといふ。出版界はこの破天荒の壯擧に噴火口のやうに湧き立つてと云ふ誠文堂一流の宣傳と相俟つ「日記は景品にたゞで貰ふもの」て年末近き日記業界は一ト波瀾まぬかれぬであらふ。因みに同特賣は十一月二十五日より開始し、十二月三十一日迄で内容目錄は全國各書店又は東京神田錦町一丁目誠文堂へ申込めば、スグ送つて吳れる。

寒氣に馴れてから運動へ（下）
滿洲醫科大學教授　山口清治

滿洲のウインタースポーツと云へば、スケーチングかスキーでなければ他でもやる外はない。其の内で最も大衆化出來るものは、スケーチングである樣に思はれる。簡單に一人で出來る運動であるばかりでなく、運動其のものが全身的で緩急何れにもなし得る點は、夏の水泳に比すべきものである。脚ばかりの運動だなどゝ思ひ或は危險を云々するのは餘りやつた事のない人の考へである。水泳の樣な生命に對する危險は、薄氷の池でやる時の外は絕對に無いと云つてよいし、私など開始して以來十數年、尻餅をつく事、恐らく一千回を越えると思ふが、殆ど怪我と云ふ怪我を知らない、私は此體驗から如何なる人にかゝはらず之を試みやうとする人には、奬めて憚らないのである。

唯此點について私の甚だ遺憾に思つて居るのは。滿洲のスケートをする人達殊に學生達が、徒らに速力のみに偏して居る事であつて到底見込が無いと云ふ狀態になつて居ても、或は競走が身體に適しない樣な者までも、一律に、唯氷の上を走つて、速い遲いを論じて居る、國民性なのかも知れないが隨分間違つた話だと思ふと共に、特に私は此點を指導者である各學校の先生方に考慮してもらひ度いと思ふ。如何なる運動によらず個人に適合したものを選ぶ事によつて初めて意義があるのであるスケートでも、競走スケートの普及と共に、より緩和で、長續きのするフイギユアースケートがもつと利用される樣になると、冬の戶外運動スケーチングも、もつと有意義であり、大衆的となり得やうと思ふ。

滿洲は雪が少い代りに氷に惠まれて居る。戶外生活の興味ある一方法として、スケートの大衆化を希望する。

◇

滿洲の冬は、無風快晴の日が多い。家の中に居つては解らないがウインタースポーツをやるものは少くとも再三、春の樣な冬日和の惠みに感謝する機會を持つであらう、たとひ温度は低くても、雪に反射する美しい太陽と、煙も直立する無風狀態とは日本内地では餘り見られない事である。散步でもかまはない、雪見でもかまはない斯ういふ天氣を逃さずに外に出て心ゆくばかり大氣を吸ひ入れる事は理窟拔きに、第一氣持がよくは無いだらうか、身體さへ暖かくして居れば、冷たい空氣の肺に入る事は、此際害の無いものである。

一昨冬、私はベルリンに居て、ダルーネワルトと云ふ池にスケーチングに通つた事がある。其處の池に行くと、何時も老若男女驚くばかり出て居て、敢てスケートを穿いたものばかりでなく、見て居るものあり、散步するものあり、岸邊には簡單な食物屋、風船類の玩具屋、衣類車類借り屋などの出店がある。氷に反射する明るい太陽の光を浴びて、人々の嬉々として居る樣を見て、私は冬の氣持を全く失つてしまふのが當だつた。玆に於てこそ、眞に戶外生活の意義が徹底され、冬を完全に征服したものと云ふべきだと思ふ。

寒いながらも快晴に惠まれた滿洲に住む吾々である。精神的にも身體的にも、冬の戶外を利用しなければ嘘であり又利用すべき餘地が多々あると思ふ。

一 タイチヤン ハ ナンダラウト ジツト スイメン ニ ウカンデル クロイ モノ ヲ ミルト オホキナ コヒ

二 コヒ ハ オクチ ヲ パクパクシ ナガラ『オヂヨウサン オタスケクダサイ』ト チイサナ コエ

三 『オマヘ ドウシタ ノ』ト タイチヤン ハ フシギサウニ キクト コヒハ トツゼン トビアガ ツタ

四 ミヅノウヘ 一メートル モビ ヨントトンダノ デ コヒノシツ ポノ ナイノガ ヨク ワカツタ

大日本雄辯會講談社長野間清治氏は今回佛蘭西最高章レヂオン・ドノール勳章を授與された

滿日各地版

歳末氣分なんかは 微塵も見えぬ長春
アンペラ小屋の兵隊さんを見て 暮も正月もフツ飛ぶ

【長春】師走に入つて半を過ぎた長春は毎日降雪を見るが嘉村、長谷部兩少將の旅團待機中で軍隊町の感はあるがそれだけ歳末氣分といつたものは微塵もない、實際雪の中に零下二十度前後の酷寒の中に破れトタンのアンペラ小屋に馬と共に起居する着のみ着のまゝの兵士を目のあたりに見て忘年會とか新年會とかは愚か煖房に寒さを知らずに暮らすのが

勿體 ない位である、カンくに凍りついた靴でザクくと雪を踏みしめ乍ら銃を持つて徹宵警戒する歩哨の任務、此重大なる任務にある軍紀を思ふとき軍隊の有難さは如何に胸深く刻まれるかこれを惡用して自己の利益を滿たさんとするものがあればそれは國賊でなくてなんであらう齒科醫を訪れた兵隊さんの述懐に曰く、金を持つてゐても死に行く身にはいらんものだし、さりとて要のない金で齒痛を癒やして立派にしても駄目だけれど――さもうスツカリ

立派 な死を覺悟してゐる――だが大陸戰では齒が痛くて困つたからせめて生きてる間の苦痛でもと――斯うした兵隊さんたちで長春の齒科醫は大繁昌である、不幸軍籍に容れられなかつた私達はこれ等兵隊さんたちを無條件で愛し戰勝に際しては心置きなく勇者でありたいとして送る義務がある、雪に閉ざされた長春は暮れ氣分なんていらない、軍隊氣分で一パイだ、軍隊の力で在滿日支人の

幸福 と安心と平和とを作つて貰ひたいそれが全在滿居住日支人の欲してゐる正月氣分であらうと思ふと某氏は語つてゐたが恐らくこれは長春市民の大部分が持つ心持ちであらう從つて忘年、新年宴會などの計畫は何處へ行つても聞かれないやうである

可憐な二少女の 涙ぐましい美擧
感激させられる手紙

【本溪湖】十二日の夕方零下二十數度の寒さに然も尺餘の雪の中を二人連れの少女が本溪湖守備隊を訪れ次のやうな慰問狀に金八圓を副へて兵隊さんに差上げて下さいといつて立去つた、此の小國民の心情に對し秦守備隊長は感激の涙を浮べて居つた

日本と支那との衝突につきましてこのお寒い滿洲で何もかもわすれてお國のため私等のためにおはたらき下さいましてほんとにありがたうございます、此のぬくい家でいつもあたたかくくらしていけるのも皆兵隊さんのおかげだと思ひますとありがたくてたまりません、兵隊さんのことを思ひますと早く大きくなつてお國のためにつくさなければならないとかんがへておりますけれどもまだ小さいのでなんにもできないのがざんねんですそれで私等の出來ることでなにかしてへいたいさんに御恩かえしをしたいといつも考へて居りましたので國澤マサエさんに其のことをお話しましたら二人でお店の品物を賣つてその利益をためて兵隊さんに上げやうと考へつきましたのですぐとお父さんにそうだんして品物をかりて賣つてあるきました、そのもうけたお金の利益が八圓たまりました、此れをどうぞ戰地でおはたらいていらつしやる兵隊さんに上げて下さいませ、ほんのわずかですがお受取下さいませ、私等は兵隊さんのお健康をおいのりしております

本溪湖小學校尋四 小柳壽美代、國澤マサエ

映畫會を開いて 慰問資金を醵出
金州小學校同窓會の催し

【金州】到る處に慰問美談續出し出動將卒の慰問に當つては擧國一致熱中してゐる時、これは美しい慰問金捻出の計畫……金州小學校の同窓會では來る十八日午後六時半より小學校講堂に於て〈倉本少佐(五卷)〈大空の凱歌(五卷)〈チチハル(二卷)〈興安嶺高原の秋(二卷)〈懇倉(二卷)計十五卷の活動寫眞映畫會を催し會費として大人二十錢小人十錢を徴收することゝしたが、これは安價な會費の内から得た利益を以て酷寒幾十度の曠野において奮闘する我が將卒の慰問金並にその他時局に對して必要な事業基金として献金しやうと言ふ最も美しい然も合法的な慰問金醵出方法であつて、此の益金の分配方法は目下活躍を續けてゐる鐵嶺時局後援會に一任しやうと言ふ申出があつたので、後援會でも此の擧に大賛成し出來得る限りの後援を爲すことゝなつた

鞍山義勇團の神社參拜 下は市中行進

國際氷上大會へ 河村選手出發す
安東で木谷石原兩選手と同行 來る廿四日橫濱出帆

【奉天】明年二月米國レークプラシッドに於て開催されるオリンピック競技大會にスケート選手として滿洲から安東の木谷、石原兩君と一人舞臺に向ふ河村泰男君が出場することゝなり奉天で最初のしかも唯一人々に送られて勇ましく征途についたが同君は感慨に充ちた面持らで語る

スケート選手として日本からオリンピック大會に出場するのは今回が最初のことであります滿洲から出場する選手では安東の木谷、石原兩兄が居られるしこれと共に遠く米國まで行かれるのはこんな光榮はありませんこの上は勝つても敗れても全力をつくし大和魂のあるスポーツ精神を發揮したいと考へてゐます

尚一行の日程は左の如し

▲十二月十五日奉天(安東)發▲二十日大日本體育協會主催送別會廿一日橫濱海外渡航者檢査場にて身體檢査廿二日本聯盟主催送別會、出發迄の行動は一切監督の指揮によること(詳細は上京の節指示す)▲廿四日橫濱出帆(日本郵船、氷川丸)▲一月九日レーク・プラシッド着▲二月四日—十三日オリムピック競技大會▲十七日—二十日世界選手權大會▲二十日レーク・プラシッド出發ニウヨーク、ワシントン、シカゴ、ロサンジエルス、サンフランシスコ等を經て▲三月二十日橫濱歸着

送別氷滑大會
安東で擧行

【安東】日本が生んだ世界的氷滑選手木谷德雄、石原省三兩君の送別氷滑大會は十三日午後一時より六道溝リンクに於て催されたが此の日數日來の寒氣もやゝ緩まり絶好の日和多數の來場者あり木谷、石原兩君の今年最初の滑走振につつりと見され午後二時半頃大盛況裡に終了した尚兩君は奉天の河村選手と安東にて一緒になり十五日午後五時二十五分發にて出發した一行は十二月二十日東京松坂屋貴賓室に内地選手と共になり同日大日本體育協會の送別會に臨席し廿日橫濱にて體格檢査を受け二十四日其の名もスケート選手に相應した氷川丸に便乘晴の舞臺に向ふ事となつた

○○大隊着營

【營口】高田第○○聯隊第○大隊は十五日午後二時四十五分遼陽から來營驛頭には荒川領事、門間所長、林署長、樋口在鄉分會長その他市民多數の出迎者あり直に隊伍を整へて所屬隊に合すべく行進を起した各戸には國旗を掲げて歡迎の意を表した

消費組合の撤廢 長春からも請願
關係方面に請願文提出

【長春】長春商店協會では十二日午後七時より輸入組合に於て輸入組合の幹事會を開催したが滿鐵消費組合及關東廳吏員購買組合の撤廢に關する請願書を滿鐵總裁、關東長官、關東軍司令官に提出することゝして散會した、その請願書は左の如し

滿鐵社員消費組合及關東廳吏員購買組合の存在が在滿小賣邦商に與ふる影響の甚大なるものあるを以て當業團體は大正九年以來これが撤廢を叫び要路に請願せること一再に止まらず本問題は經濟的、理論的解決策の範圍を超越し滿洲に於ける重大なる社會問題として喧囂の裡に胎され今日に及べり、我國は今回の時局を劃期として徹底的に對滿蒙諸懸案を解決し日支共存共榮の下に國家百年の大計を確立せんとする今日これが一大障害たる兩組合は官民一致滿蒙發展に邁進されんとする此際速かに撤廢せしめられんことを望む、右本會の決議に依り及請願候也

奉天スケート場 廿日リンク開き
夜間照明設備も完成

【奉天】奉天國際運動場スケートリンクは數日來の寒氣で愈々完全に結氷したので來る二十日午後一時より左の如く盛大なるリンク開きを開催することゝなつたがリンクは夜間でも使用出來るやうに二千四百燭の照明も完成したと

◆競技種目(一)スピード選手男子五百、千五百、五千、一萬、女子五百、千五百、三千、一般競技(小學生をも含む)男子五百、千五百、女子五百、初心者競技男女共二百、四百、リレー二千(二)ノイギユアー模範競技(山口博士夫妻)武田二郎、谷戸通照

◆申込期日その他 十八日午前中まで氏名、年齡、種目所屬を明記し運動場内受付まで申込まれたい但入場無料

鞍山義勇團 市中を示威行軍
十五日第一回の總會

【鞍山】一朝有事に際し全鞍山警備のため鞍山時局委員會において募集した鞍山義勇團七百數十名の役員及び各機關の編成を了したので十五日午後一時より驛前廣場モーターサイレン塔下に於て第一回の總會を開催したが、出場者實に三百數十名に達し林團長發會の挨拶あり終つて警備班を先頭に長蛇の列を造り市中を示威行軍なし鞍山神社境内に整列して神前に於て莊嚴なる結團式を擧行したが林團長は宣誓文を嚴かに朗讀し萬歳三唱して解散したが宣誓文左の如し

滿蒙に於ける時局多難の時に際し鞍山市民有志は義勇團を組織し非常時に備へ結團式を擧げたるに當り茲に他日の奉公を神前に宣誓す

鞍山義勇團長 林 清勝

門松を廢して 軍隊を慰問

【營口】千代田町内會では新年の門松を廢して駐營軍隊の慰問金に當つることゝし献金八十五圓を地方事務所を經て贈呈した

腕章に『共産』
八家子附近の馬賊團

【鐵嶺】昌圖縣公安隊長は公安兵騎兵三百名と歸順馬賊二百名を率ゐ去る十日金家屯附近の馬賊討伐に出動金家屯南方十二支里八家子附近一帶に於て屢々馬賊團と遭遇激戰を交へたるが十日以來十五日までに大頭目天樂の部下九名與字部下七名同馬好九龍占中冠等の部下十一名を射殺し意氣昂然たるものあるが同地方の馬賊は何れも腕章に共産の文字を記し一頭目毎に赤地に護國大隊帝國主義打倒と記せる白旗を掲げてゐると

安奉沿線に 馬賊團
守備隊出動

【安東】十三日午後四時半頃安奉線林家臺南方一千米の地點に三十名乃至四十名よりなる馬匪賊の一團現はれ附近部落に於て掠奪を逞うしてゐる爲め同地自警團を督勵してこれと應戰中折柄同地に來合せた玉識軍曹も共に協力彼我銃火を交へ敵を敗退しつゝあつたが急報に依り鷄冠山守備隊より將校以下四十餘名直に現場に出動匪賊の掃蕩を爲す事となつた匪賊より蒙つた被害は附近電線が切斷されたが直に修理復舊なつた

龍王廟に馬賊

【安東】鴨綠江下流大孤山方面は最近馬匪賊の橫行甚だしく附近部落民は不安に驅られてゐるが十三日の午前大孤山より僅か離れたる龍王廟に李小樓を頭目とする二百名よりなる馬賊の一團現れ同地自警團詰所を襲撃し銃器四五十挺を強奪し歸路に驅つて大孤山、黄土坎を襲撃せんとする形勢あるため大孤山警官派出所駐在巡査は自警團と協力し目下嚴重なる警戒をなし馬匪賊の來襲にそなへてゐる

通遼の賊團
歸順を申込む

【鐵嶺】通遼附近に蟠居せる賊團は約四千と觀られてゐるが最近使者を法庫門に派し縣長に對して鐵州軍騎兵第三旅に歸順方斡旋を申込みたる由にて縣長もこれを快諾卽時旅長に取次いだ結果三旅でも斯る大部隊の歸順は大いに歡迎し歸順せしむる腹のやうである、然し彼に歸順せる馬賊は目下康平方面にあるが歸順前と同樣各村落に於て盛んに掠奪暴行してゐると

桑林子に賊團

【鐵嶺】十三日新臺子西方桑林子に於て馬賊頭目二三名が集合し新臺子襲撃に關する協議を遂げ近く實行する計畫を定めたりとの情報あり目下嚴戒中であるが賊團は聯合軍で約一千ありと

數十名の匪賊

【鞍山】十五日鞍山警察署の情報によれば海城縣警察施設區警察和聚燒鍋方使用人二名が馬車二臺で十二日同地より西方約十五六支里の地點通行中突然匪賊約十名に襲撃され衣類其他を掠奪されたが賊は附近部落民より馬車五臺を掠奪した處を麝警察官三名が發見し僅か三名を以て地物を利用して猛射を浴せたので賊は狼狽して馬二頭、牛一頭を放棄し西方に潰走したがこの賊團は目下海城縣馬衛權にある頭目高漢賓の一味でないかと云はれて居る

三名の遺骨
奉天に歸る

【奉天】去る十三日遼河上流で名譽の戰死を遂げた青森歩兵第五聯隊上等兵太田助作、一等兵川原仁太郎兩勇士の遺骸は十五日奉天に歸着した

負傷兵轉送

【遼陽】遼陽衞戍病院に收容中であつた負傷兵廿七名は十五日朝發列車で新鐵嶺山衞戍病院に輸送した

行方不明中の 兵士死體發見

【長春】先月二十四日鄭家屯方面において兵匪討伐中行方不明となつた歩兵第○○聯隊の上等兵辻三喜雄氏の死體は發見されたので十三日午後一時着列車でその遺骨が到着、同二時發で目下吉林駐屯中の本隊並送十五日原隊で告別式後十六日午前八時吉林發で本壤に送られる筈だと

◇取消 十三日附本紙地方版時局を種にして一攫千金の惡夢、こんな事を繞つて利權屋の醜策動なる見出しの記事中撫順東七條三七石炭商永泰號こと古川村雄(別名和利)及その他の者の策動云々は事實相違の點ある旨本人より申込みありたるにつき全文の記事を取消す【長春】

沿線往來

◆宇佐美奉天事務所長 十五日大連より歸奉
◆戸田鮮鐵局長 十五日安奉線急行にて來奉
◆朝鮮總督府中村氏 同上

蓋平自治執行委員會發會式

【大石橋】從來軍閥政治の橫暴なる脅威から逃れ新政權の下に一陽來復蓋平自治執行委員會が本日呱々の發會式を擧げた　岩田獨立守備第三大隊長、林營口警察署長、大石橋警察署長代理林警部補、大石橋地方事務所長代理齋藤準一郎、齋藤憲兵隊長、熊岳城東海林第一中隊長、蓋平守備隊伊藤中尉、大石橋電燈愛甲庶務小林才治氏等來賓多數降車するや自治執行委員會より差廻されたる二十餘臺の馬車に分乘騎馬警備隊の先導に蓋平縣市民の歡迎を受けつゝ威風堂々縣公署會議事堂に入るかくて午後零時半より左記式次により莊嚴にして滿洲施政史の一頁を飾る發會式は擧げられた

開會禮序

一、振鈴開會全體入場
二、作樂
三、指導委員致開會詞　笹山指導員
四、指導員致宣言訓詞　景山指導員
五、自治指導部代表致訓詞　[illegible]
六、委員長就職宣言　辛縣知事
七、各委員就職宣言　楊慶春
八、各處長就職宣言　侯國良
九、各區委員就職宣言　陶安恩
十、來賓致祝詞　岩田大隊長、林營口署長、高法院長
十一、閉會
十二、作樂
十三、撮影記念
十四、宴會

日支各要路人士交々酒間和氣靄々裡に將來自治執行計畫を物語り盛大裡に午後三時半引揚げた

長春　守備兵の募集

吉林省政府では吉長吉敦鐵路管理下の鐵道守備隊編成後吉林、長春公主嶺等でその守備兵募集中であるが時節柄應募者も比較的少く引續き募集中なるも十四日には取敢す小隊長金萬榮君の引率で二十一名の新兵が吉林より着長城內の守備隊兵營に入つたがこれから訓練が行はれる筈

北關雜報

▲日本の滿蒙政策を理解してゐる支部人は政友會單獨內閣の出現を非常に歡迎してゐる、より以上積極的であらうことを知つて、事實將來の積極的行動は支部人をどれだけ安心させるか想像外であらう

▲內閣更迭で銀は一躍十圓以上を跳ね上げたが出廻期に入つてゐる特產界に投げる影響は蓋し大きからうと、大喜びは百姓たち只兵匪の橫行が頭痛の種らしい

▲長春花柳界總出の軍隊慰問長唄溫習會は待機で無聊を感じてゐる軍隊のためには何よりの催しで十三、十四の二日間文字通り兵隊さんで押すな〳〵の大盛況

▲長春在鄕軍人分會員及長春警察署員百餘名は十三日長春飛行場を見學したが今川大尉の說明、神崎中尉操縱、平田隊長同乘の機銃射擊、勝岡大尉操縱、大西大尉同乘の爆彈投下演習實施、壯絕快絕々零下十七度の寒さなどは吹き飛んでしまつた

▲鐵道守備隊司令部は司令官が市政籌備處長吉長吉敦鐵路局長金璧東氏あるため長春に設置されてあるがこれがため十四日吉林より守備兵の武裝軍器として小銃一千挺彈丸十萬發が到着し着々と守備隊は充實されて來た

奉天　林女史講演會

林、久布白兩女史の來奉天における講演會は十七日午後一時から滿鐵社員俱樂部に於て開催されるが演題は林女史「日本より來りて」久布白女史「時局に對する婦風會の態度」で入場無料多數來聽を歡迎すると

安東　政變と安東

今回の政變に依る政友內閣の出現は安義兩地平民に對し尠からぬ衝動を與へ殊に財界好轉の樂觀氣分をさへ濃厚ならしめてゐるが就中政友會と昭和製鋼所問題を結び付けて、山本前々滿鐵總裁が製鋼所を新義州に設置し多獅島築港を計畫したるに對し、反對黨民政內閣は動もすれば之を否定し在野今日に立至つたのに鑑み政友內閣に依り直に右計畫は實行さるべしとの豫想をなす者もあり、最近昭和製鋼所の見込み薄なるに對して悲觀して居た土地思惑者など至つて夜逃さへも餘儀なきまでに至つて居たものも一時に甦生の思ひして昭和製鋼所の實現近きにありとの觀測をなす者が多い

藝妓贈答廢止

遊廓方面の藝妓酌婦連中は年末、年始になると仲居、髪結其他の者に若い中た贈答品を爲すが今年は時局の關係もあり不景氣も深刻である爲め安東警察署に於ては近日中に組合に對し穢酌婦の年末年始の贈答は絕體に廢止する樣通達を爲す筈であるが此の監督は一つであり每年當局に於ても組合に對し通達するが一向あらためないので今年は是非廢止を實行せしむる意嚮である、これが徹底すれば彼女等も一つの惱みが除かれた故である

遼陽　大會經過報告

遼陽の日本人會支部では十五日午後二時から地方事務所會議室に於て理事會を開き生田特別委員から過般奉天で開催された全滿日本人會特別委員會に於ける經過報告をなし經費負擔額捻出方法につき協議する處あつた

社員會幹事會

遼陽滿鐵社員會聯合支部では十五日午後一時から幹事會を開き政變に依る正副總裁の更迭阻止要請につき協議大連本部に此旨打電した

婦人會發會式

遼陽居留民婦人會では十五日午後一時から民會事務所で發會式を擧行した

兒童慰安映畫

滿鐵地方課主催の第四十四回兒童慰安活動寫眞は十八日午後一時から小學校講堂に於てプログラムは左の如くである

▲實寫鯖網と鮪船一卷▲喜劇お轉婆サリー一卷▲科學電燈二卷▲漫畫空の桃太郎一卷▲教訓劇此の子を見よ四卷

自治懇談會

[illegible]兩氏は十七日午後五時半から滿鐵社員俱樂部樓上に於て遼陽縣自治執行委員會指導員副島、小島、長田三氏の紹介を兼ね日本人側有志と懇談の爲め遼陽、鞍山等の有志を招待した

鞍山　記者團慰問隊

鞍山新聞記者協會總代遼鞍野尻、奉日野村、滿日內野の三氏は洮南及び昂々溪に出動中の鞍山獨立守備第六大隊の將士慰問の爲め十五日午後六時三十五分發列車にて出發した

留守隊を慰問

鞍山製鐵所では右近庶務課長を以て總代とし十五日守備留守隊並に憲兵分遣隊及び警察署を訪問し時局に對する辛勞を慰安し清酒及び菰酒を贈呈した

營口　婦人團映畫會

營口婦人團聯合會主催で來る十八日晝夜二回に亘り「愛國の母」映畫會が催し晝は軍隊の慰問夜は大人七十錢小人十錢を受け收入の半分は軍隊に殘り半分は同會の活動資金に當てる筈なりと

遼河再び流氷

數日來の寒氣襲來により遼河上流田莊臺附近一帶は結氷したるが十三日來寒氣緩みたる爲再び流氷狀態に入り目下大氷塊が流下して居る

普蘭店　各部局長申合

十二月十五日午後一時より民政署會議室に於て當地各部局長の會合を催し新年互禮會其の他に就き協議した結果時局柄忘年會新年宴會年末年始の贈答は之を全廢する事に決定し各部局長より夫々一般に之を周知せしめ普蘭店全住民は精神的に一團となつて奧地に於て出征苦缺乏を忍ばれつゝある方々と其の氣分を同じうし併せて生活上の餘剩を生み何等かの慰問方法を講ずる事に申合せをなした例による正月元日の新年互禮會は會費を三十錢に引下げ交換名刺を作製し冷酒を酌み萬歲三唱して式を終る程度になす事に決定した

紅裙隊出動

お馴染の當地料亭遊樂館は作戰上の都合により今度旅順新立町に移駐する事になり紅裙隊一同は十五日限り當地を引上げ旅順に向け出動離營した

金州　高木氏歸鄕

金州における果樹園業者の草分ともいはるゝ南山園の高木熊三郎氏は家事の都合により來る十七日午後六時家族引纏めの上歸鄕する由

城外城裡

金州婦人會では滿洲事變に依る戰死者、戰傷者、警察官、在滿避難鮮人同胞の慰藉救濟金として寄附金を募集するさ

金州郵便局では例年の通り來る二十日から年賀郵便の取扱を開始するが二十九日を以て締切る

◇

十五日金州時局後援會宛無名を以て五圓の寄附を爲した篤志家があつた尚金州郵便局員有志からも六圓二十錢の自發的寄附があつた

◇

民政署の倉田忠次君は十五日午後四時京都野砲兵聯隊へ入營の爲め出發したが驛頭五百餘名の見送人あり其の行を壯んにした

旅順　陸戰隊の演習

在滿第十六驅逐隊朝顏、芙蓉、刈萱陸戰隊百三十名は岩橋大尉總指揮の下に十五日午前九時半より迎橋より水交社に亘り市街戰演習を行ひ輕重機關銃の響き物凄き劍光に市民を驚かしつゝ攻擊軍は逐次防禦軍を壓迫し水交社附近に進出したが前日來徹宵築き上げた三ケ所の土嚢より頑强なる抵抗を試みアワヤ白兵戰に移らんとする際同十一時五分休戰となつたが演習後岩橋大尉より講評を行ふた

溫突から出火

十四日午後五時三十分頃旅順新市場賃貸商張世賢方の溫突より出火同三十五分鎭火したが損害僅か三圓位で保險は帝國火災に物品四千圓、家屋に三千圓附してあつた、原因は焚き過ぎから

獻金

金百圓矢幡謙治、累計千三百三十圓也

第二の反抗（105）

三宅やす子　阿部金剛畫

女同士（九）

佐枝子の久し振りでの上京は、勿論兩親に逢ひたいことも理由だつた。東京の風景――歩きなれた銀座の鋪道を、輕快にふんで見たい。邦樂座で映畫を見たい。松屋、松坂屋、三越の秋の着尺に氣に入つたものがあつたら買ひ度い――住みなれた東京への執着はいろ〳〵あつたが、彼女のアランの中に、あからさまに入れないで、しかも實は、あらゆる「東京の執着」以上に、見えない力で彼女に迫つてゐる執着は、久々で察一にも逢へる、さいふ一事だつた。

實家の兩親は、彼女を下にも置かぬやうに、もてなしてくれた、父も母も、彼女の居ない後は、さても淋しかつたと云つて、涙ぐましいやうなよろこびやうだつた。

丁度、兄の察が東北大學から歸つて來て居た。東京に用事があつて出て來たのださ云つて、折よく佐枝子に逢へたことを喜んでくれた。佐枝子も、思ひ懸けなく、兄に逢へたのは嬉しかつた。

が――その兄は、彼女に、嬉しくないことを聞かせてくれたのだ。

「佐枝ちやん。察一君から、便りはあつたかい？」

「イヽエ。なあぜ」

佐枝子は、兄の方から切り出してくれた察一の話に、胸を轟かせ乍らきゝ返した。

「佐枝ちやんのところには、時候見舞位出すのかさ思つたから――」

「よこすもんですか。あのひさ、さても筆無精ぢやないの――」

「筆も無精、足も無精になつたと見えて、此頃さつぱり、此處へも寄りつかないつて、お父さん憂慮つてゐるんだよ」

「…………」

「お母さんは、案じて、はがき位出したらしいんだ。それでも、返事一つよこすぢやなし、僕が歸つて來てゐるのを、僕も通知したから、知つてる筈なのに、訪れても來ない」

「まあ――ぢや、兄さん、まだお逢ひにならないの？」

「あゝ」

「だつて――」

佐枝子は、一寸考へて

「向ふがそんない無精なら、兄さんの方から一度位訪れたつていゝぢやないの」

「ところが、訪れたつて居ないんだよ――おまけにいつ行つても居ないさ來てる――」

「…………」

「下宿のおかみさんの話ぢや、まるで此せつはお變りになりましたつて――夜分さても遲くでなければ、お歸りになりませんから、お待ちになつても無駄です、と斯樣にふんだ」

「…………」

「眞面目な男だつたんだがれえ――酒だつてのめなかつたのに、變るもんだれ。佐枝子夫人の上京を機會に、一遍、飯にでもよんだらどうですかつて僕母さんに話したんだが、お父さんが、よせ、よせよけいな事、つて聽こなしに、さても御機嫌が惡いんだ」

「それや、お父さんなら――あの頑固やさんですもの」

佐枝子は、寂しく頷いた。

吉敦線で三百の兵匪 拉法驛を襲撃占領す

更に蛟河驛へ進軍中

十六日午前十一時頃約三百名よりなる兵匪が吉敦線拉法驛を襲撃し一部は驛を占領、一部は蛟河、拉法間の橋梁を破壊し更に軌條を取外して蛟河驛を襲撃のため進軍したなほ拉法以東は電信、電話線全部を切斷されたるため通信の途無くその後の情況不明に就き吉敦鐵路管理局においては吉林駐在の日本軍に對し急遽出動方を目下交渉中である、因に吉敦沿線は積雪深く兵匪討伐も頗る困難と觀られてゐる【長春電話】

鄭通全線に亘って 驛その他破壊さる

兵匪が我軍撤退後に

鄭通線は十一月上旬日本軍撤退以後支那兵匪のため各驛の建物は勿論線路、給水タンク、井戸、石炭臺等殆ど全線に亘って破壊されてゐる、而もそれらは頗る專門的に處置されてゐる點より觀て北寧鐵路從事員の手によってなされた所業は間違ひのないところである、而して右は同沿線の錢家店及び通遼西方のわが華興公司兩農場に從事する內、鮮人數百名の安否に係る大問題である、左にその專門的破壊狀態を列擧すると

一、鐵道線路

A、鄭家屯、大林間破壊個所數個所延長一千杆、大林、錢家店間數個所延長三杆、錢家店通遼間七個所延長十六杆

B、破壊個所の枕木は全部集めて燒却し、レールはその附近に埋沒したものか他所に運搬したものか不明でレールの姿は見えない

C、築堤　比較的高い場所を選び約一米の割合コンクリートで數個所に障害物を設けてゐる

D、通遼驛構內の線路の三分二は撤去せられ枕木、レールなし

二、給水塔、ポンプ及びボイラーは大林、錢家店、通遼とも木部は燒却しその他は破壊し燒却、破壊し得ざる部分は土砂を充塡してゐる

三、給水井戸　大林、錢家屯、通遼の給水鐵管、給水井戸何れもセメント、モルタルを投入してゐる

四、石炭臺　大林、通遼とも燒却破壊してある

五、通遼の貨物倉庫、驛の建物、官舍、建具、什器を破壊してゐる【奉天電話】

共産軍行動活潑

漢口漸く不安となる

【上海特電十五日發】漢口來電によれば共産軍は內政不安に乘じ各方面に愈々活潑なる活動を續けてゐるが孔賀龍軍約二千名は去る三日武長鐵道沿線の新店を占領し同地に在って寢返った、新編第十二師袁英の一部とともに六日には蒲圻縣城を包圍した、武漢行營では急報に依り第四十四師蕭之楚の一連を同地に急派したが、右部隊は新店西北方の洪華にある賀龍第六軍の約半個師と聯絡してゐる爲め武長鐵路は今や中斷される形勢となった、而して共産黨は孝感、皁市、天門附近、陽新、黃安等の地方軍要都市を占領してソウエート政權を樹立し着々勢力範圍を擴張してゐる爲め武漢は今や百キロ內外の圍を畫き彼等の爲に脅威を受け不安漸く濃厚となって來た、武漢行營では同地にある第四師劉桂堂、第十三師夏斗寅、第四十四師蕭之楚、新編十二師袁英の兵を以て嚴重警戒をやってゐる

共産軍漢口を包圍

【漢口十五日發】當地方にある共産軍は最近の內政不安に乘じ愈々活潑に活動を開始し漢口は今や共産軍包圍の形である

戸外へ！戸外へ！　鏡ヶ池のスケート

匪兵營口に向け進擊

河北驛附近で皇軍と交戰

十五日午後三時頃田上臺附近に約二六名の兵匪現はれ突如營口に向って進擊を開始した急報に接した營口駐屯隊は遼河をわたり河北驛附近においてこれと交戰中である【奉天電話】

朝鮮赤十字 派遣班

近く滿洲へ

【京城特電十六日發】事變突發以來わが軍の戰傷病兵は多數に上り各地にある衞戍病院や野戰病院は大多忙を極めてゐる折柄十四日東京赤十字社本部から朝鮮本部に對し召集準備をなせの電命があり同本部では直に派遣班の編成に着手したが大體醫師二名、看護婦二十名をもって一ケ班を組織し一兩日中に出發することになった

京城の女給が 慰問袋一千個

【京城特電十六日發】京城の各カフエーの女給約四百名は滿洲における皇軍の奮鬪に感激し相談の結果十月末からサービスの報酬を貯めて一千個の慰問袋をこしらへてゐたが出來上ったので近日中に朝鮮軍を通じて出動兵士に贈ることになった

廢業による失業が 物凄い勢で增える

就職戰線總決算

滿洲事變と經濟界に一エポックをつくる金輸出再禁止斷行さの大きな罪みやげと殘して暮かゝる昭和六年も餘すところ半月足らずとなったがせつぱ詰った不景氣色は年を逐ふて上塗されるばかりで益々色濃くなっただけのこと試みに大連市立職業紹介所の年末統計から拾ってみれば——

◇

本年は求職者、求人數、就職者三つとも昨年に比べてぐつと少いのが眼立つ、本年一月以向十一月までの求職者合計が男女千五百七十七人に對し昨年は十二月までだが男女千九百三十三人といふ數字が出て居りこれは就職戰線も沈滯動かなくなったことを示すものだ師走になって少しも變ったことはない、例年歲末にルンペンの淡い賴みとする歲末賣出し繁忙期の臨時店員臨時傭の求人さへ本年は求だになく紹介所は拍子拔けの態

◇

紹介所統計係の失業原因調査欄を覗けば不景氣の魔叉を頸筋に感じたやうにゾクッとする、雇主營業廢止による失業が一昨年二十四名昨年八名とあったものが本年は一躍四十一名に激增、本人の業業廢止による失業が亦一昨年十七名、昨年五名のところが本年は四十四名に激增した、求職者全體に對する率からみればまた遙かに大きい

◇

毎年總求職者の四割前後を占める內地渡來の求職者が本年になって男子が非常に減り之に反して婦人渡來者の倍加せることが著るしい傾向を現してゐる、本年男子求職渡來者は四百五十五人に對し昨年は六百四十一人だ、ところが婦人は昨年六十五人から本年百四十九人に倍加してゐる、今まで滿洲に行けば何とか仕事にありつけると漫然內地から來た男達も何處も同じ滿洲の夢醒めて考へ直すことゝしたのだらうと紹介所では觀てゐるが、女ならばエロサービスでもと求職開拓に押しかけるので求職婦人來滿者は多いのだと

今シーズン大連スケート界

大連スケート會では十六日午後三時より大連市役所樓上に於て市役所側より加納、栗栖兩氏與與會より松原、淺野兩校長、市中側より滿洲に協林田主事、滿鐵體育係高橋俊夫氏、遞信局運動部幹事、大連、滿日兩社記者參集の上、本年度計畫及び日程に關し協議會開催の結果鏡ケ池は既報の如く從來の二個のリンクは兒童遊園地新設のため一周二百五十米のリンク(ｒ部にホッケーコートを含む)に改め又會員組織(一般五十錢、中學生三十錢、小學生二十錢の豫定)となすことゝなり春日、彌生兩池のリンクは從來通りとなし、スケート會主催大連新聞後援の恆例大連スケート大會は一月十七日開催する事決定午後四時半散會した

乾新兵衞氏は 懲役一年六月

【東京十五日發】乾新兵衞氏に對する渡邊、康乘取事件に關する背任事件公判は十五日午後六時二十分金澤檢事より乾氏に對し懲役一年六月の求刑があった

慰問金を寄贈

大連市西公園町東家錢莊主首藤定氏は軍隊慰問金に一千圓警察官慰問金に五百圓、播磨町四六山本不三二氏は軍隊慰問金に二百圓、貧民救濟費として五百圓、星ケ浦小松臺二〇常深隆二氏は軍隊慰問金に二百圓、傷病兵見舞金に五十圓、警察官慰問金に五十圓、楓町四〇三崎市太郎氏は軍隊慰問金に二百圓傷病兵見舞金に百圓、南滿瓦斯會社有志は軍隊及警察官慰問金として百圓を十六日それぞれ寄贈した

新春の附錄

寫眞入りカレンダー 月極讀者に限り贈呈

わが社では既に社告した如く本紙新年附錄として昭和七年の實用カレンダーを月極讀者に限り贈呈することゝなり、目下印刷を急いでをりますが、第一回(一、二、三月分)配布のものは新年勅題『曉雞聲』に因んで特に意匠を凝らした臺紙に、鮮明な滿洲風景寫眞を取入れた裝飾と實用とを兼ね御家庭用として最もふさはしいものと確信いたします

滿洲日報社

滿洲省委員會の 殘黨四名檢擧さる

奉天のアヂビラ配布で足がつき 十五日記事揭載解禁

中國共産黨中央委員會の指令に基づいて活動してゐた中國共産黨滿洲省委員會は本年六月奉天支那側公安局の手によって殆ど一網打盡的に檢擧されたが、その際巧に踪跡を晦まし檢擧の手を免れてゐた一派は再び滿洲省委員會組織をなしたまゝ滿洲事變に遭遇し期を得たとばかりに排日及不平等條約撤廢の旗幟を揭げてアヂビラを配布してゐるを去る十一月廿一日滿鐵附屬地國領事館前路上で城東憲兵分隊の柳澤軍曹が發見、連行取調べた結果、彼等一味の不穩行動が判明、事件は十二月十三日遼陽高等法院檢察局に一件書類と共に移送されたが十五日に至り記事の解禁を見た

人心を動搖させ 革命を企圖

日支衝突事件を機に 再建委員會の內容

十一月廿一日午前十一時四十分頃一城東憲兵分隊柳澤軍曹(當時伍長)が管內警行中滿鐵附屬地ソウエート領事館前路上を徘徊する擧動不審の二名の支那人を見とがめ身體檢査の結果、激烈なる排日アヂビラを發見直に分隊に同行、嚴重取調べたところ右は中國共産黨中央委員會の

指令を 受けたる同黨滿洲省委員會宣傳部委員安徽省生れ楊子雲(二七)同兵士工作部長湖北省生れ黃雲勝(二七)であること判明した、本人らの自供により翌二十二日午後四時ごろ滿鐵附屬地三經路楊子雲方に張込中同黨滿洲省委員會長兼書記、江蘇省生れ張蒙敬(二六)を逮捕するに至り再び關係者全部を嚴重取調の結果、更に翌廿三日午後六時滿鐵附屬地において同黨滿洲省委員會宣傳部長河南省生れ劉一成(二一)を逮捕し以上四名を訊問の結果、再建せられたる滿洲省委員會の活動が判明するに至った、卽ち滿洲省委員會は同黨委員の手によって本年六月再建せられ設立後日尚淺くその

活動も 未だ目覺ましくはないが、再建委員は委員會の擴張と促進をはかり滿鐵における無產階級層に漸次浸透これが細胞化せんとしてゐたもので、每月一回乃至二回あて小西邊門外、瀋陽公園に集合し、これが宣傳及び鬪爭の方法につき研究討議し、十月中旬から前記楊子雲宅にアヂトを移してこれが秘密集會を行ってゐた而してその宣傳方針は排日思想及對外不平等條約撤廢を

高唱し かれて軍閥鬪爭反對を主張するもので、たまたま日支事變を契機として、その活動を猛烈ならしむべく、これが宣傳方法としてビラを毎週一回乃至二回發行し、その數既に二十七回に及びこれが主觀を激烈なる排日において日本軍の殘虐行爲(虛妄なる)並に帝國主義侵略の暴露を列擧したものである、かくて人心を動搖せしめ、この間隙に乘じて革命の烽火を擧げんと計畫し事變後その宣傳文のみにても日支兩文を以て作成した數十通のものを所持してゐた

滿洲省委員會の組織

滿洲省委員會の組織は組織部、宣傳部、兵士工作部、婦女部、職工運動部、少數民族部、交通部などに分れ更にハルピンに北滿特別委員會を龍井村に東滿特別委員會、關東州に南滿特別委員會などありこれら委員會のもとに更に縣委員會、部委員會更に各地方支部を設け極秘にして堅固なる細胞組織となし、その組織內容はいづれも滿洲省委員會の組織機構と同一となす豫定で着々黨員獲得に努めてゐたもので、事を未前に防止した點次の檢擧は城東憲兵分隊の大なる功績と稱へられてゐる【奉天電話】

珍らしい 列車事故

櫻號立往生

【靜岡十五日發】十五日午後零時四十五分東京發櫻號が二時四十二分御殿場西方二粁の地點に差し掛った際後部機關車の車輪が突然脫落し進行不能となり約一時間立往生しそのため續いて來た富士號も遲延したが、かゝる事は我鐵道始まつて以來のことで原因取調中である

赤十字副社長 近く辭任

【東京十六日發】日本赤十字副社長阪本釤之助氏は近く辭任に決定した

京城乘馬クラブから獻金

【京城特電十六日發】京城乘馬クラブでは出征軍馬の慰問をなすべく……

斯波、伍堂兩氏東上

滿鐵技術局長斯波博士及び伍堂理事は二十二日出帆のばいかる丸で東上の豫定

體育ボール優勝楯

大連市役所主催、本社後援の體育ボール大會優勝チームは優勝楯完成に付き至急代表者は市役所總務部に出頭受取られたしと

事變以來出動軍人及び警官に對する慰問袋は各方面から續々送附され事變に對する輿論の如何に白熱化したかを如實に示したが傷病兵に對しては兎角手がまはり兼ねてゐた。

……◇……

敵前に身命を賭する勇士に對しては全國民の感謝が注がれるのが當然であるが不幸敵彈に斃つき或は酷寒に凍傷を受け手足を切斷せねばならぬ氣の毒な勇士の多いことを忘れてはならぬ。

……◇……

之等傷病兵の見舞に赴いた滿鐵社員から與に勇士連の慰安なき入院生活を聽取した滿鐵社會課長の安東盛氏、すつかり感激してしまつて早速大連圖案家に依頼して在滿圖案家に激を飛ばした。

……◇……

すさみ勝ちな傷病兵の氣分を和らげ日々の無聊を慰める爲めへ粗末な鉢一個でも草花一株でもよいから之等勇士の室に贈つて慰めよう。【カットは滿鐵の記念スタンプ】

曙の鐘 (141)

倉田潮 作 / 河野想多 畫

忍び逢ひ (二)

お夏とお露の前に現れたのは、由太郎一人だつた。

由太郎は嬉しげに笑ひながら、お夏のそばに身を寄せて坐つた。

「遲かつたわね」とお夏はその小さい手を取つて、盃を持たせ、酒をつぎながら云つた。「淸二郎さんはなぜ來ないの」

「少し用事がありまして……」と由太郎は言ひよどんだ。お露はそれを聞くと不快な顏色を浮べて

「用つて、外のお客に出てゐるんぢやないの」

「いいえ」

「では、用つて何なのよ」

「何だかよく知りませんが、夕方から御友達と出て行つて、まだ歸らないのです」

「嘘を云つてはいけないわ」と男を餘り知らないお露は淸二郎が遲いのにムシャクシャして、お夏の前も忘れて烈しく云つた。「夕方內を出る時電話をかけたら、ちやんとゐるつて云つたぢやないの」

「私、知りません」

「しやあ〳〵してるよ此の人は」

「まあ〳〵御靜かに」とお夏が大樣に仲に這入つた。「私、呼んで來てあげるから」

敏捷に立ち上るとお夏は驚いて止めるお露の言葉を後に聞いて階段を走せおりた。が、電話口まで行つても自分では受話器をさらないで、這入つて來る時心附けをやつた女中を呼んで貰ひ、番號を敎へて淸二郎に早く來るやうにとかけて貰つた。そしてその間に不淨へと、暗い長廊下を小急ぎに步いて行つた。

この「勢」と云ふ家は維新の當時西鄕隆盛や坂本龍馬なぞも時々出入りしたこともあると云ふ時代つきの家で、結構が非常に大きくまた古かつた。

お夏は其の長廊下を急いで步いて行つたが薄暗がりですり合せた若い女に驚いて思はず步みをゆるめた。今角から出て行き逢ひになつた女は確に朋輩のおよりだつた。剛太郎の死後遊び步いてゐるのは自分達ばかりだと思つてゐたのに、およりも發展してゐたのか、ではお冬も一緖に來てゐはしないかと考へて、歸りには見とゞけてやらうと云ふ氣になつた。

わざと手間どつて不淨を出ると先程およりの出て來た角を曲り、廊下は四角に屋敷をめぐつてゐるらしかつた。お夏は最初の突きあたりの角まで行つたが、すると其の左手の一段ひくゝなつてゐる部屋から聞き覺えのある聲が聞えて來た。

「こゝだな」

と、かすかに嘲笑ひながら、彼女はその部屋の前に立ち止まつて遠くから障子のすき間ごしに中を覗き見しやうとした。隙はあるのだが、細すぎてよく見えない。が、中には確にお冬の聲もしてゐた。が、對手の男の聲には全く聞き覺えがなかつた。

「何かのたし」にもう少しよく見とゞけて置かうと、お夏は思つたが、明るい人の部屋の前に立つてゐれば、こつちが直ぐ見つけられてしまふのは解り切つてゐた。身をしのばせるところはないかと見廻すと、直其の前の部屋の電燈が消えて眞暗になつてゐる。この暗い部屋に這入つてゐれば大丈夫だと思つて、そつと其の障子をあけて中に這入り、障子のすきを少しひろげて其處から前の部屋をのぞいてゐた。

すると、今お夏の來た廊下から小急ぎに人の足音が近づいて來た部屋の前に來た時、それが先程行きずりになつたおよりであることに眼をとめて、お夏は驚いた。およりもお冬と一緖に部屋の中にゐるとばかり思つてゐたのに、今までおよりは外に行つてゐたのであるか。およりはお冬のゐる部屋の障子を開いたが、その時お夏は更に一層驚くべき男の顏を其の部屋に見出して顏をしかめた。

柳壇

「暮氣分」 高橋月南選

もう鬼が其處まで來てるきれの音 奉天 新谷白雲

羽子板を買つてやりたい淚ふき 大連 迹田敏

小刻みの人の足にも暮氣分

掛取がこまめに廻る大晦日

正月の雜誌で本屋暮氣分

年の夜を念佛でゐる樂隱居 大連 今中市路

思はざる人情に泣く暮の餠

羽子板の値へ娘のちと不平

節くれの手へ渡された暮の金 大連 村雀

この暮も去年の節句賞に出し

餠搗きの野陣に澪ふ羽後音頭 大連 林子禾

年禮を預つて局繩を掛け

懸け硯杳臺に惠方棚をつり 大連 水野薰

暮氣分行進曲で客を寄せ

當もなくぶらりつと出る暮の街 遼陽 阿伊怒

ルンペンへ矢ツ張り寒い暮の市 周水子 內田まなぶ

ボーナスを貰つて急に暮氣分

ふところ手暮の街だけ見て廻り 大連 森良水

忙しない氣持のつゞく後三日

自轉車も馬車も忙しい暮の街 旅順 上倉都一

杵の音聞えて子供も暮氣分 大連 山元不動

借りにゆくにも氣がおけぬ暮になり

下げられる丈は下げてる暮の街

何んかんと言ふても世間並の餠 大連 佐伯一軒

投賣に一息すれば年の市 山形 都筑羽陽

ボーナスの皮算用に骨を折り

暮每に世話女房は年をとり

街を行くエロの顏にも暮氣分 大連 菊波正峰

サンタクロー雪の國から背負つて來る 營口 佐々木春鄕

言譯を考へ暮の街へ出る 旅順 上倉泥柳

大賣のビラ吹き上げる北ッ風

ボーナスの客へ睡房灼熱し

風呂敷と別にメ繩子に持たせ

大鮭の切身一段色を見せ 大石橋 糸崎萬龍

一年の決濟に入る暮の街

豫算外暮にせまつて又も殖え

捨賣の旗ひろがへる暮氣分 大連 福田阿呆

緊縮の一九三一年も暮る 安東 江川琴村

どの顏も皆忙しい暮の辻

ボーナスを當込んでゐる暮の市 大連 高川諦

例年の通り餠屋はビラを貼り 大連 上河邊紫浪

ボーナスの豫想へ無理な買ふ豫想

松飾り昨日も今日も船でつき

慈善鍋兒に入れさせるいゝ暮し 大連 藤富淀月

宵の內負けぬ氣で居るメ繩屋

仕立屋へ拜み倒して手代行き

慈善鍋もう切上げるとこへ呉れ

メ繩がちらほら歸る官舍町

○

子澤山減給へなやむ年の暮

カード級淚にくるゝ慈善餠 高橋月南

新刊紹介

▲**法學研究**(第四號) イギリス證據槪論(二)(峰岸治三)國民政府外交部の現組織(英修道)憲法行政法判例研究(一)(淺井淸)イギリス法例雜考(四)(峰岸治三)小田切本「日本國憲法」及附屬資料(淺井淸)價一圓五十錢、東京市芝區三田慶應義塾內法學研究會

▲**新聞と社會**(十二月號)(高杉京演)再び高橋總監へ(宅野田夫)醜して取消さいふ、この一文の語る取消の意義深長、スポーツ界伏魔殿、運動記者はグラウンドの番犬ではあるまい(翳濱天風)新聞の魔力と希望者全國十萬社友の受難哲杞の壯烈なる聖戰(價二十五錢東京市麴町區元園町二ノ七新聞と社會社)

▲**東亞**(十二月號) 滿蒙をバルカンたらしむる者(卷頭言)滿洲事件と日本外交の新發展(中山優)太平洋に於ける平和機關(高柳賢三)滿洲における我國管轄權の性質(蠟山政道)朝鮮の農業問題(山口正吾)東亞の動き(長野朗)滿蒙權益の確保と對日經濟絕交(中村薰雄)鐵道問題を中心として見たる滿蒙(小日山直登)和平會議と外交(田中忠夫)價五十錢、東京市麴町區內山下町一丁目一番地東亞經濟調査局

▲**上海週報**(第八八〇、八八一號合併)未曾有の排日と日支貿易及び上海財界の影響や種々なる方面から見た記事の滿載(價四十錢、上海四川路永安里一〇八六號上海週報社)

▲**朝鮮**(十二月號)價三十錢、京城府菜蓬町三ノ六二、六三番地朝鮮印刷株式會社一手賣捌所

▲**批判**(十二月號) 時局と社會民主主義の本質暴露(細迫兼光)社會主義建設とレーニン理論の擁護(ブーブノフ)郵便貯金における小市民性と社會性との盾矛(大內兵衞)國家行動における錯覺(長谷川萬次郞)獨逸社會民主黨の分裂(下)(新明正道)小說、銅鐵の門(田邊耕一郞)價三十錢、東京市外中野町上ノ原六番地我等社

▲**支那**(十二月號) 國際調査委員會(根岸佶)支那化せる國際聯盟(稻原勝治)支那平民敎育の特色に就いて(金崎賢)日支交通の資料的考察(水野梅曉)廣東の行商と夷館(松本忠雄)臺灣を繞る外交(佐々木鶯江)價四十錢、東京市麴町區三年町一番地東亞同文會調査編纂部

▲**露亞時報**(一四六號) 北滿本居民大會槪要、哈大洋僞造と金融保管委員會の成立、北滿の農耕地問題、一九三一年前半期の蘇聯邦鐵道輸送等(價五十錢、北滿哈爾賓道裡東經緯街四號哈爾賓商品陳列館申込)

▲**週間極東**(第三三二號)價二十錢、大連市但馬町三十三番地極東週報社

▲**赤い鳥**(一月號) 兒童の純性の擁護と藝術敎育の進展とに不斷の努力を捧げゐる赤い鳥は童話、童謠、自由詩、自由畫を創始し綴方を根本的に敎導開發にすばらしい水準を作りあげてゐる(價三十錢、東京府下西大久保四六一赤い鳥社)

▲**實業界**(第六號) 價四十錢、東京市麴町區平河町六ノ二四實業界社

▲**新日本公論**(第十二號) 價三十錢、東京麴町區內幸町一ノ六番地新日本公論社

▲**農業世界**(十二月號) 價四十錢 東京日本橋區本石町三丁目博文館

けふの放送 大連 JQAK

十二月十七日

▲午前七時ラヂオ體操

▲午後六時十分ニュース(以下內地中繼六時三十分)

▲滿蒙特別講座「故小村壽太郞侯爵と滿洲」前特命全權大使本多熊太郞

▲漫談「年の瀨物語」悟道軒圓玉

▲新內「男達出世の數へ唄白藤源太喧嘩の場」鶴賀千代吉

▲放送映畫劇「七ッの海」原作牧逸馬、脚色野田高梧

八木橋武彥(岡讓二)同綠佐子(泉博子)同讓(江川宇禮雄)曾根弓枝(川崎弘子)桐原彩子(村瀨幸子)宗像一郞、結城一郞(新井淳)大平倉吉(宮島健一)曾根伸吾(岩田祐吉)同三輪子(若水絹子)八木橋雄之助(武田春郞)解說(靜田錦波)伴奏指揮(島田晴譽)放送指揮(淸水宏)

▲ラヂオ體操「初心者練習」柳[illegible]二郞(以下大連放送局より)

▲職業紹介事項

▲天氣豫報

▲ニュース

新年俳句川柳募集

◇俳句 課題「新年雜詠」五句以內、東京市牛込區若松町八一島田靑峰氏宛(滿日俳句と朱書の事)

◇川柳 課題「曠」五句以內大連市能登町十高橋月南氏宛

◇締切 十二月十五日

◇賞金 俳句川柳とも天五圓、地三圓、人二圓づゝ

滿洲日報社

滿洲日報

犬養内閣の滿蒙政策 近く聲明書發表
けふの閣議で意見を交換

【東京十六日發】犬養内閣の滿蒙方針は既に田中内閣滿蒙方針の決定通り實行する事となつてゐるが現内閣成立以來滿蒙方針に關しては未だ何等意思表示をしないため一部には政府の方針が如何なるものであるかに關して疑ひを持つものあるため此際新内閣の滿蒙方針を明かにし國民をして向ふ處を知らしめる必要ありとの議が有力閣僚間に主張されてゐるから政府は愈々十六日の閣議に之を上程隔意なき意見の交換を遂げた上聲明書を發表する事とならう

關東軍參謀部を充實
行政外交産業部等を設置

【東京十六日發】陸軍では時局の推移に鑑み關東軍司令部大擴張の必要を認め目下省部間において鋭意研究中である、右は主として參謀部の擴張充實に在つて目下研究議題となつて居る主要項目は

一、現在の參謀部（少將を參謀長とするもの）の業務の外に行政、外交、産業、交通、運輸、通信その他に關する各部を參謀部内に設け參謀長をして總轄せしむ

一、右各部には參謀將校の外、滿鐵、關東廳、總領事館等の職員をも委員として加へ要務に參與せしむる

一、參謀長は中將とし此の下に少將以下の參謀將校を相當多數配屬する

一、參謀長は勿論現制通り用兵作戰を主宰するがまた前記各部の委員長としての事務を執る

以上が研究骨子とされ、この改正は將來滿蒙總督の如き制度が出來た場合もそのまゝ存置するやう整備すると

政權廣東派に歸して 日支外交新規蒔直し

【南京十五日發】蔣介石氏の下野と共に張學良下野の意思表示もあるものと見られ顧維鈞氏もこれに殉ずる形勢である、これで南京政府は廣東政府の手に歸した譯で、今後支那は外交の陣容を一新し新規蒔直しに日本に對し來るものと見らるしかし蔣介石氏下野後國府が學生運動を何の程度まで抑壓し得るか問題で日支外交の展開は一にこの點にかゝつてゐる、國府機關は十五日は午後から早くも孫科等廣東代表の歡迎準備に着手した

廣東派要人 あす南京乘込

【上海十六日發】陳銘樞氏は在滬廣東代表の案内役として賀耀組氏を昨夜來滬させ、廣東側と入京日取を打合せ來京に對し特別列車の運轉を命じ準備に忙殺されてゐるが、廣東代表一行の當地出發は明十七日と今の處決定してゐる、尚目下廣東にある委員等は十八日上海到着の豫定だが胡漢民氏は依然血壓高く來滬不可能である

執監委員招電

【南京十五日發】林森、陳銘樞兩氏は任命後本日午後連名で國家重要事項決議のため四全會で選擧された執監委員は速かに來京されたしと通電を發した

汪精衞氏重態

【上海十五日發】汪精衞氏毒殺の謠言あつたが本日伍朝樞氏の發表に依れば汪精衞氏は糖尿病で寶隆醫院に入院相當重態であると

北支那の政權は山西派掌握
東北派は學良の下野に反對

【北平十五日發】東北首腦部は蔣介石氏の下野決行に狼狽し顧承王府に奉天派首腦部張作相、萬福麟、王樹常、于學忠等緊急會議を開き對策協議の結果張學良の下野には全會一致反對した、なほ王樹翰は張學良の代表として蔣介石と談合のため本日午後五時南京へ向つたが大勢は如何ともなし難く

一、下野後外遊するか
二、主力軍を率ゐて熱河に引込むか
三、下野して北平に止まるか

いづれかに決定を見るはず、なほ學良下野後北支の政權は山西派の手に歸するものと期待されてゐる

寫眞は十五日省政府にて、地方維持委員會を解散し委員長を辭した袁金鎧氏（向つて左）と省主席に就任した臧式毅氏（右）

滿蒙通信網を完成
東北電政管理局の計畫

東北電政管理局では金璧東氏が局長に就任して以來滿蒙における通信網の組織化に努力しつゝあるが今回關東廳遞信局長櫻井學氏が顧問として來奉して以來急速にこの計畫が實現されんとしてゐる、即ち東北電政管理局では滿蒙における各主要都市にそれぞれ纖密なる電信機關を置きこゝに和文電報を取扱はせ、滿蒙と日本との間に文化の流通を行ふといふ大計畫の下に洮南、チ、ハル、ハルビン等の主要都市にそれぞれ設備を施すべく着々準備中でこの滿蒙電信網が完成されれば滿蒙文化の上に一新紀元を開くべく各方面より期待されてゐる【奉天電話】

極東圓卓會議を提議
勞農が滿洲問題に關して

【リガ十五日發】當地で傳へられるところによると本日勞農外務人民委員會は滿洲問題に對する勞農政府の態度を表明せる覺書を發表したが、右は今回外相に任ぜられた芳澤大使が歸國の途モスクワを經由する際、同氏に手交さるべく其中に極東圓卓會議を提議し勞農が進んで同會議に參加意向を表明してゐると

南京新政府の陣容

【上海特電十六日發】蔣介石下野の後を承けて南京政權を掌握せんとする廣東派の國民政府各要職の顏觸れは次の如きものである

國民政府主席　汪精衞

行政院長　孫科

司法院長　伍朝樞

考試院長　戴天仇（留任）

外交部長　陳友仁

軍政部長　何應欽

交通部長　王伯群

財政部長　張公權

一部には國民政府主席は汪精衞氏の代りに唐紹儀氏が推戴されるであらうとの説も有力であるが唐氏自身は滿洲問題解決のため滿洲に乘込む意思を有してゐると傳へられてゐる

外交部長に陳氏就任

【上海十五日發】蔣介石氏の下野に依り政權授受のため孫科、鄒魯氏等廣東代表は明日上海より南京に赴く筈である、なほ顧維鈞氏は代表到着前南京を去り上海又は北方に赴く模樣で其後任は陳友仁氏が就任するであらう

蔣氏軍權をも拋棄
戴、于兩氏は留任に決定

【南京十五日發】蔣介石氏の下野は政權のみならず軍權も離れ、軍權は軍政部の手に歸することに決定した、考試院長戴天仇、監察院長于右任、立法院副院長邵元冲氏等も辭表を提出したが本日の特別會議で留任することに決定した

宋財政部長等辭表提出

【上海十五日發】財政部長宋子文は本日南京に赴き蔣介石氏と會見の結果辭表を提出、同財政次長張壽鏞氏も昨日正式辭表を提出して一切の事務を停止し本日から出勤しないとの事である、當地財界有力者は金融界に及ぼす影響を惧れ昨夕當地財政部辦事處に張壽鏞氏を訪問留任を懇請したが張氏は之を拒絶した

上海市長等辭職

【上海十六日發】財政次長張壽鏞

蔣氏通電の内容

【上海特電十五日發】蔣介石氏は本日午後左の意味の下野通電を發した

民國十七年國府主席に任命されて以來故孫文の遺囑に從はんと努力し政府及び黨の責任を果さん爲に忠實にやつて來た、然るに不幸にして余の努力は再三覆へされた、即ちたゞに内憂のみならず中國は外國の侵略行爲に依り期待に反してゐる、この重大な機會に直面し自分に最も容易な途は甚だ不本意ではあるが總ての責任より逃避することだ外國の侵略に有効に抵抗し得るは鞏固な統一政府のもとにある時にのみ之を爲し得る事實に鑑み、余は第一次和平會議の期間中職務を遂行し而して同志の南京に來らんことを待てり、余は此等の南京着と共に下野を通電する希望を持つてゐる、南京豫備大會は統一和平の實現されんことを希望するため和平條件を承認したるに不幸廣東に在る余等の同志はその約を履まず、胡漢民氏及び其他は十二月五日通電を發し、余が先づ下野しその武力權を放棄せる後にあらざれば南京に來らずと述べた、右は明らかに余の下野が和平統一の先決條件たるを意味するものにしてこの危機に直面して飽くまで全く職責を遂行しこの難關を突破せんとする素志は却つて和平統一の障害となつたものと觀られる、一方外交對策に責任ある機關を缺くとの攻撃を以て南京政府は盛んに批難さるゝに至つた、然るに官民の統一はその外交關係に緊密な關係を有するものであるが余は民意を承認し茲に辭表を提出する決意をした、余は余の生涯を革命史上に傾倒して來り、余の行動は既に祖國のものである、余は職を辭したりといへ、黨の一員、中國の一臣民としての職責を遂行するに努力せんことを期す

蔣氏再起を策す
直系軍の分散を防ぎ

【上海十五日發】本日遂に下野した蔣介石氏は日本から歸つて二度目に總司令となり軍權政權を握り北伐完成後南京に遷都し一九二八年十月國民政府を組織すると共に最初の國民政府主席となり名實共に支那の元首となつた爾來三年二ケ月その地位にあつた蔣介石氏の下野を決心せしめた原因は

一、最近學生運動の方向が對日本示威から專ら國民政府蔣介石攻撃に轉換した事
二、内治外交ともに未曾有の難局に直面し二進も三進も出來ぬ事
三、國民の蔣介石に對する信頼が最近薄らぎ御用財閥たる上海浙江財閥の操縱意の如くならざりし事

等である、なほ蔣介石氏は下野後故郷に歸るか河南に籠るか、不明だが在野雌伏して再起の日を待たんとする決意なるは明かで氏の頼みとする直系軍の分散を防ぎ遙からぬ將來に再び王座に歸るべく策を巡してゐるものと見られる

氏は宋子文氏の離京と同時に昨日國民政府に辭表を提出した、當地財界は總辭職以上にその影響を恐れ昨夜留任を勸告したがその効なく財界は極度の不安に襲はれてゐる、なほ上海市長張群、實業部長孔祥熙兩氏昨夜辭職を申出でた

蔣介石氏北上か

【北平十六日發】蔣介石氏の北上決定し本日南京發河南の直隸軍檢閲の上二十日頃着平、張學良と對日問題協議のため暫時北平に滯在すべしとの旨副司令部に入電あつた

學良下野と秘密命令

【北平十五日發】張學良の下野も兩三日中に迫つたので北平公安局長鮑毓麟は十五日午後三時警察署長を集め張學良下野後の治安維持につき秘密命令を與へた

來議會は無解散か
一應民政黨に協調希望

【東京十六日發】犬養内閣が衆議院に僅か百七十名の少數黨を有して二百五十餘名の絶對多數を有する民政黨を向ふに廻し如何なる方針の下に六十議會に臨むかについては各方面より深く注目されてゐるが、政府部内においては憲政の常道上解散は決意してゐるが、一面現下の時局より察するに與黨も徒らに解散を望んでゐるものではなく、臨むに方法を持つてせば妥協の餘地を存する、即ち政府與黨は議會休會明け直前民政黨に對して時局重大なる折柄政府は解散したい、而して豫算は政策上意見を全然異にするものを除いては大體民政黨内閣の作つたものを踏襲する、從つて無解散とするの意思はないか如何といふ意味の交渉をなし民政黨が圓滿協調を希望し之に應ずればよし、若し應ぜざれば斷然方針通り解散して信を國民に問ふべしといふ事に意見の一致を見てゐる而して政府が斯る交渉を爲した場合民政黨が果して如何なる態度に出るか解散、無解散の分岐として重要視されるところである

太田總督歸任

【東京十六日發】太田臺灣總督は十五日午後九時四十五分東京驛發列車で歸任の途に就いたが多分殘務整理の上更に上京辭表を提出する事とならう

民政黨に副總裁
井上前藏相を推さん

【東京十六日發】民政黨内には總裁を補佐するため副總裁を設くべしとの説有力化して來た結局井上準之助氏が副總裁に推される模樣である

樞府本會議

【東京十六日發】樞府本會議は十六日午前十時十分宮中に開かれ政府よりは特に犬養總理以下各大臣、島田法制局長官列席、定刻天皇陛下御親臨あらせられ、倉富議長開會を宣し宮内省より御諮詢中の木曾世傳御料地に地上權設定に關する件御批准奏請の件につき審議に入り滿場一致可決、次いで犬養總理始め國務大臣の新任挨拶あり十時四十分散會した

斯波顧問歡迎會

藏前工業會滿洲支部にては滿鐵技術局長、同會名譽會員男爵斯波忠三郎博士を招待し來る十七日午後六時より湖月において歡迎同窓會を開催すると

人事

▲柴山兼四郎氏（參謀本部附輜重兵少佐）十六日出帆うらる丸にて内地へ
▲小澤太兵衞氏（時局後援會理事）同上
▲仙波久良氏（同）同上
▲竹中延太郎氏（同）同上
▲富次素平氏（前南滿瓦斯顧問）同上
▲船津辰一郎氏（在華日本人紡績組合理事）十六日出帆奉天丸にて青島へ

臧式毅主席なら政治的手腕充分
船津辰一郎氏視察談

紡績事業視察のためと稱し來滿中であつた上海在華日本紡績聯合會常務理事船津辰一郎氏は十六日出帆奉天丸にて歸滬の途についたが山之井滿鐵囑託をはじめ滿鐵實業界方面多數の見送りがあつた、船中出發に先だち語る

こちらに來た目的は自分の關係してゐる紡績工場の視察のかたはら昔から知つてゐる本庄軍司令官に敬意を表した、軍司令官も却々元氣で色々話を聞いたがその支部に關するよき理解者であるといふ點では感心させられた、蔣介石の下野も一部では單なる宣傳の如く傳へられてゐるが恐らく事實であらうし下野の時期と考へる先づ之に取つて代るものは廣東派を中心としたものと思ふ、臧式毅氏の奉天省主席、まあ適任だらう、この人を持つてくる事については色々說も出たやうだがこの人以外に人材はないと思ふ、袁金鎧氏はどつちかといふと政治的手腕の利れるところが無いが臧氏はその點大丈夫で故張作霖の怪死事件の善後處置のつけ方を見ても解る、今度は青島に寄つて歸るが上海では東北省が新政府新國家設立に對しどれ程眞劍でやつてゐるかといふ事について皆に知らせたいと思ふ、自分も案外秩序立つてドシドシ好き方向に進んで行つてゐるのを見て感心した

蔣介石愈々下野、此際汪精衞の病氣は物足らぬ。

◇

軍權無き廣東派の南京政府、どこまで踏みこたへ得るか、北方軍閥と手を握られば存續覺束なし。

◇

蔣介石は直系軍を各地に固めるの外、北方軍閥へも手を廻す。

◇

北方張學良の下野は當然、後釜を覗ふ閻と韓、外に馮玉祥、吳佩孚、段祺瑞等がチラチラ顏を出す其間を縫ひ廻る大小策士ウヨウヨ

◇

上海學生の兇暴益々募る、曾ては學生から神樣の樣に崇められた蔡元培も胸倉取られてギユウギユウ

◇

東北では臧式毅復活、袁金鎧との間に和氣藹々裡に政權の受渡し支那本部と滿洲との差違を見よ。

◇

日本のお陰で大きくなつた張學良、日本の後援で復活した蔣介石何れも排日の巨頭となつて排日の嘆。

東亞の謎 (150)
國枝史郎　插畫　伊藤順三

戰ひ（一）

烏須里の城構は城構といふよりも、永久砲壘と云つた方が、似つかはしいやうな構造であつた。音車領城の南にあつて、高い塔が立つてゐた。しかしこの塔は無用の長物で、大砲の標的になるばかりであつた。看守臺にはなつたけれど。……

その塔の下に一面に、監視所、通信所、爆藥所、彈藥及び手榴彈置場、會議所、炊事場、食糧置場兵舍、銃器室等をはじめとし、日本人組の家族達の、即ち妻や召使などの、宿舍が整然と出來てゐた。さういふ建物は二重三重の、濠や、障礙物や、鐵條網や、鹿砦を巡らした内にあつて、外部からは見ることが出來ないのであつた。

この近代的な築城術によつて、かう迄此處が出來上がつてゐるのは、後備砲兵大佐郡司桑太郎と、それが城中の城構々々を、盡く占據するための、自動車や馬や路の類を、手に入れるやう心掛けやう。これを今夜にも決行しやう。と、さういふことに一決し、ヤポン・ダットが軍事方面の、司令官となることになり、郡司大佐や白上大尉などが、各方面の部將となり、日本人組が要所々々を、嚴重に固めることにした。

ダットに以前から直屬してゐた蒙古青年國民黨に屬する、百人あまりの蒙古兵達が、主として實戰にあたることになり、その夜が明けて暁となつた頃には、各々が夫々部署に着いた。

朝になると城中も靜まつた。事情がみんなに知れたかららしい。

靜かにはなつたが物騷の程度は以前よりも遙かに加はつたのであつた。何といつても也速該の部下は、伯達の一團より數倍も多く、

後備歩兵大尉白上庫吉といふ、二人の日本の軍人が、矢張り也速該の顧問として、音車領城中に住んでゐて、日本人組團の元締となつてゐる、この二人がダットと協力して、設計に從事したからであつた。

伯達一團が此處へ這入るや、すぐに會議室へ集つた。

洋子と小夜子とは疲勞しきつてゐたので、將校の宿舍へ送られてその要君達の看護の下に、靜養し安眠することにした。

會議の結果は今に攻撃するであらう、その也速該の攻撃に對し、充分防禦することと、機を見て音車領城を脱出し、コミロフ博士が發掘事業に、從事してゐる和林へ一先づおちつく事にするか、乃至は滿洲里へ入り込んで、汽車に投じて奉天の方へ、引きあげるやうな手段に出るか、どつちかにしやうといふことと、どつちみち沙漠を

領して居るのではあり、武器も彈丸も豐富であり、その連中がはつきりと、伯達を敵として攻撃すべく、態度を決定したのであるから油斷は出來なかつた。

この日はすつと晴れてゐた。鷲が城構の頂きの空で、輪のやうに舞つたりした。

時々遠くの沙漠の方で、砂の龍卷が上がつたりした。

では風は強いのであらう。

夜まで事件は起らなかつた。

しかし夜になると最前線の邊から、小銃の音が烈しく聞えた。

也速該の軍が襲つて來たのであつた。

その方面へは遊撃少尉の、日野源吉といふ四十ぐらゐの男が、二十人あまりの蒙古兵を率ゐて、出かけて行つてゐる筈であつた。

この頃味方の一隊が、城構を出て西方へ潛行してゐた。郡司大佐と白上大尉との軍で、自動車庫の方へ進んで行くのであつた。

芳澤新外相を佛紙賞讚

【パリ十五日發】芳澤駐佛大使が今回新内閣の外相に任ぜられた事實に關し當地の極東政治觀測者等は右の結果日本の對外政策に多少共變化があるとは豫期してゐないが特にタン紙は芳澤大使を推賞し芳澤大使は滿洲事變に關連し日支兩國の紛爭解決に關する最も正しき概念を聯盟側に注入し且つ極めてデリケートな交渉に際し最も廣汎な和解的成文を表示せる外交官であると賞讚してゐる

芳澤大使外相就任受諾

【パリ十五日發】芳澤大使は外務大臣に任命する旨の正式通知を愈々本日當地に到着したが同大使は之を直に受諾した、近々のうちに歸朝する筈であるが出發の日取りは未だ決定してゐない

傷病兵歸る

熱心な見送りに　この姿で殘念
重傷の身を横へて　けふ廣島へ

十六日午前十一時、甲埠頭廣場を埋めつくした見送市民の感謝、感激の赤誠に送られ既報の如くチチハル、昂々溪、大興、江橋において無念、敵彈に傷つき或は零下三十餘度の寒冷に

手足 の自由を失つたわが勇士四十三名が貴州丸によつて内地廣島衛戍病院に送還された、林立する町内旗、團體旗のはためき十重二十重に押寄せた學生團體をはじめ在郷軍人團その他市民の熱情のほとばしりは入り替り立かはり船内に崩れ込む見舞客の殺到ぶりでも判る、四十三名の勇士を内譯すると戰傷者は獨立守備第一大隊長小河原中佐をはじめ十四名、凍傷者は第廿九聯隊渡邊喜一郎上等兵外十一名、公傷四名、平病十三名、殊に悲慘なのは

擔架 によつて運ばれた廿四名で大連醫院八千代看護婦會や大連婦人團體聯合會の獻身的な努力が見る人の目に涙をさそふ、小川市長、猪田滿鐵鐵道部次長その他名士連の見舞客は引も切らない記者は先づ小河原中佐の病室を訪へば

いやありがたうこんなに澤山の市民がこんなに次々御見舞して下さつて我々も滿足です、自分の傷は大腿の銃創ですが少しでも早く治つて又來たいと思つてゐます、今も隊の友人や柴山少佐が見舞つて下さつた許りだが色々その他の時局の話を聞いて更に殘念さを覺えてゐる始末だこの寒い折柄特別貴紙には御世話になつてゐるが、市民によろしく御傳を乞ふ、今甲板に出て御見送り下さつてゐる市民諸子に御應へ出來ないのが吳々も殘念だ

更に 最も重傷を傳へられる一等兵小泉廣吉君、一等兵加藤稔君を見舞へば兩君とも凍傷で兩手兩足を切斷のやむなきにいたり繃帶でグルグル包まれた姿の何といぢらしい事か、しかし元氣だ新聞社の人達ですか鐵砲の彈ならあきらめもつくが凍傷じや殘念でたまりませんよ、二人とも三間房の戰からチチハルにかけて戰つたんですがこんな姿になりました

見舞客のうちにはこれを聞いて涙を湧ぎと流してゐる婦人も居る、

代表 して小川市長が立つて感謝の挨拶を交し、これに對して輸送指揮の西村一等軍醫が傷病兵に代つて答禮を述べる、船は岸壁をはなれたが感謝にもえた市民は只帽子を振るのみで聲一つ出さず如何にも傷病兵を送るに應はしい靜かな出船を見た

定刻いよいよ左樣ならだ見送人を

貴州丸で傷病者歸る

もう學良の最後
參謀本部附に榮轉した　柴山少佐けふ離滿

今回參謀本部附に榮轉した前張學良軍事顧問柴山兼四郎少佐は家族をまとめ十六日出帆うらる丸にて離滿したが船中ケビンに訪ねて話すると

今貴州丸に傷病兵を見舞つて來たところだ、早いもので滿洲に來てから足掛三年だよ、御承知の通り時局の變化と共に學良顧問をやめて歸滿したのが十月十三日だつたと記憶するその後自分は軍司令部附となつたが引きつゞき行はれた昂々溪からチチハルへの戰線には二師團管下に加つて戰つたがまあ今迄に一番大きな戰鬪には從軍したわけだ、學良の運命、いづれにしてももう駄目だ、機會に乘つてあれ迄になつたのは要するに亡父作霖の威光が光つてゐたのと彼の常套手段たる彌縫政策が効を奏してゐたものだが最近に至つては民衆殆ど全部からその彌縫政策が暴露されてゐるではないか、外遊するかどうかは知らんがもう駄目だ、臧式毅氏の省主席就任この人はかなりの利け者だから確かに好いと思ふ、この話は今朝新聞で知つたんだがまあ東北省にはあの人位のものだらうれ

名古屋慰問團

名古屋を代表する各機關から選ばれて駐滿軍隊慰問團廿名は名古屋市代表青木嗣夫氏に引率され七日來奉、チチハルまで長驅し四平街、長春吉林等各地を慰問十六日出帆うらる丸で歸名の途についたが一行は在鄕軍人代表、學校代表、商工會議所代表或は新聞社代表等各方面機關を網羅してゐる

南京政府の弱腰に　學生運動愈よ兇暴
軍警の武器使用禁止令から　遂に衝突事件起る

【上海特電十六日發】南京において學生團と軍警は遂に衝突したがこれは政府當局の豫期しなかつたところであつて政府側は今次の全國的學生運動を汪精衛氏をリーダーとする改組派の操縱するものと認め改組派に政府攻擊の口實を與ふるを避くるため極力學生團との衝突を廻避すべく軍警に武器使用禁止命令を發して事端を起さゞるやう努めてゐたのであるが學生團がこの政府の弱腰に附込んで兇暴の限りを盡したため遂に衝突したものである、今や學生運動は愛國運動でなく明白に蔣介石、張學良打倒を目的とする內政運動であると認められてゐる

要人亂打から　衞隊が發砲
中央黨部襲擊事件

【南京十五日發】中央黨部に殺到せる學生團は赤旗を掲げ共産歌を高唱しつゝ折柄蔣介石氏の下野と和平の最後問題を討議中の會議室に突入せんとしたので蔡元培氏出でゝこれを慰めたが、暴徒化せる學生等は蔡元培氏の胸倉を取つて毆りかゝり他の一團は陳銘樞氏を亂打したので衞隊は遂に發砲し大騷擾を演じ双方數十名の重傷者を出した、一方外交部を占領した學生等は電信室に闖入して機械を滅茶々々に破壞した外自動車四臺を破壞した、これ等學生暴動は益々重大化し衞戍司令部は外交部、中央黨部、日本領事館を含む地域一帶に特別戒嚴令を布き憲兵隊は直ちに機關銃隊を出動せしめ警察署よりは騎馬巡警の大部隊を現場に繰出し暴動學生の首魁四十餘名を逮捕すると共に警備隊の威力を以て學生團に解散を命じこれを驅除にかけ蹴散らしたので學生も遂に旗を卷いて逃出し午後一時半頃一先づ秩序を緩和した

馬家塞の戰死者と　戰傷者鐵嶺に歸る
雪中に襟を正し出迎

馬家塞の激戰に戰死せるわが勇士五名、戰傷者八名は十五日午後九時着臨時列車で到着した、驛頭には折柄霏々として降りしきる雪を冒して官民數百名襟を正して肅々としてこれを迎へた、昨日まで親しく語り合つた人の變つた姿に何れも嗚咽を呑み合唱した、戰死者は戰友の手によつて守備隊將校集會所に運ばれ午前二時半までに處置を終り新らしく一階級を進められた肩章の軍服を着し五つのベットに並べられて安置された、負傷者は衞戍病院で徹宵手當を施したが八名中重傷二名あるが生命に別條はない模樣である【鐵嶺電話】

朝來、總攻擊を開始
飛行機も出動し剿滅

馬家塞の匪賊はその後引續き頑強に抵抗し守備隊も一時危地に陷りたるも十五日夕方漸く一方の血路を開きたるも既に日沒となり戰死傷者も氣遣れるを以て前線部隊を金家塞にとゞめ漸次山頭堡に引揚げて夜を徹した十六日は田所大隊長總指揮の下に第五大隊の精鋭を選り第六大隊一部山砲の應援と陸軍機の出動を得て徹底的に絕滅せしむべく朝六時二十分山頭堡發午前九時より馬家塞總攻擊を開始したが鐵嶺上空には應援飛行機の出動で爆音勇ましく市民も戰時氣分で血を躍らせて居る、なほ重傷せる敵頭目らしきもの、自白によれば彼等は滿鐵線西方開原縣下双勞臺より鐵道を横斷して東方に出でこれより北山城子の于芷山軍に投じ正規軍たらんと行動中のものにしてその過半は敗殘兵である【鐵嶺電話】

戰死傷者氏名

戰死傷者氏名左の如し

戰死者 熊本縣下益城郡小野部田村步兵少尉奥村仁次郎、秋田縣南秋田郡潟西村步兵伍長齋藤金吉、秋田縣由利郡下濱村羽川步兵伍長小林啓藏(以上鐵嶺守備第三中隊所屬)秋田縣南秋田郡上脇村脇本步兵上等兵安藤雄之助(四平街守備隊所屬)鹿兒島縣大島郡實久村憲兵曹長加納彌三

戰傷者 鐵嶺守備第三中隊步兵上等兵加藤奎太郎、同一等兵相澤善右衛門、同小野崎武治、同小野寺誠、同二等兵松浦茂平開原守備第二中隊步兵一等兵二階堂綱男、四平街守備第一中隊步兵一等兵山田富助【鐵嶺電話】

三上京委員
けふうらる丸で出發

政友會內閣の出現と共に更に政府要路の了解を求むべく全滿日本人聯合會では七名の上京委員を送る事となつたが州內よりは大連時局後援會の仙波久良氏、田邊敏行氏旅順時局後援會の竹中延太郎氏三氏を送る事となつたが仙波、竹中兩氏は全支日本人居留民大會決議により上京する事となつた小澤太兵衞氏と共に十六日出帆うらる丸にて上京したが小澤氏は語る

同じ目的のため行くのです政府要路鞭撻のためです、先般の上海で開かれた居留民大會の決議により上海から四名山東から三名それに私達、全部で十餘名のものが廿日頃迄に東京で勢揃ひして軍部外務拓務をはじめ關係當局に陳情し懇請し鞭撻するもので上海における決議は既に皆さんも御承知の事と思ひます、新しい閣僚の人達とも顏を合しておく事も必要です、更に重要

濱口氏の死因鑑定

【東京十六日發】濱口氏狙擊事件公判は十六日午前十一時開廷、東大の緒方、京大の清野兩博士出廷濱口氏の死因たる下腹部の盲貫銃創と放線狀菌との因果關係に就き鑑定を求められ兩博士は鑑定材料の提供を求め種々打合をなし十一時二十分閉廷し次回は三月初旬に開廷の筈

『大日活』の競落
またも不許可となる

債權者中野常助氏申請に基く活動常設館「大日活」の建物競賣はさきに大連地方法院に於て執行の結果債務者長興行合資會社員上谷由藏氏に十一萬圓で競落したが、債務者長氏側では再び法廷戰術として「長合資會社の戶別割百一圓八十錢が滯納建物の公課金として廣告されゐるは違法である」との理由の下に長氏代理人相川、木原兩辯護士を代理に異議申立をなし爾來旅順高等法院に於て行山裁判長係審理中のところ十五日公判に於て「戶別割百一圓八十錢は長合資會社に屬するもので競賣物件の大日活建物の公課金とは認められない」との理由で競落不許可の決定が與へられた、これで「大日活」の競賣は三度やり直しといふことになつたがますます尖銳化する双方の法廷戰術は各方面の興味を唆つてゐる

家庭の先生

父兄姉や先生方に代り、世のお子達を善導する教育雜誌幼年倶樂部は、正月號で又々大奮發、オマケ七つでえらい評判!

六大學リーグが　十萬圓寄附する
オリムピック選手派遣費

【東京十六日發】六大學野球リーグ聯盟では十五日の理事會でオリムピック派遣費として十萬圓寄贈する事並に在滿我將士慰問金として差當り二千圓寄贈する事を決定した

軍艦「八雲」　近く來旅
更らに青島へ

天津事變以來青島、芝罘、塘沽、秦皇島方面を巡航して警備に當つてゐた第二遣外艦隊の軍艦八雲は十九日秦皇島より旅順入港、五日間碇泊の上廿三日大連に廻航燃料その他を補給して廿六日再び青島に向ふ豫定である

同艦は元橫須賀所屬の巡洋艦で天津事變に際し十一月二十八日

今曉、公太堡派出所に　兵匪襲ひ來り擊退
學良の別働隊と豪語

奉天西方張家屯にゐた二百名の兵匪は十六日午前一時公太堡派出所を襲擊し來つたので同地在留わが警官隊と勸業公司員は約一時間に亙り大交戰をなし匪賊を擊退せしめた、賊團は退却に際し附近部落に放火、掠奪を行ひ「我々は學良の別働隊なり」と豪語してゐたと、なほ附近部落の大戰爭が開始されると放言し流言が流布されてゐるので同地居住民は續々奉天に避難し來り警官の應援を懇願してゐると【奉天電話】

獻金取扱ひ
州內は各民政署　州外は各警察署

滿洲事變軍事費に充つる趣旨を以て政府に獻金を申出る者に對しては愈々州內は各民政署州外は各警察署に於て取扱ひを開始する事となつた

造花を賣り　少女獻金
けふ市役所へ

大連技藝女學校二年生內川萬利子さんは十六日現金四十圓に左の手紙を添へ出征將士の慰問金に取って下さいと市役所に屆けて來た

皇軍出征兵士を御慰めたい微意のもとに去る十一月二十二日より同月二十八日まで一週間家人に手傳つて貰つて造花を作製し販賣したお金です、造花の賣上金額三十八圓三十錢に私の貯金一圓七十錢を加へて四十圓にいたしました、どうぞ出征將卒の慰問金の中にお加へ下さい

また出征中の旅順步兵第三十聯隊一等兵橫山裕喜君は遺族扶助料に儉約の一部を割き金二圓を十六日手紙を添へ市役所に送つて來た

關東廳女事務員が獻金看護

關東廳に勤務する女事務員は國勢調查部を合し六十餘名であるが今回の事變で關東廳內對時局婦人會なるものを組織し醵出した金廿一圓を十五日土木課勤務の本田芳子さんが代表し關東軍留守司令部に出願獻納したが、更に同婦人會員六十六名は土曜から日曜日にかけ勤務の無い日を利用し旅順衞戍病院入院中の傷病兵の看護方を申出た

軍人後援會活躍
慰問弔慰に一萬七千圓贈る

帝國軍人後援會滿洲支部は今回の滿洲事變に際し出動した軍人並に警察官の戰死者および傷病者に對し弔慰金または慰問金品を贈つたがその金額は既に一萬七千圓に達した、なほ大連初め各地方委員部に於てもそれぞれ弔慰並に慰問を行つて會の使命遂行に努めてゐるが、この際男女を問はず入會して會の事業を賛助されたいと

祝賀費獻金

大連輸入組合では本年十一月末羽衣町の新築家屋に移轉したが落成祝賀式は時局柄遠慮し、祝賀のために用意してゐた金二百圓のうち金一百圓を軍隊に獻金し、各五十圓を滿洲日報並に滿鐵社員慰問に贈るため本社を通じ送付方を依賴した

消費組合　萬引女
留置し取調中

十五日午後二時半ごろ市內兒玉町滿鐵社員消費組合で係員の隙を窺ひ鐵紗二反、子供用靴下一足を萬引し、手早く風呂敷に包んで立ち退かうとする子供連れの中年女を張込み中の大連署刑事が取押へ本署に引致取調べた結果

右は周水子居住滿鐵社員の妻鹿兒島縣生れ西村ハマ子(三三)=假名=といひ、きらびやかに飾られた商品に目がくらみ惡心を起したものらしいが、先月初旬浪速町某吳服店で富士絹二反を萬引し尾行した店員をまくため吉野町桐原病院に「水を飲まして下さい」と立ち寄り、同病院炊事場のカマドの裏に隱匿して逃げ去つた犯人と同一らしく、同署ではハマ子の連れてゐる次男(二つ)を夫に引渡し目下留置取調中である

出漁中に水夫　長浪に浚はる

市內西通羽月治郎兵衞所有第八一滿丸水夫長熊本縣天草郡二江村生れ越崎松次郎(三)は山東沖に出漁中突然の暴風のため十一日午後十時頃山東高角西方において波浪にさらはれそのまゝ海中に姿を沒した旨羽月商會より十六日當地水上署に屆出があつた

紅卍字會代表

去る八日北平において開かれた紅卍字會に出席中であつた安東分會長王恒魁氏、ハルビン分會長陳仲宣氏外一名は十六日早朝入港貴州丸で歸滿した

美唄町の大火

【美唄十六日發】今朝三時頃北海道空知郡美唄町柏木澤平方より出火し五十二棟六十七戶を全燒し四時半鎮火した、死傷者なきも同町目貫きの町は殆ど全燒した

技術協會座談會

滿洲技術協會にては第十回十六日會を十六日午後四時半より大連ヤマトホテルにおいて開催、今回は特に滿鐵技術局長斯波男に請ひ「滿蒙の工業化と滿鐵」の講演と食後「斯波男爵にものを聞く座談會」があると

少年の盜み

十五日午後八時ごろ市內浪速町支那風呂を窺ふ怪漢を大連署員が取押へ本署に連行取調べると市內山縣通公設市場角田商店の店員乘兼義行(一八)(一九)のオーバ、洋服、現金三圓を窃盜主人の自轉車で逃げ出した旨を自白したが餘罪を取調中

香港丸 十七日午前十一時半大連港外着の豫定

天氣豫報

十七日

西の風晴時々曇り

各地溫度

	十六日午前十一時	十五日最低
大連	零下五、四	零下三、四
旅順同	三、八	同二、〇
營口同	八、四	同一一、六
奉天同	一二、三	同一三、七
長春同	一八、二	同一五、三

けふの小洋相場(正午) 金百圓は一八七圓四十錢

慰問袋の製作に忙しい日活女優
ブロマイドにサインして陣中の勇士に贈る

日活會社は映寫班を組織して滿洲軍を慰問する事は發表した處同社關西支店員と撮影所員一同は慰問袋寄贈を相談し大スターからワンサに至るまで應分の金を集め鐘入粟おこし、雜誌、煙草、紙、懐爐、氷砂糖など買ひ求めそれを撮影の間を見ては女優連總動員して袋の縫ひこみ五百個、それに各自ブロマイドにサインして陣營の夢に一脈の温かさを添へやうとしたのでこの擧を知つた陸軍省は特に證明書を附して本社と共に一千個の慰問袋を關東陸軍奉天臨時倉庫宛發送した【寫眞は慰問袋の縫ひこみに忙しい女優連向つて右から春日壽々子、佐久間妙子、市川春代】

映樂館の正月プロ
パ社とメトロ

近く開館する映樂館はメトロ、パラマウント、フォックス各社作品上映を契約し、開館興行は既報の如くメトロ作品「ダイナマイト」及び「有頂天時代」であるが、過般來上阪中であつた吉田館主の歸連により正月興行プロは左の如く決定した

▲第一週　パ社作品暗黒街人情劇日本版ルウベン・マムウリアン監督ゲリー・クーパー主演「市街」發聲版九巻メトロ社品「キートンの決死隊」發聲版九巻及びパ社發聲ニュース社發聲漫畵「お化の料理」各一巻

▲第二週　パ社某喜劇エルストン・ルービッチ監督モーリス・シユーヴァリエ、ジャネット・マクドナルド孃主演「ラヴオンパレード」發聲版十三巻、パ社日本版リチヤード・ウオーレス監督ルース・チャタートン孃ボウル・ルーカス主演「愛する權利」發聲版九巻及びパ社發聲ニユース、パ社發聲漫畵「オンパレード」各一巻

▲第三週　メトロ作品「肉體の呼ぶ聲」發聲版十一巻「世界の與太者」發聲版八巻

▲第四週　パ社フランク・タウトル監督ナンシー・キャロル孃ヘレンケー孃主演「スキーテー」發聲版十二巻、パ社フランク・タウトル監督クララ・ボウ孃主演「女給と強盗」日本版及びパ社發聲ニユース發聲漫畵「ピアノ」各一巻

以上の如くであるが、開館興行が豫定より遅れたので第三、四週は開館日の都合により一部入替變更されるかも知れぬと

噂話

來る二十三日は大吉日だといふので中央館、映樂館ともこの日に開館しようと準備を進めてゐる▲映樂館の方はWE發聲機の裝置さへ完成すれば蓋が開けられるので山田德次技師が懸命に取つけ中である▲解説者は寶館から櫻井滿君が轉じ、熊本世界館から宮地莊吉君が來て取敢ずこの二人で開館する▲音樂部は全發聲興行となるので心配なく噂の如くアラケロフ氏との歩合興行である▲大連劇場の正月興行に百々之助の實演がかゝると一部で傳へてゐるがこれは何かの誤傳で明石潮に内定してゐる▲また我廼家五九郎說もあるが、これは陽春三四月の頃の話である▲それよりも實現性のあるのは寶館の杉村チエ子のレヴユウ團で大連を振出しに滿鮮興行をすれば元日から上演される▲松竹映畵引揚げ後の平田貞助氏經營の寶館は既報の如く赤澤キネマと寺尾商會提ひの內檢切れで大樂興行に確定した

本社特選 新棋戰（其二）

平香交　五段 ▲齋藤銀次郎
平手番 先 四段 △樋口金雄

【圖は八六飛迄の局面】
▲齋藤氏「持駒」歩
△樋口氏「持駒」歩歩

△八七歩　▲八二飛
△四八銀　▲六二銀
△五六歩　▲五四歩
△六九玉　▲五三銀
△五八金　▲七四歩
△三六歩　▲四一玉
△五七銀　▲六四銀
△六六歩

【土居八段講評】▲齋藤君は敵と同樣の駒組で後手番丈けに幾分か指しにくい懸念あるを以て八二飛と退却し、而して攻勢の意味で五三銀と繰り出したのは活氣ある戰法である△樋口君の六六歩は敵銀を壓迫しやうとの意味であらうも自から角道を留めるは些か弱手である。之れ又攻勢的の意味を以て四六銀、七五歩、同歩、同銀、二二角成、同銀、八八銀と指して敵の形勢を窺ひたい。

暗流阿修羅館休載